

令和2年度学修行動や満足度等に関する間接評価調査(学生 IR 調査)

【全体概要】

令和2年度から、学生 IR 調査をマークシート回答方式に変更した。そのため、令和元年度までの質問事項の順序を変更した。例年10月に本調査は行っているが、新型コロナ対策の緊急事態宣言で対面形式の講義等の開始が遅くなったことから、令和2年度は11月に行った。

歯科衛生士学科1年次～3年次の比較をするために、回答項目が「まったくしなかった」、「あまりしなかった」、「ときどきした」、「ひんぱんにした」の4項目を「まったくしなかった+あまりしなかった」と「ときどきした+ひんぱんにした」の2分類にした。活動に費やしている1週間あたりの時間数は「全然ない」、「1時間未満」、「1-2時間」、「3-5時間」、「6-10時間」、「11-15時間」、「16-20時間」、「20時間以上」の8項目を、「全然ない」、「1時間未満」、「1-5時間未満」、「6-15時間未満」、「16時間以上」の5分類にした。回答項目が「大きく減った」、「減った」、「変化なし」、「増えた」、「大きく増えた」の5項目を「大きく減った+減った」、「変化なし」、「増えた+大きく増えた」の3分類にした。回答した者の割合は、カイ2乗検定を行い p 値 0.05 未満の質問項目を記載した。なお、専攻科、保健福祉学科は人数が少ないため個別集計で示した。

Ⅱ.大学の学習状況について

1)大学の授業の内容や特徴

「質問[10]授業の一環でボランティア活動をする」、「質問[14]学生が自分の考えや研究を発表する」、「質問[15]授業中に学生同士が論議をする」、「質問[16]授業で検討するテーマを学生が設定する」において、1年次、2年次、3年次と経時的に「まったくしなかった+あまりしなかった」と回答する者の割合が減り、「ときどきした+ひんぱんにした」と回答する者が増えた。これは、学年が上がるごとにアクティブラーニングを行う講義・実習が増えるためと考えられる。

「質問[20]TA・SA(上級生や専攻科生)から補助・指導を受ける」は、「まったくしなかった+あまりしなかった」と回答する者の割合が増え、「ときどきした+ひんぱんにした」と回答する者が減った。これは、3年次が補助・指導を行うためと考える。

2)大学の授業や授業以外の学習状況

「質問[21]授業課題のために図書館の資料を利用した」、「質問[32]単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した」、「質問[33]大学の教職員に将来のキャリアの相談をした(卒業後の進路や職業選択など)」において、1年次と2年次は「ときどきした+ひんぱんにした」と回答する者は少ないが3年次は有意に増加した。「質問[23]インターネットやイントラネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした」では、3年次の「ときどきした+ひんぱんにした」と回答する者は減少した。3年次は臨床実習等の課題を書籍などの参考文献を図書館で調べることが多いためと考えられる。

3)活動に費やしている1週間あたりの時間数

「質問[36]授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする」、「質問[37]アクティブ・ラーニング科目(学内の演習や学外での実習など)に関する授業外学修時間」において、3年次は「16時間以上」が1年次と2年次より多かったが、「全然ない」も多かった。3年次は授業時間以外の学習時間は2極化していることが示唆された。

「質問[41]大学外でアルバイトや仕事をする」において、1年次は「6-15 時間未満」、「16 時間以上」の割合が多いが、3年次は「全然ない」の割合が多かった。3年次は、歯科衛生士国家試験対策のためアルバイトをしていないことが考えられる。

4)入学時点と比べた能力や知識の変化

「質問[49]リーダーシップの能力」、「質問[51]他の人と協力して物事を遂行する能力」において、2年次と3年次では「増えた+大きく増えた」と答えた割合が1年次より多かった。「質問[50]人間関係を構築する能力」、「質問[55]文章表現の能力」、「質問[57]コミュニケーションの能力」、「質問[58]プレゼンテーションの能力」において、3年次では「増えた+大きく増えた」と答えた割合が多かった。これは、学年が上がるごとにアクティブラーニングを行う講義・実習が増えるためコミュニケーション全般の能力が上がったと考えられる。

Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

「質問[68]学外での実習(臨床・臨地実習・介護実習等)に意欲的に取り組んでいるか」において、3年次は「どちらかといえば意欲的ではない+意欲的でない」と答えた者はおらず、「意欲的+どちらかといえば意欲的」と答えた者は84%であった。

Ⅳ. 大学生活に対する考えや満足度について

3)教育内容の満足度

「質問[86]大学のなかでの学生同士の一体感」において、2年次と3年次では「満足+とても満足」と答えた割合が1年次より多かった。これもアクティブラーニングを行う講義・実習が増え、コミュニケーション全般の能力が上がったため満足度が増えたと考えられる。

4)設備や学生支援制度の満足度

「質問[91]実習室の設備や器具」、「質問[92]コンピュータの施設や設備」、「質問[93]コンピュータの訓練や援助」、「質問[94]インターネットの使いやすさ」においては、経時的に「満足+とても満足」と答えた割合が少なくなっている。これは、学内で授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする割合が増えるため、実習室やインターネットなどを多く利用することが関係していると考えられる。短大でも Wi-Fi 環境を整えていることなど学生に情報提供することが必要と考える。

実施日	歯科衛生学科 1年次 令和2年11月20日(金)実施 歯科衛生学科 2年次 令和2年11月16日(月)実施 歯科衛生学科 3年次 令和2年11月16日(月)実施 専攻科 令和2年11月6日(金)実施 保健福祉学科 2年次 令和2年11月6日(金)実施
講義名	学生 IR 調査
担当者	【歯科衛生学科】 貴島 聡子、カ丸 哲也、川尻 望、黒木 まどか、南 レイラ、石井 綾子、森 沙耶香、松尾 忠行、後藤 加寿子 【保健福祉学科】 古野 みはる、末松 美保子、秋竹 純、齊田 直樹、中園 栄里
所属	歯科衛生学科 1年次 45/45名(女性45/45名) 歯科衛生学科 2年次 56/56名(女性56/56名) 歯科衛生学科 3年次 76/77名(女性76/77名) 専攻科 23/23名(女性23/23名) 保健福祉学科 2年次 6/6名(男性2/2名、女性4/4名)

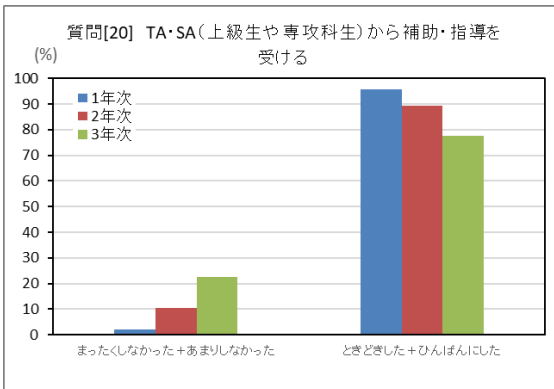
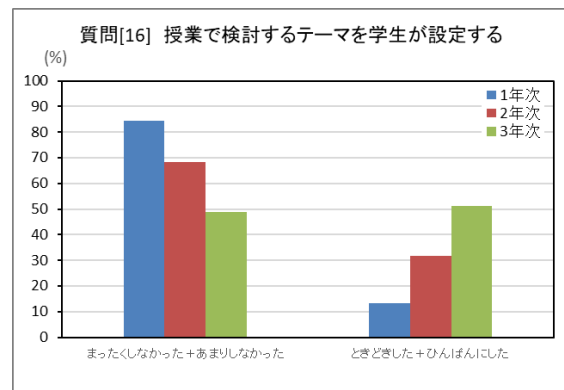
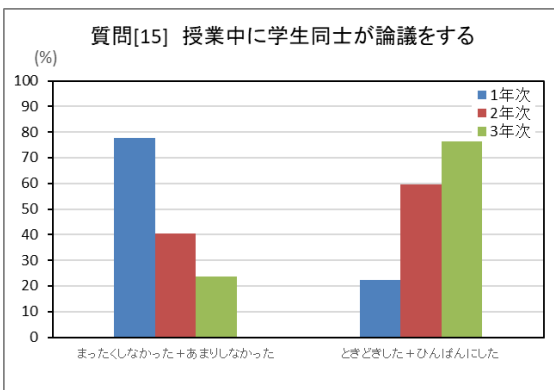
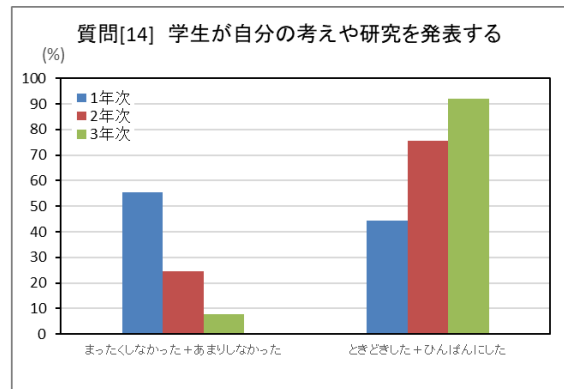
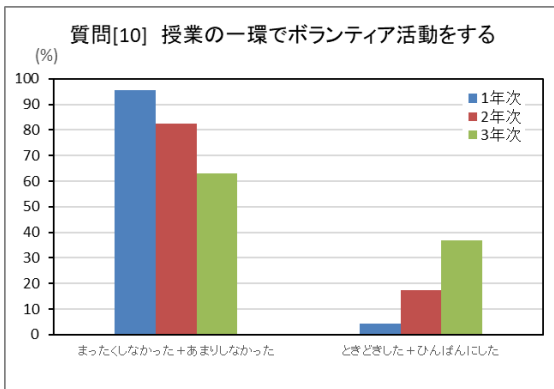
1. 取組の趣旨

現在、学習支援や教育支援及び教学的評価などの教学支援組織を通じ、高等教育の質を保証・向上させる方策の具体化が求められている。本学では、学生の学修成果を多面的に評価し、高等教育の質保証システムの創出と教学支援組織のさらなる育成を目指すことを目的に、「学生 IR 調査」を平成 26 年度から継続実施している。

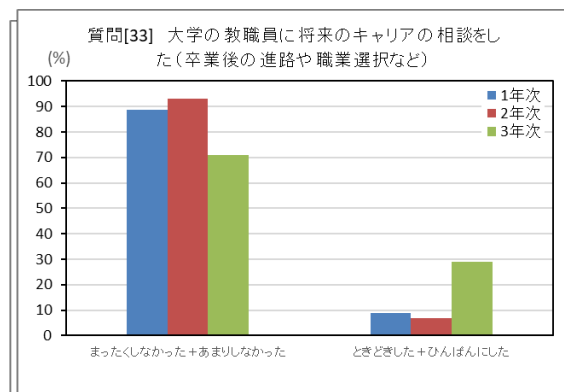
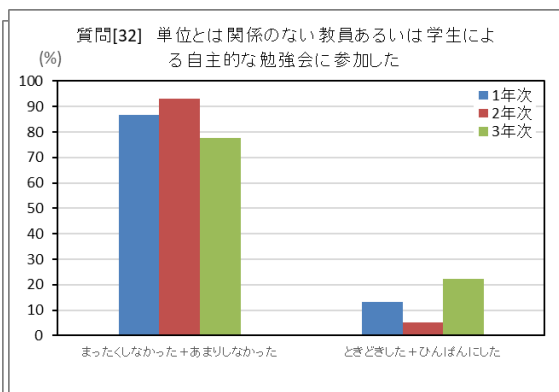
今回、令和2年度の両学科学生(歯科衛生学科と保健福祉学科)の調査結果について、A)一般的な学修状況と課外学修、B)学生満足度を含めた教育の質保証の観点に基づき、それぞれの結果と今後の課題について取り纏めた。

Ⅱ. 大学の学習状況について

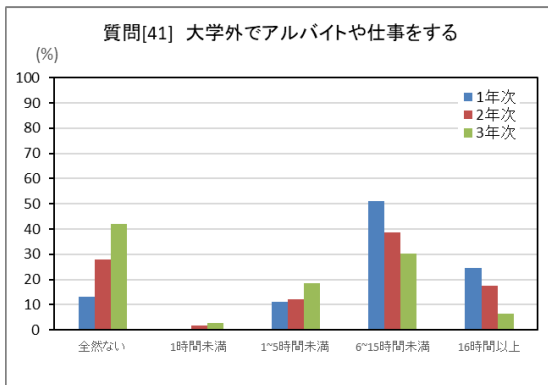
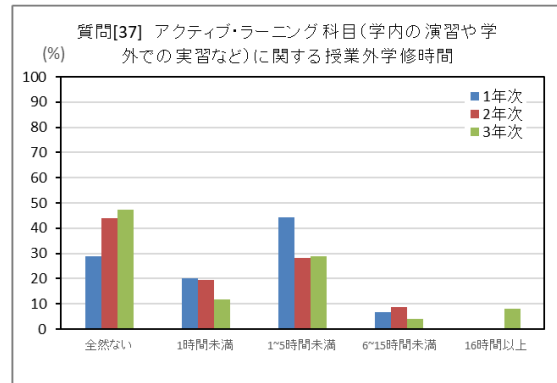
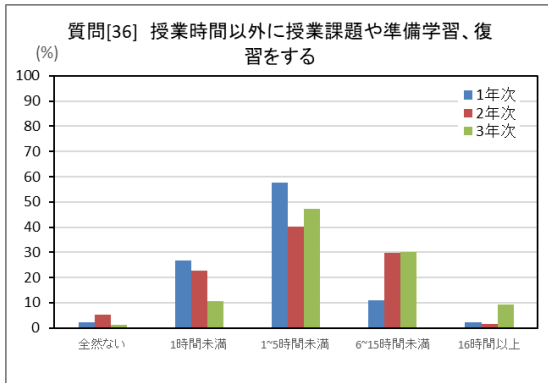
1) 大学の授業の内容や特徴



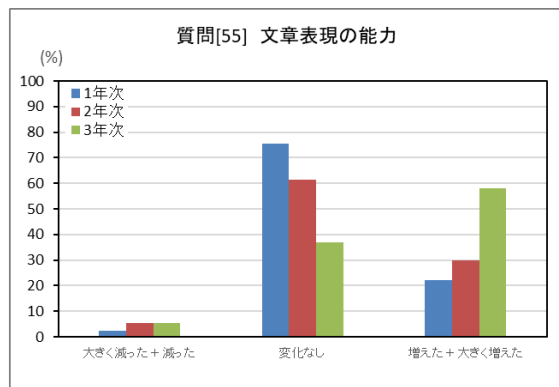
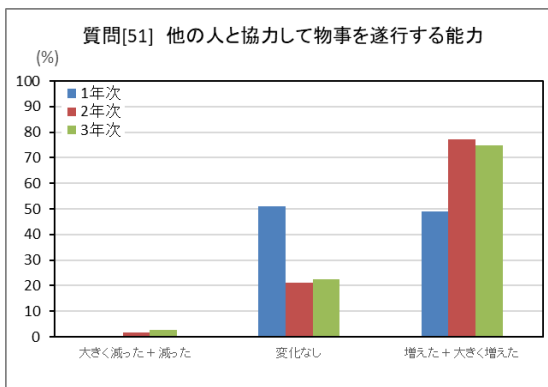
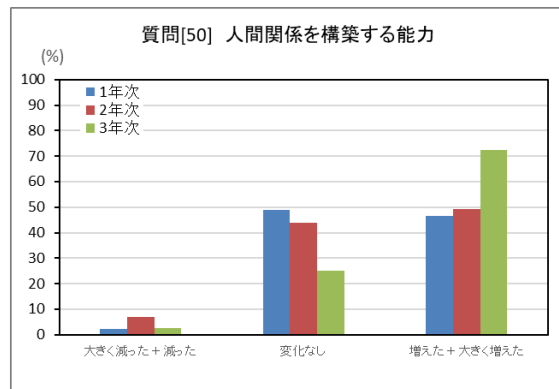
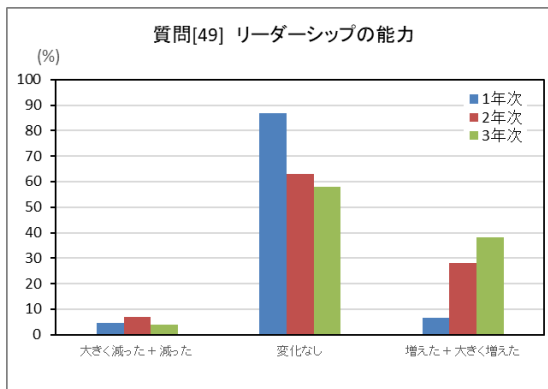
2) 大学の授業や授業以外の学習状況

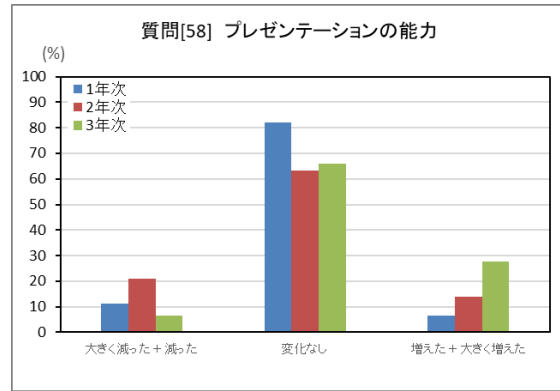
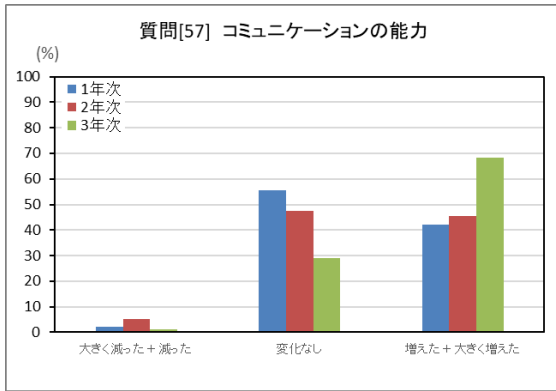


3) 活動に費やしている1週間あたりの時間数

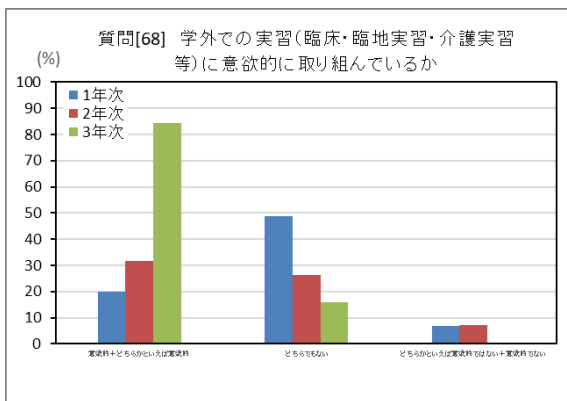


4) 入学時点と比べた能力や知識の変化



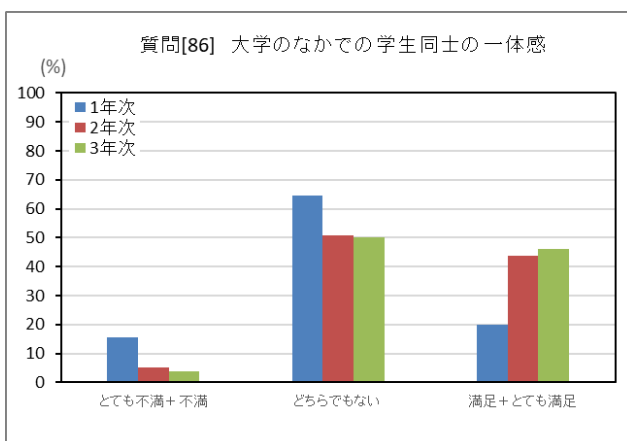


Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

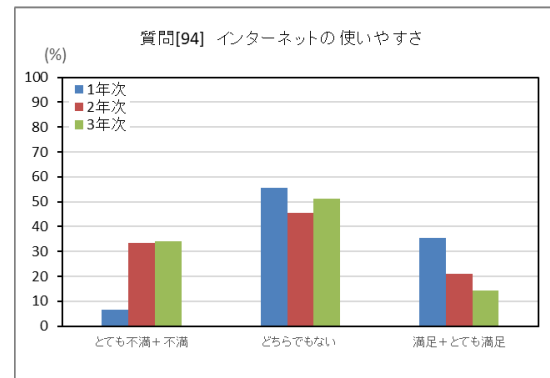
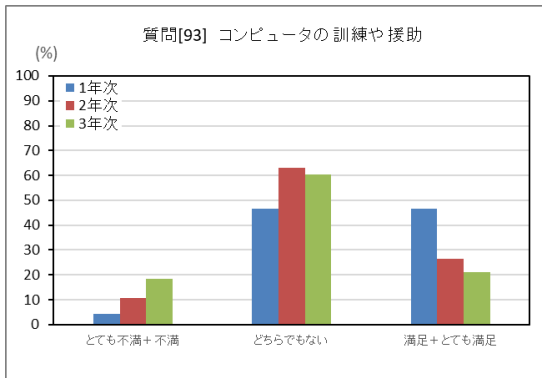
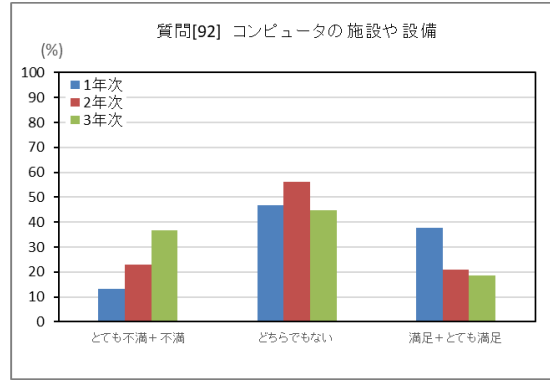
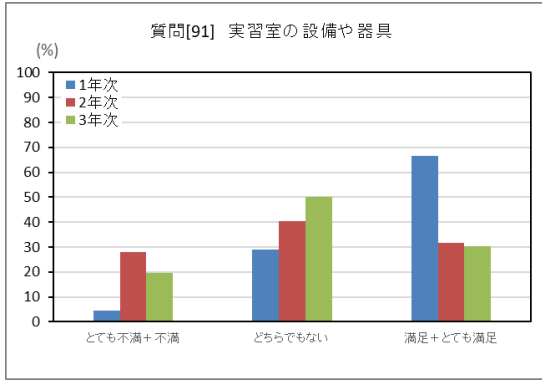


Ⅳ. 大学生活に対する考えや満足度について

3) 教育内容の満足度



4) 設備や学生支援制度の満足度



福岡医療短期大学 学生 IR 調査 2020 年 結果

[歯科衛生学科 1 年次生 45/45 名]

2020 年 11 月 20 日実施

学生の皆さんへ

本調査は、学生の皆さんに日頃の大学生生活を思い出して自己申告してもらい、教育の成果を調査(測定)することを目的として実施します。

在学中の皆さんから大学生活や教学などに関する情報を収集・分析することは、IR(インスティテューショナル・リサーチ, institutional research)と呼ばれ、学生の視点を重視することで、確実に教育成果を身につけてもらうための大切な活動の一つです。

調査結果から得られた教育内容の特徴を分析することで、教育の質を客観的に保証するとともに、さらなる教育改善の方策を見出します。

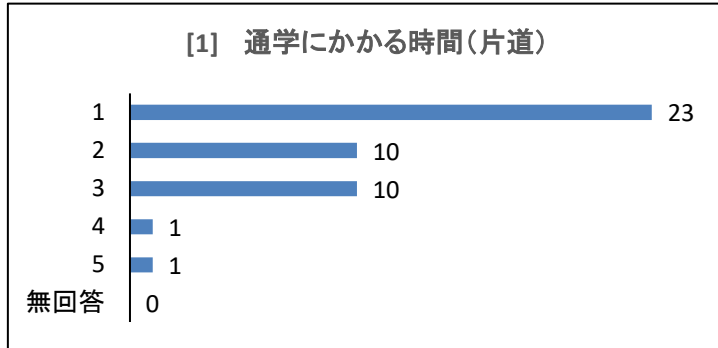
回答してもらった内容は、すべて統計的に処理しますので、皆さんの回答が他の人に知られることはありません。回答は、特にことわりや指示のない限り、もっともよくあてはまるものを1つだけ選んでください。また、回答できない箇所は空白にしてください。

※本調査の「全般的な学習状況」、「授業時間外の学習状況」、「教育の質保証」の3つの教育観点に関する設問については、先進的な取組である『大学 IR コンソーシアム』の学生調査の取組を参考にして検討し、選定しています。

1. 現在の学生生活について

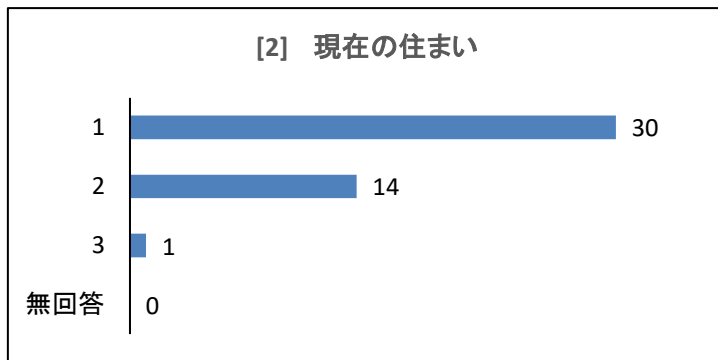
[1] 通学にかかる時間（片道）

1	30分未満	2	30分以上～ 1時間未満	3	1時間以上～ 1時間30分未満	4	1時間30分以上～ 2時間未満	5	2時間以上
---	-------	---	-----------------	---	--------------------	---	--------------------	---	-------



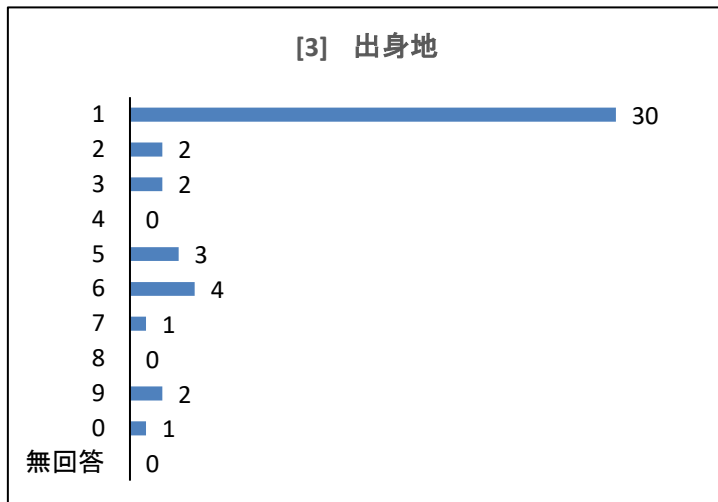
[2] 現在の住まい

1	家族 または 親戚と暮らしている	2	アパート・学生マンションでひとり暮らし	3	大学寮や合宿所
---	------------------	---	---------------------	---	---------



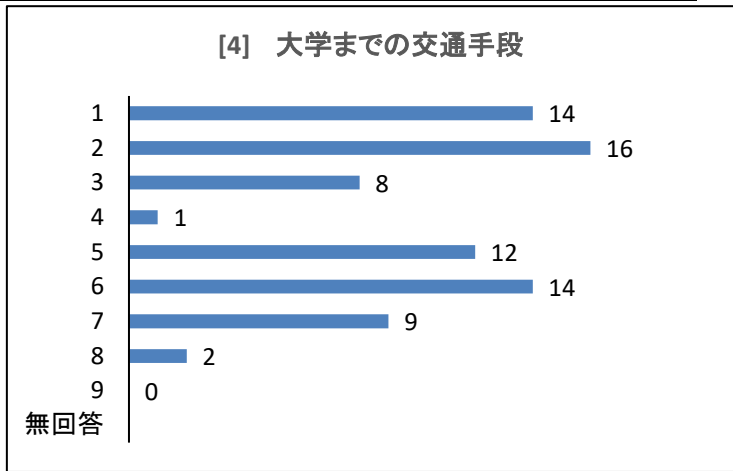
[3] 出身地

1	福岡県	2	佐賀県	3	長崎県	4	熊本県	5	宮崎県
6	鹿児島県	7	大分県	8	沖縄県	9	山口県	0	その他



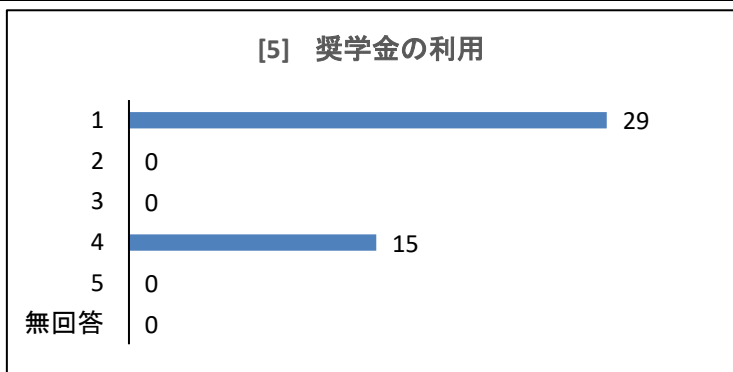
[4] 大学までの交通手段（当てはまるものすべてに○をつける）

1	徒歩	2	自転車	3	自動車	4	バイク	5	鉄道（JR・西鉄）
6	地下鉄	7	バス	8	送迎	9	その他		



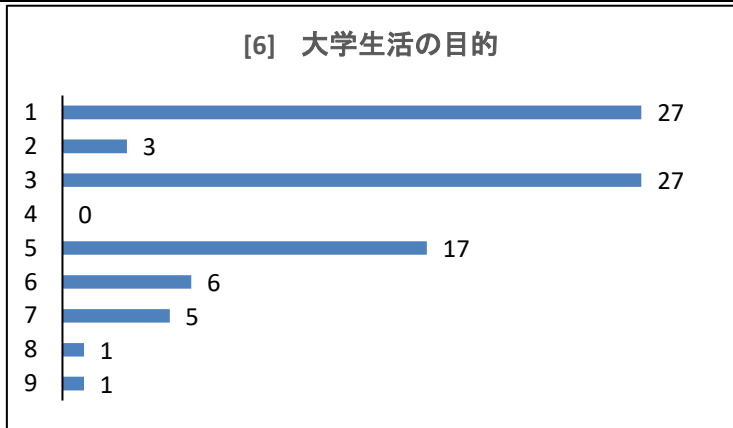
[5] 奨学金の利用

1	日本学生支援機構の奨学金	2	日本介護福祉士修学資金	3	以前受けていたが今は受けていない	4	受けていない	5	その他
---	--------------	---	-------------	---	------------------	---	--------	---	-----



[6] 大学生生活の目的（当てはまるすべてのものに○をつける）

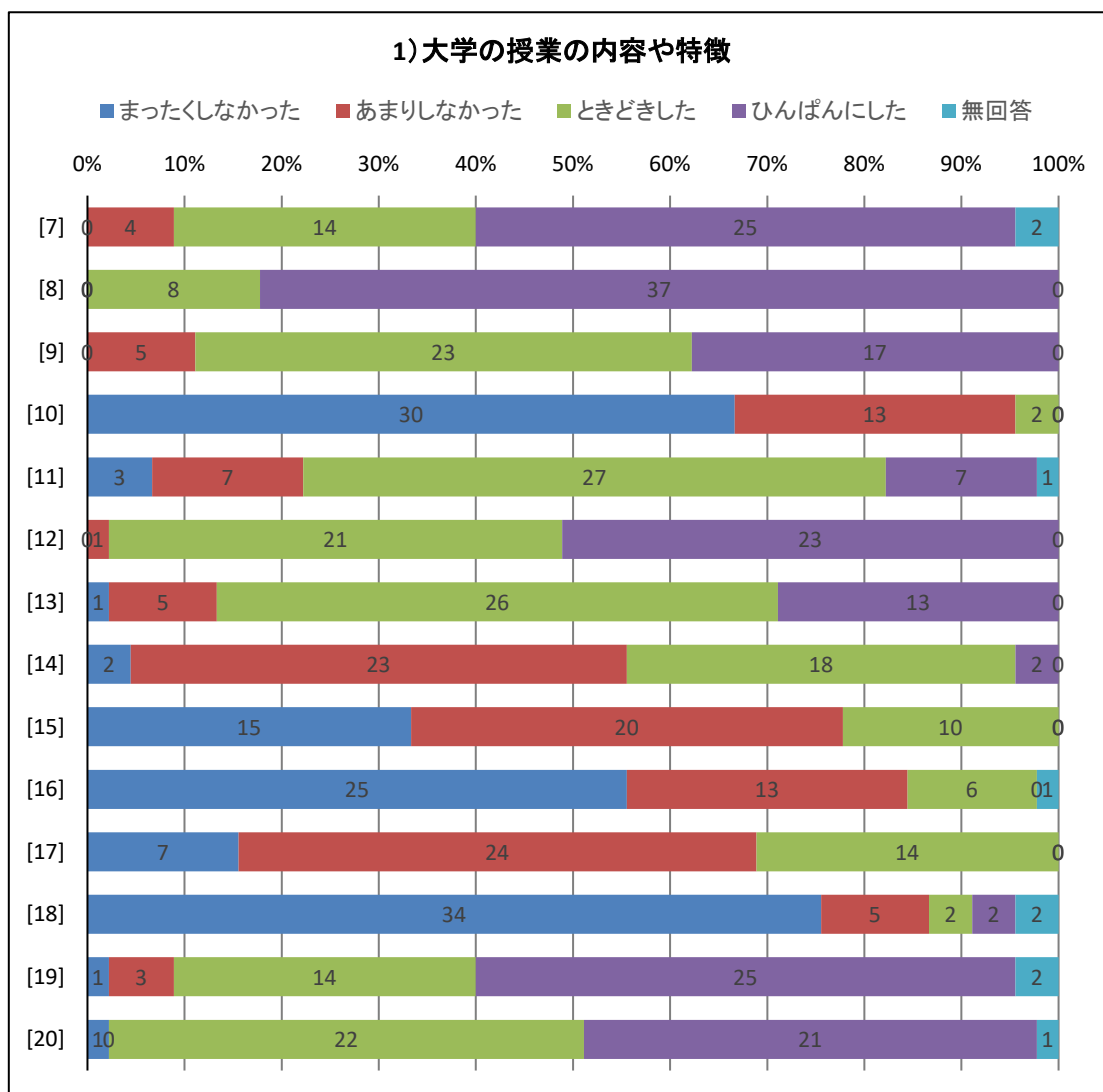
1	専門的な研究や知識を身につける	2	豊かな教養を身につける	3	学歴や資格を得る	4	クラブやサークルを楽しむ	5	希望する職業に就く
6	学生生活を楽しむ	7	友達とのかかわりを楽しむ	8	特に目的はない	9	その他		



II. 大学の学習状況について

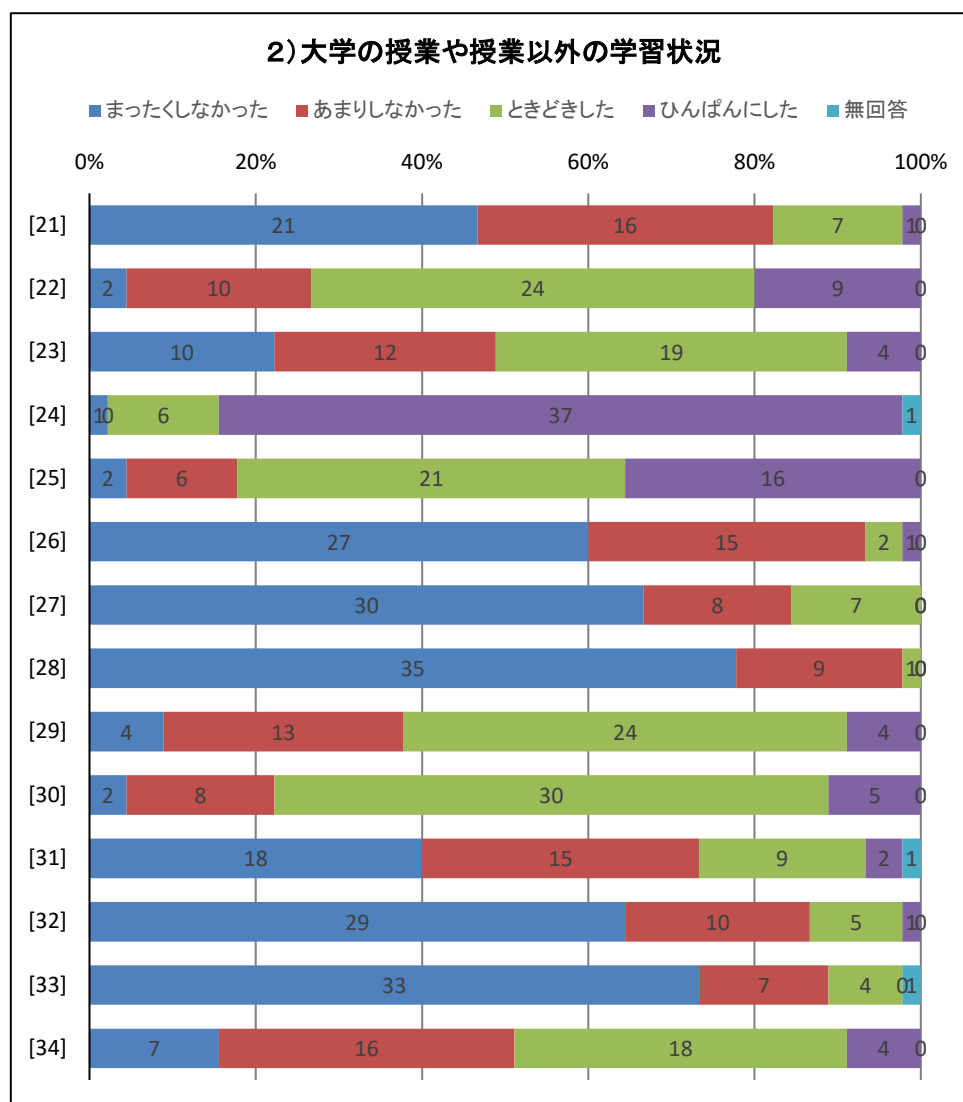
1) 大学の授業の内容や特徴

- [7] 所属学科の学内実習、学外実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ
- [8] 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ
- [9] 授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する
- [10] 授業の一環でボランティア活動をする
- [11] 学生自身が文献や資料を調べる
- [12] 定期的に小テストやレポートが課される
- [13] 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する
- [14] 学生が自分の考えや研究を発表する
- [15] 授業中に学生同士が論議をする
- [16] 授業で検討するテーマを学生が設定する
- [17] 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる
- [18] 取りたい授業を履修登録できなかった
- [19] 出席することが重視される
- [20] TA・SA（上級生や専攻科生）から補助・指導を受ける



2) 大学の授業や授業以外の学習状況

- [21] 授業課題のために図書館の資料を利用した
- [22] 授業課題のために Web 上の情報を利用した
- [23] インターネットやイントラネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした
- [24] 提出期限までに授業課題を完成した
- [25] 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした
- [26] 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた
- [27] 授業を欠席した
- [28] 授業に遅刻した
- [29] 授業をつまらなく感じた
- [30] 授業中に居眠りをした
- [31] 教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした（オフィスアワーも含める）
- [32] 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した
- [33] 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした（卒業後の進路や職業選択など）
- [34] 教員に親近感を感じた

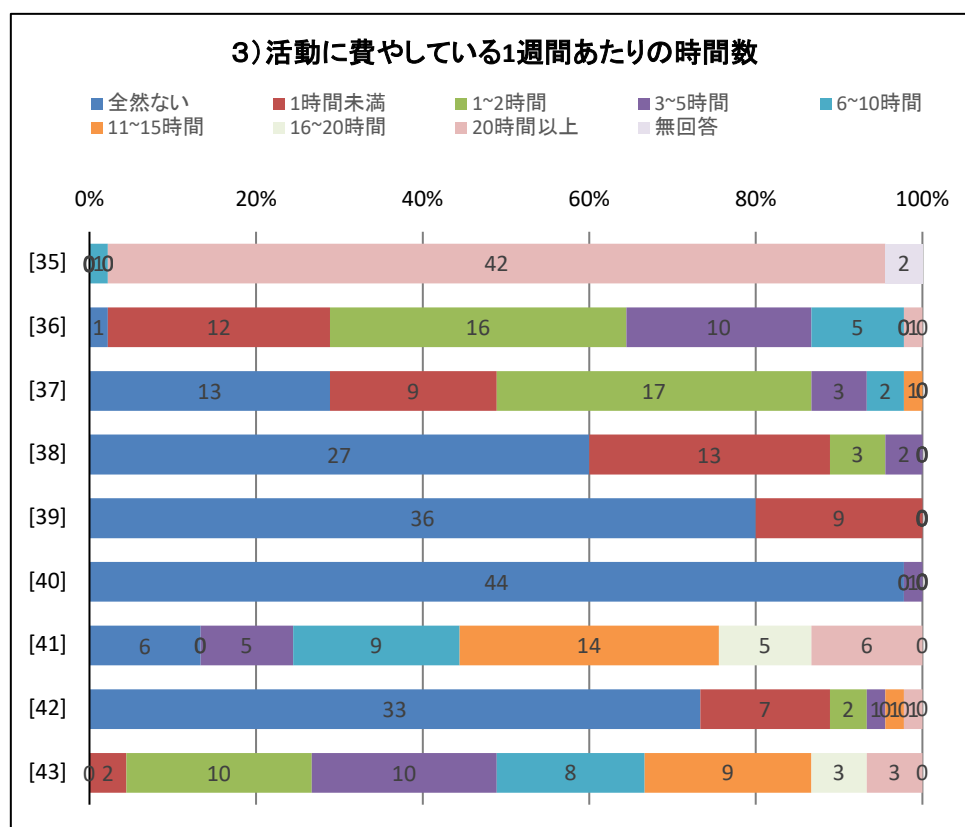


3) 活動に費やしている1週間あたりの時間数

※時間の目安・・・1日30分×7日=3.5時間 1日60分×7日=7時間

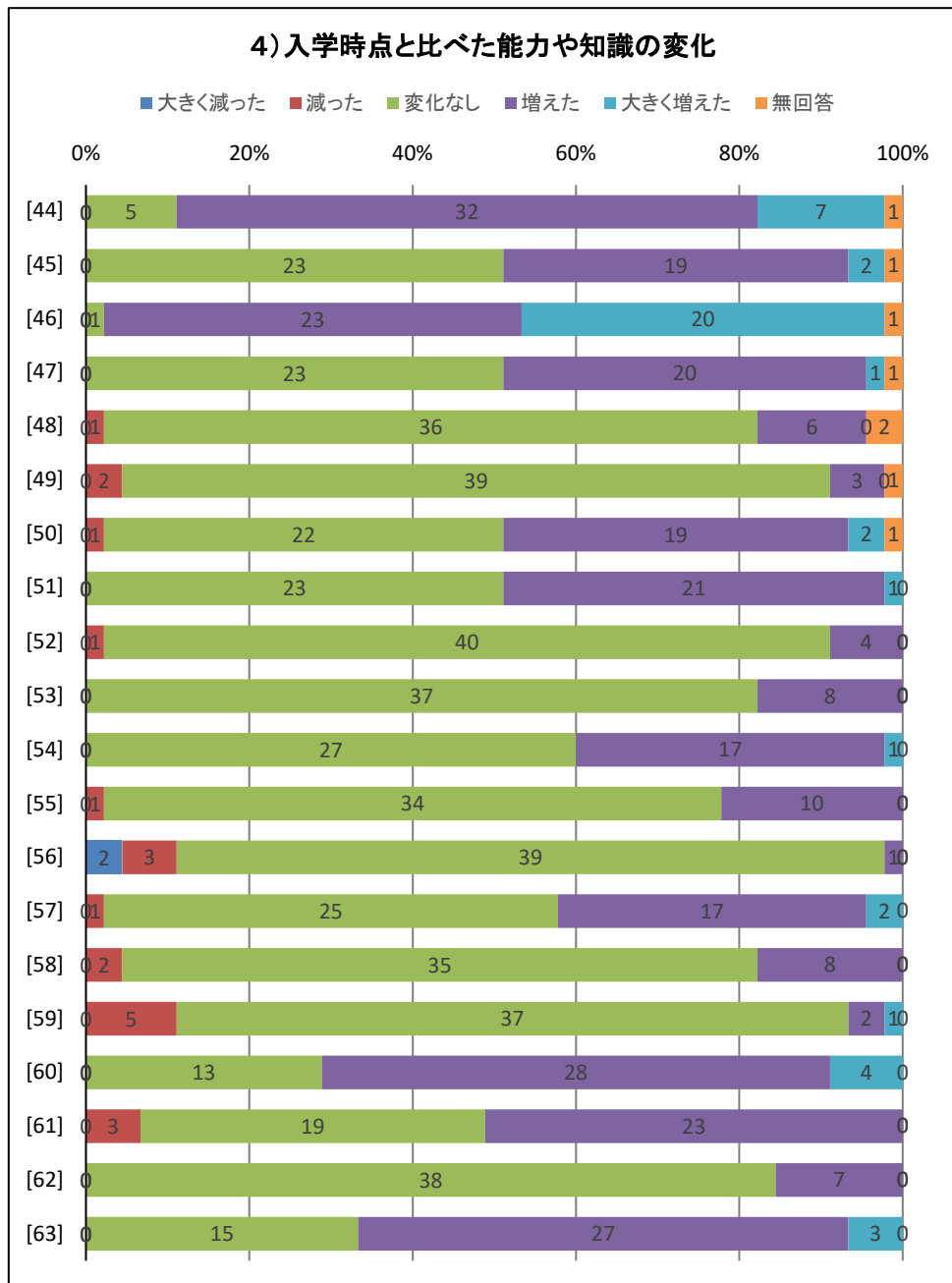
1日1.5時間×7日=10.5時間 1日2時間×7日=14時間

- [35] 講義や実習に出席する [参考] 90分×4コマ×5日間=30時間
- [36] 授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする [参考] 1日2時間×7日=14時間
- [37] アクティブ・ラーニング科目（学内の演習や学外での実習など）に関する授業外学修時間
- [38] 授業時間以外に、授業に関連しない勉強をする
- [39] オフィスアワーなど、授業時間以外に教員と面談する
- [40] 部活動や同好会に参加する
- [41] 大学外でアルバイトや仕事をする
- [42] 読書をする（マンガ・雑誌を除く）
- [43] 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



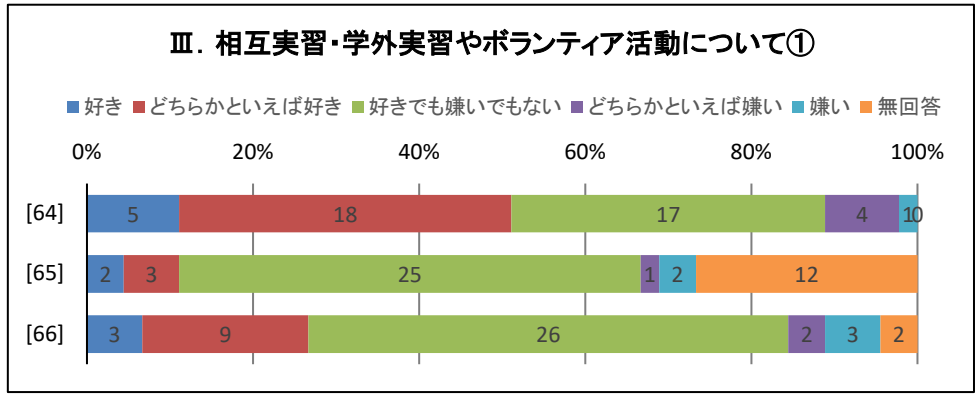
4) 入学時点と比べた能力や知識の変化

[44] 一般的な教養	[54] 国民が直面する問題を理解する能力
[45] 分析力や問題解決能力	[55] 文章表現の能力
[46] 専門分野や学科の知識	[56] 外国語の運用能力
[47] 批判的に考える能力	[57] コミュニケーションの能力
[48] 異文化の人々に関する知識	[58] プレゼンテーションの能力
[49] リーダーシップの能力	[59] 数理的な能力
[50] 人間関係を構築する能力	[60] コンピュータの操作能力
[51] 他の人と協力して物事を遂行する能力	[61] 時間を効果的に利用する能力
[52] 異文化の人々と協力する能力	[62] グローバル（世界的）な問題の理解
[53] 地域社会が直面する問題を理解する能力	[63] 就職に向けての知識・技術力

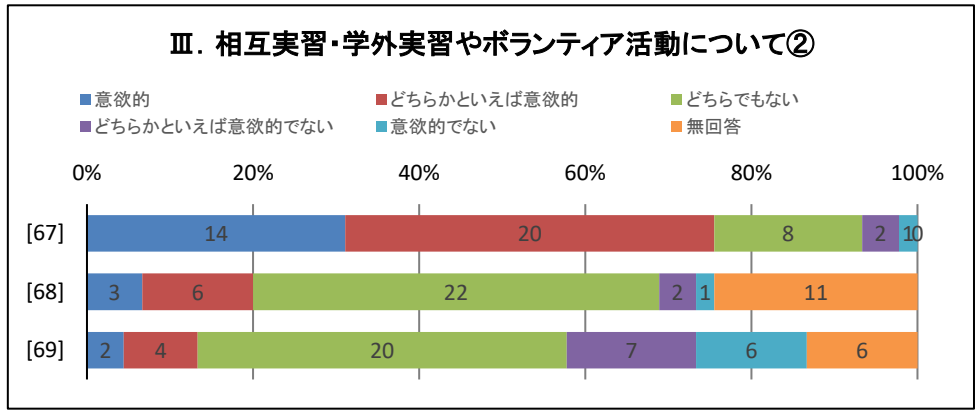


Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

- [64] 学内の実習が好きか
- [65] 学外（臨床・臨地実習・介護実習等）での実習が好きか
- [66] ボランティア活動が好きか



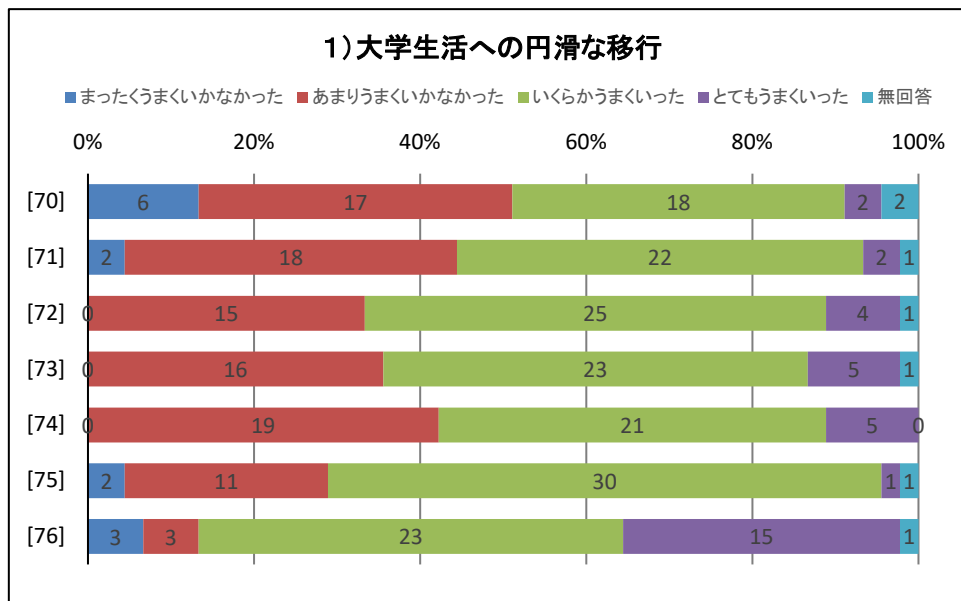
- [67] 学内での実習に意欲的に取り組んでいるか
- [68] 学外での実習（臨床・臨地実習・介護実習等）に意欲的に取り組んでいるか
- [69] ボランティア活動に意欲的に取り組んでいるか



V. 大学生活に対する考えや満足度について

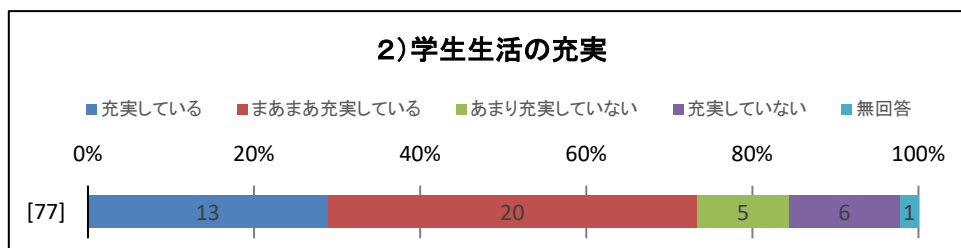
1) 大学生活への円滑な移行

- [70] 大学の学生向けサービスを上手に利用する
- [71] 大学教員の学問的な期待を理解する
- [72] 効果的に学習する技能を修得する
- [73] 大学が求める水準に応じて学習する
- [74] 時間を効果的に使う
- [75] 大学教員と顔見知りになる
- [76] 他の学生との友情を深める



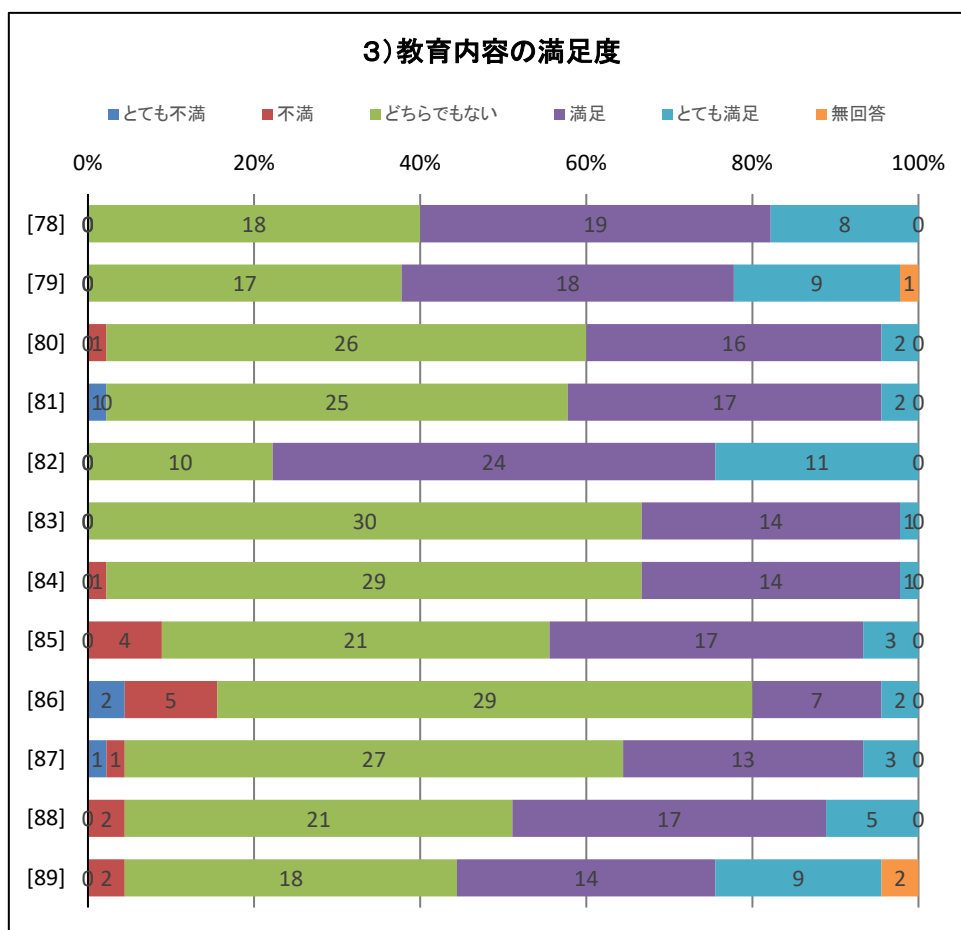
2) 学生生活の充実

- [77] 学生生活の充実している



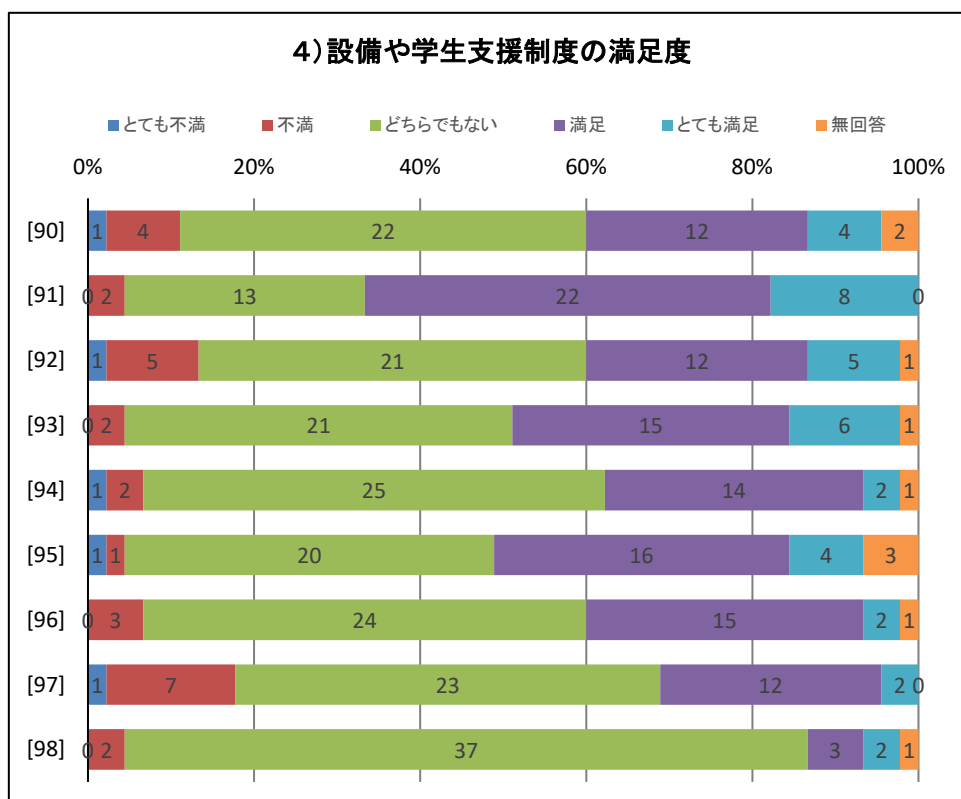
3) 教育内容の満足度

- [78] 専門教育あるいは所属学科の授業
- [79] 所属学科の学内実習や学外実習（臨床・臨地実習・介護実習等）
- [80] 授業の全体的な質
- [81] 日常生活と授業内容との関連
- [82] 将来の仕事と授業内容との結びつき
- [83] 教員と話をする機会
- [84] 個別の学習指導や学習支援（履修相談など）
- [85] 他の学生と話をする機会
- [86] 大学のなかでの学生同士の一体感
- [87] 多様な考え方を認め合う雰囲気
- [88] 大学での経験全般について
- [89] 1つの授業を履修する学生数



4) 設備や学生支援制度の満足度

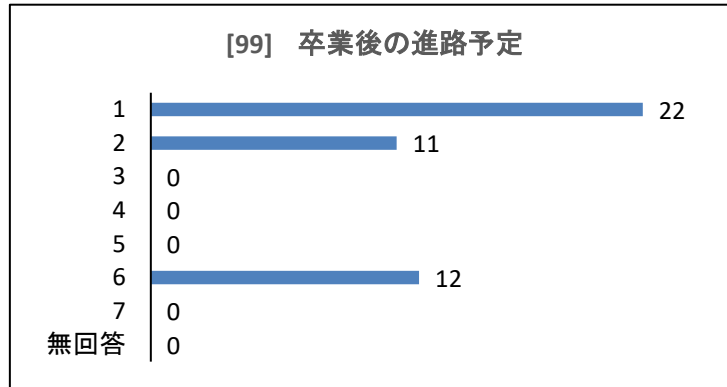
- [90] 図書館の設備（蔵書やレファレンスサービス：図書館員による情報提供・資料検索他）
- [91] 実習室の設備や器具
- [92] コンピュータの施設や設備
- [93] コンピュータの訓練や援助
- [94] インターネットの使いやすさ
- [95] 奨学金など学費援助の制度
- [96] 健康・保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談：歯科を含む）
- [97] レクリエーション施設（体育館の設備など）
- [98] キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)



VI. 卒業後の進路について

[99] 卒業後の進路予定

1	就職する	2	専攻科に進学する	3	留学する	4	他大学に(編)入学する	5	専門学校に進学する
6	まだわからない	7	その他						



[100] 将来の見通しと現在の状態

以下の2つの文章を読んで、あなたのいまの状態にもっとも近い番号を選んでください。

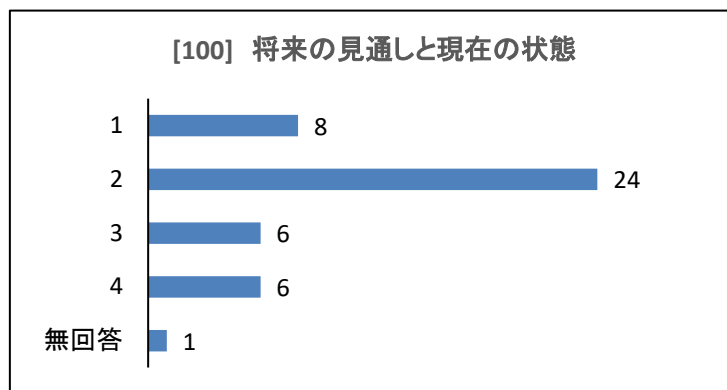
①あなたは、将来の見通し（将来こういう風でありたい）を持っていますか。

②その見通しのなかでもっとも重要なものを1つ思い浮かべてください。

あなたは、その見通しの実現に向かって、自分が何をすべきなのかわかっていますか。

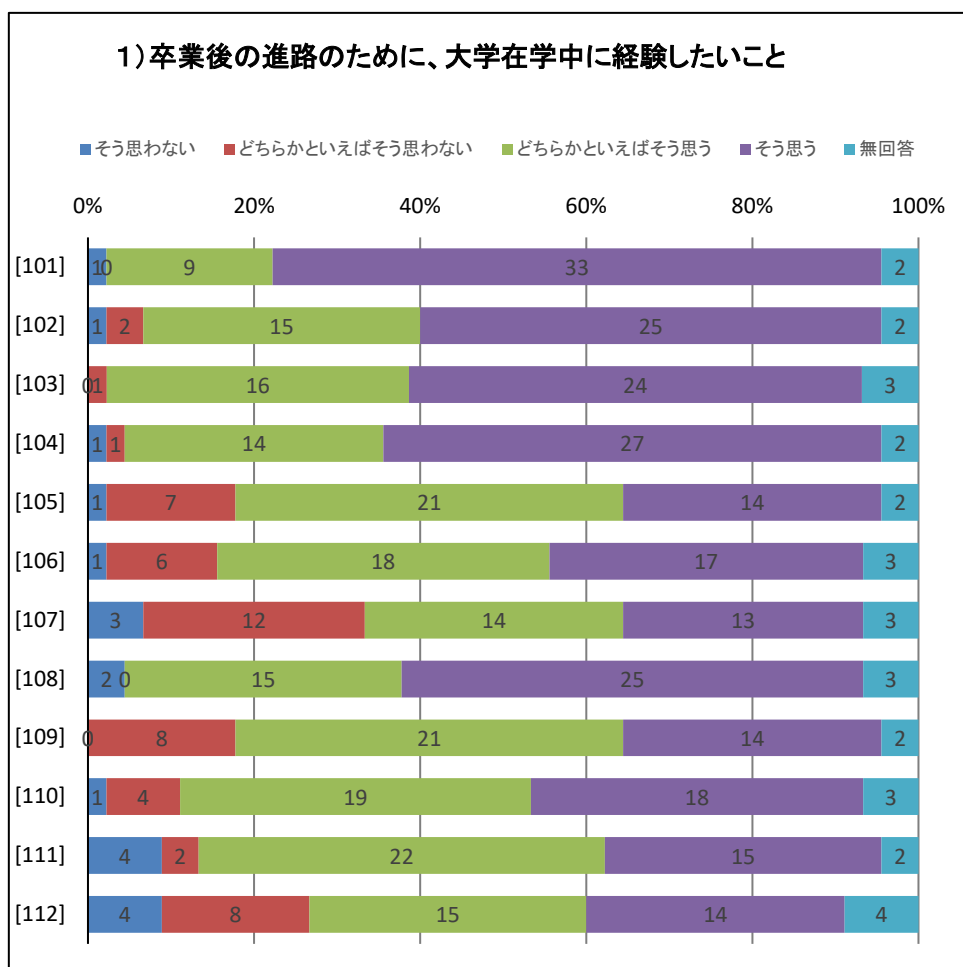
また、それを実行していますか。

1	①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわかっているし、実行もしている
2	①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわかっているが、実行は出来ていない
3	①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわからない
4	①将来の見通しを持っていない



1) 卒業後の進路のために、大学在学中に経験したいこと

- [101] 専門分野の知識・技術をしっかり身につけ、国家試験に合格出来る教育を受ける
- [102] 専門分野だけでなく、幅広い知識を身につけ視野を広げる
- [103] 職業意識の形成につながる教育を受ける
- [104] 学外実習施設での体験実習等を踏まえた上で、専門知識を学ぶ
- [105] 教員が設定した特定の課題に対して、チームで取り組むプロジェクト型の授業を受ける
- [106] 自分で課題を見つけ、自分で解決していくような訓練を受ける
- [107] ディベート（討論）やプレゼンテーションの訓練を受ける
- [108] 実践的で専門性のある資格を取得するためのプログラムを受ける
- [109] レポートや論文指導により、文書作成能力を高める
- [110] 卒業後の進路について、教職員に対して個別に相談する
- [111] 卒業後の進路について、本学の卒業生や先輩と話をする
- [112] 本学の教職員以外の人と話をする



以上

福岡医療短期大学 学生 IR 調査 2020 年 結果

[歯科衛生学科 2 年次生 57/57 名]

2020 年 11 月 16 日実施

学生の皆さんへ

本調査は、学生の皆さんに日頃の大学生生活を思い出して自己申告してもらい、教育の成果を調査(測定)することを目的として実施します。

在学中の皆さんから大学生活や教学などに関する情報を収集・分析することは、IR(インスティテューショナル・リサーチ, institutional research)と呼ばれ、学生の視点を重視することで、確実に教育成果を身につけてもらうための大切な活動の一つです。

調査結果から得られた教育内容の特徴を分析することで、教育の質を客観的に保証するとともに、さらなる教育改善の方策を見出します。

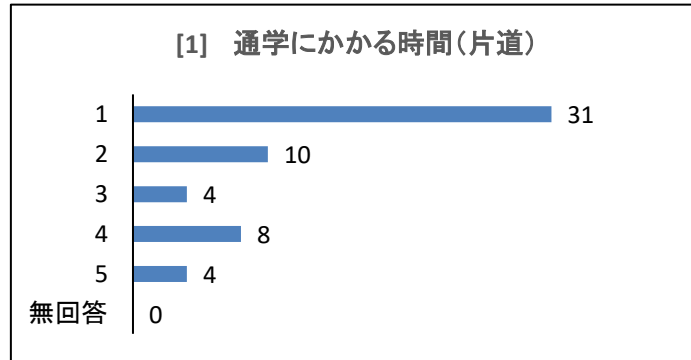
回答してもらった内容は、すべて統計的に処理しますので、皆さんの回答が他の人に知られることはありません。回答は、特にことわりや指示のない限り、もっともよくあてはまるものを1つだけ選んでください。また、回答できない箇所は空白にしてください。

※本調査の「全般的な学習状況」、「授業時間外の学習状況」、「教育の質保証」の3つの教育観点に関する設問については、先進的な取組である『大学 IR コンソーシアム』の学生調査の取組を参考にして検討し、選定しています。

1. 現在の学生生活について

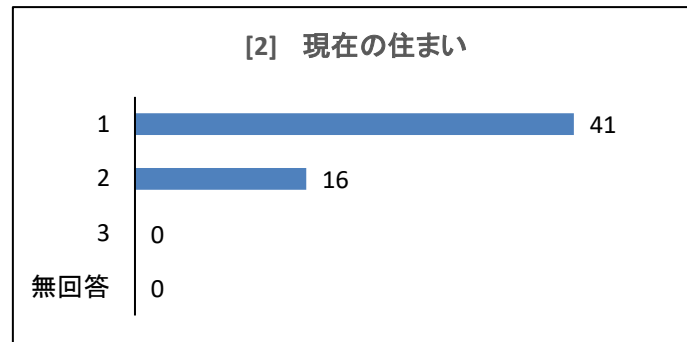
[1] 通学にかかる時間（片道）

1	30分未満	2	30分以上～ 1時間未満	3	1時間以上～ 1時間30分未満	4	1時間30分以上～ 2時間未満	5	2時間以上
---	-------	---	-----------------	---	--------------------	---	--------------------	---	-------



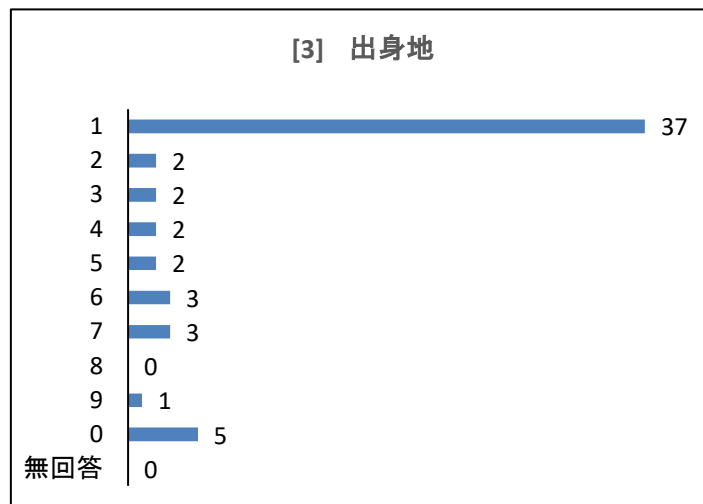
[2] 現在の住まい

1	家族 または 親戚と暮らしている	2	アパート・学生マンションでひとり暮らし	3	大学寮や合宿所
---	------------------	---	---------------------	---	---------



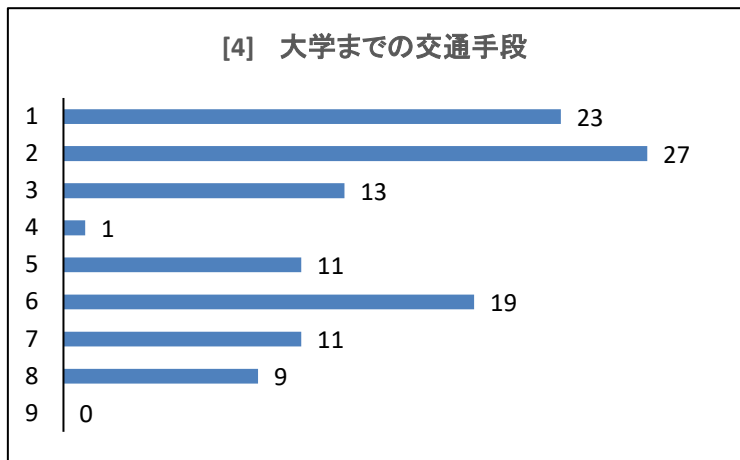
[3] 出身地

1	福岡県	2	佐賀県	3	長崎県	4	熊本県	5	宮崎県
6	鹿児島県	7	大分県	8	沖縄県	9	山口県	0	その他



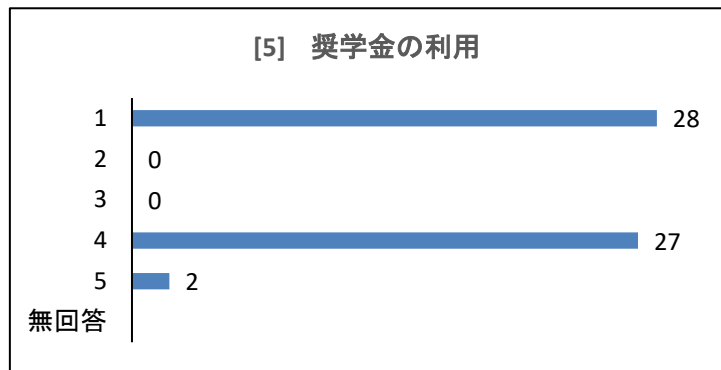
[4] 大学までの交通手段（当てはまるものすべてに○をつける）

1	徒歩	2	自転車	3	自動車	4	バイク	5	鉄道（JR・西鉄）
6	地下鉄	7	バス	8	送迎	9	その他		



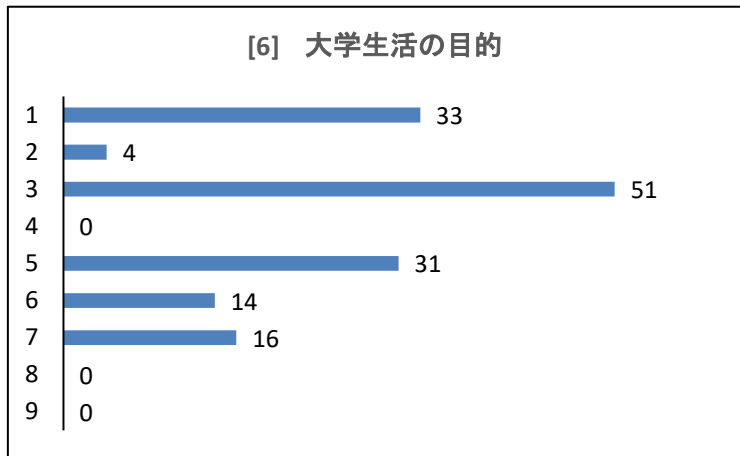
[5] 奨学金の利用

1	日本学生支援機構の奨学金	2	日本介護福祉士修学資金	3	以前受けていたが今は受けていない	4	受けていない	5	その他
---	--------------	---	-------------	---	------------------	---	--------	---	-----



[6] 大学生生活の目的（当てはまるすべてのものに○をつける）

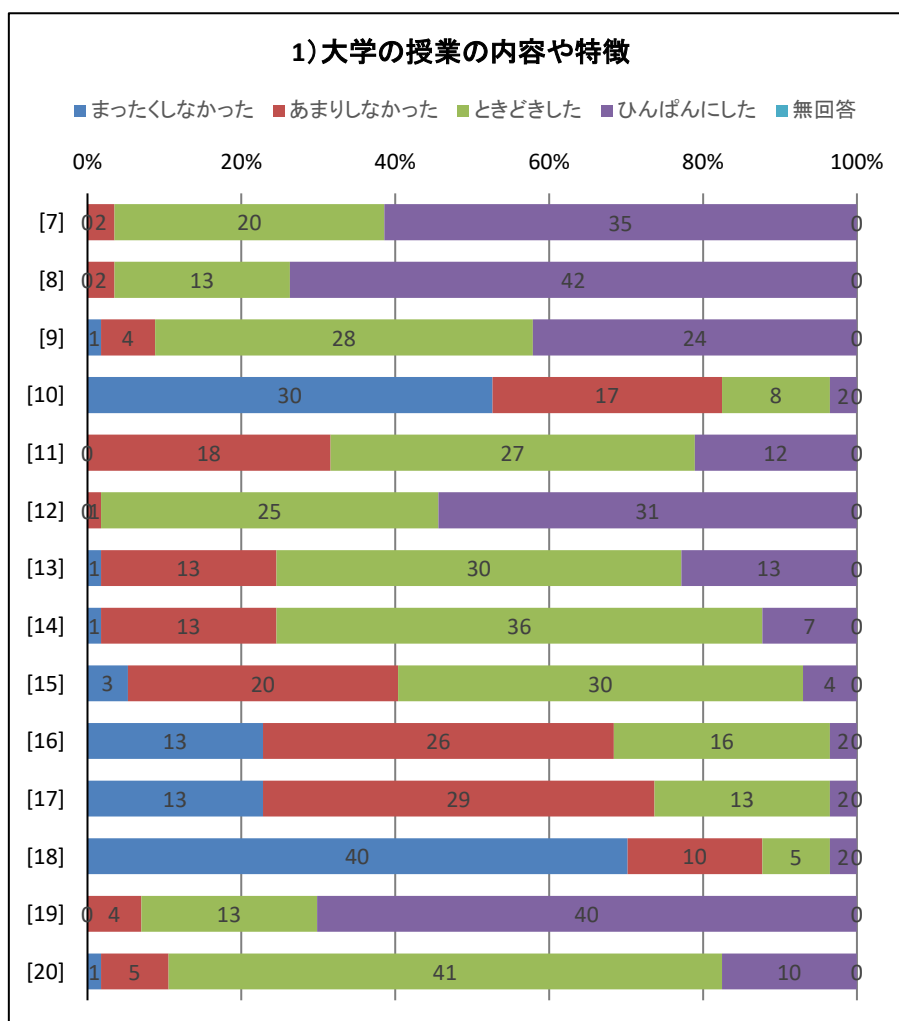
1	専門的な研究や知識を身につける	2	豊かな教養を身につける	3	学歴や資格を得る	4	クラブやサークルを楽しむ	5	希望する職業に就く
6	学生生活を楽しむ	7	友達とのかかわりを楽しむ	8	特に目的はない	9	その他		



Ⅱ. 大学の学習状況について

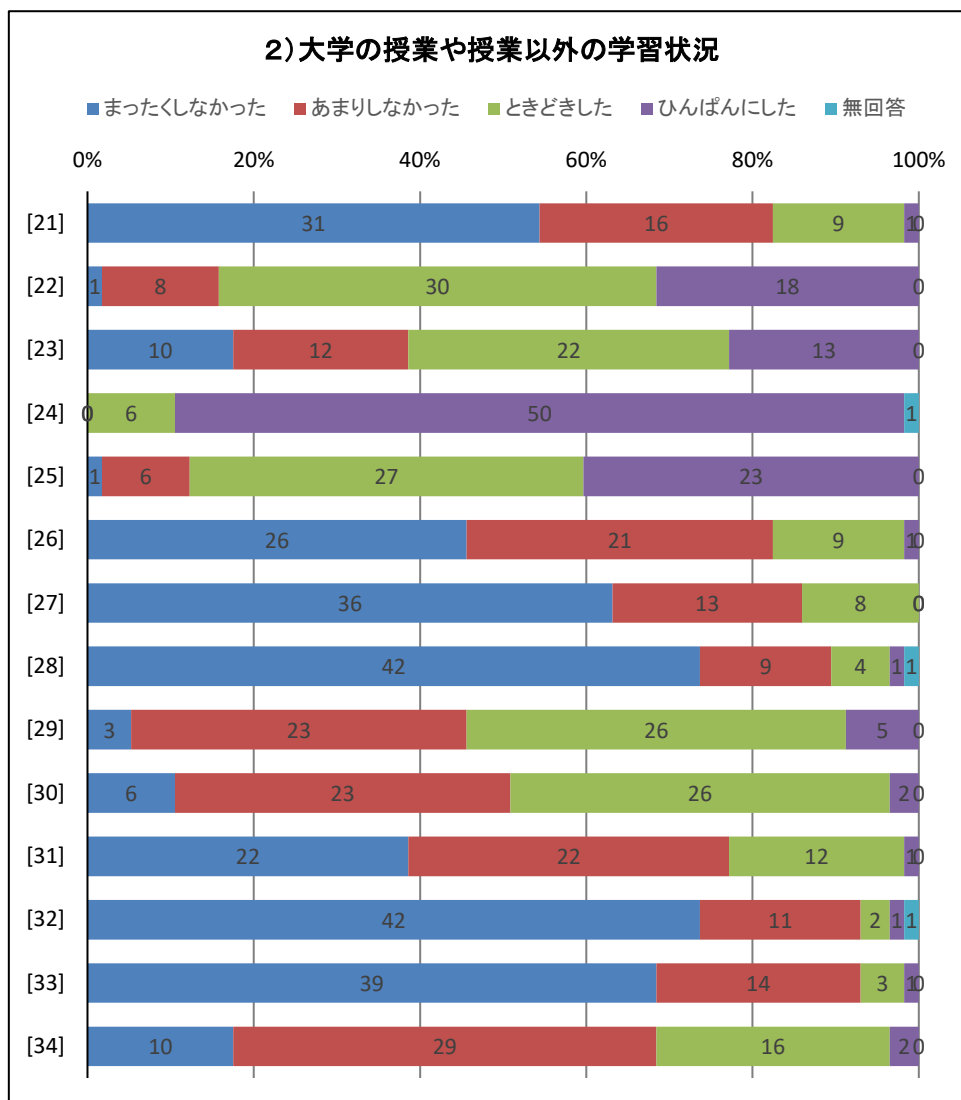
1) 大学の授業の内容や特徴

- [7] 所属学科の学内実習、学外実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ
- [8] 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ
- [9] 授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する
- [10] 授業の一環でボランティア活動をする
- [11] 学生自身が文献や資料を調べる
- [12] 定期的に小テストやレポートが課される
- [13] 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する
- [14] 学生が自分の考えや研究を発表する
- [15] 授業中に学生同士が論議をする
- [16] 授業で検討するテーマを学生が設定する
- [17] 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる
- [18] 取りたい授業を履修登録できなかった
- [19] 出席することが重視される
- [20] TA・SA（上級生や専攻科生）から補助・指導を受ける



2) 大学の授業や授業以外の学習状況

- [21] 授業課題のために図書館の資料を利用した
- [22] 授業課題のために Web 上の情報を利用した
- [23] インターネットやイントラネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした
- [24] 提出期限までに授業課題を完成した
- [25] 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした
- [26] 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた
- [27] 授業を欠席した
- [28] 授業に遅刻した
- [29] 授業をつまらなく感じた
- [30] 授業中に居眠りをした
- [31] 教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした（オフィスアワーも含める）
- [32] 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した
- [33] 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした（卒業後の進路や職業選択など）
- [34] 教員に親近感を感じた

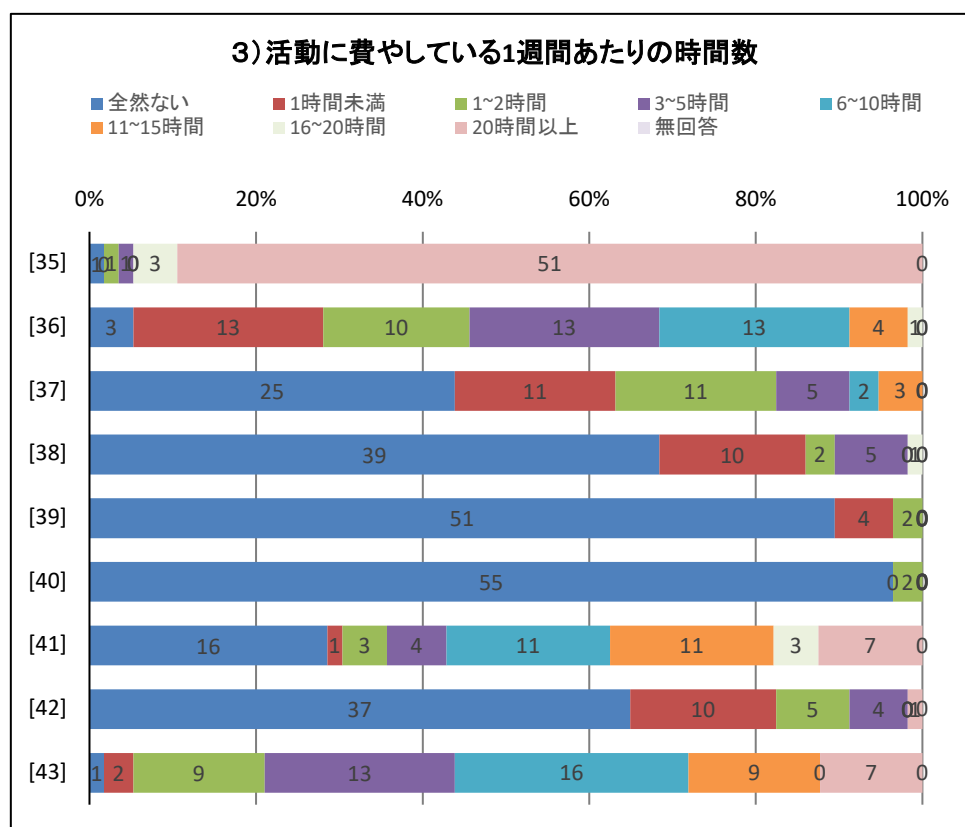


3) 活動に費やしている1週間あたりの時間数

※時間の目安・・・1日30分×7日=3.5時間 1日60分×7日=7時間

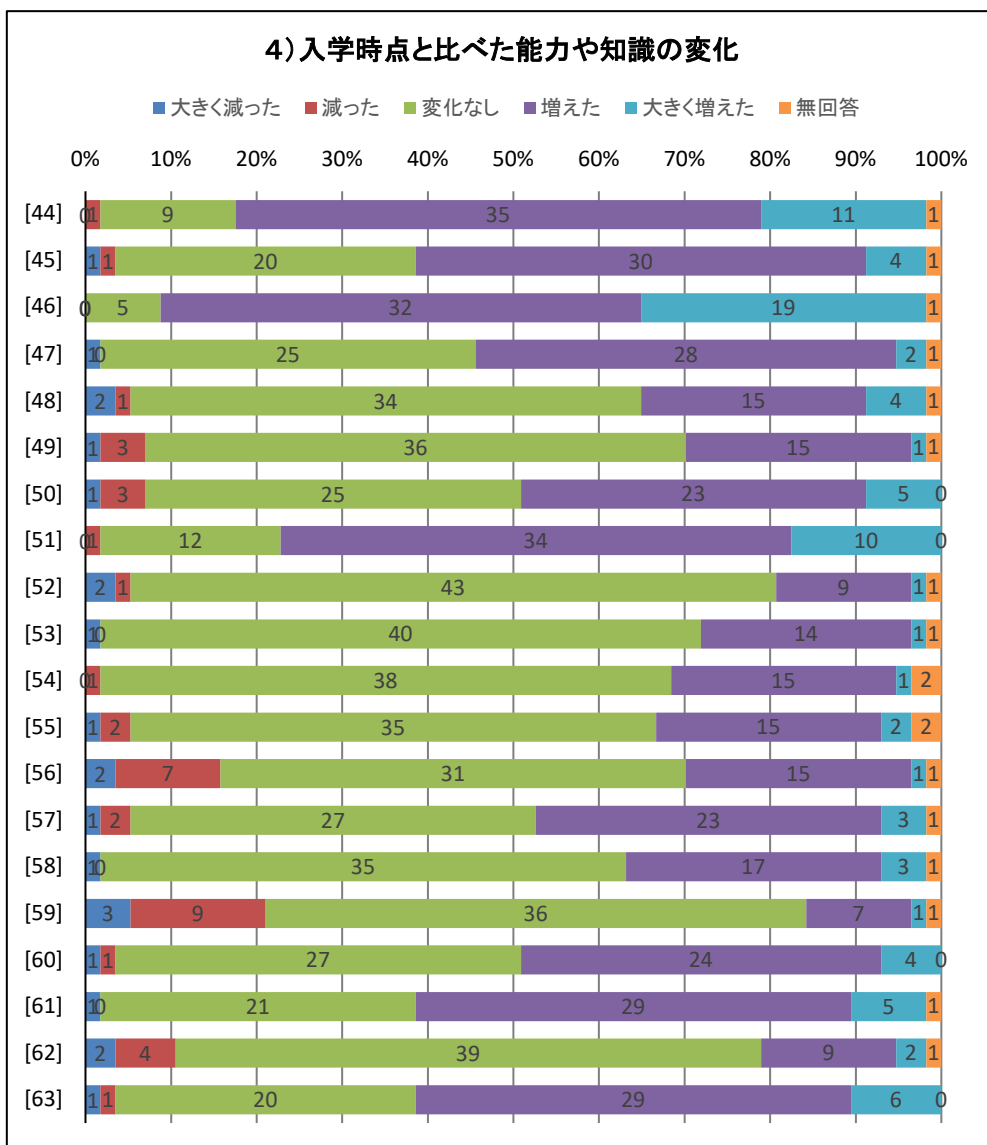
1日1.5時間×7日=10.5時間 1日2時間×7日=14時間

- [35] 講義や実習に出席する [参考] 90分×4コマ×5日間=30時間
- [36] 授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする [参考] 1日2時間×7日=14時間
- [37] アクティブ・ラーニング科目（学内の演習や学外での実習など）に関する授業外学修時間
- [38] 授業時間以外に、授業に関連しない勉強をする
- [39] オフィスアワーなど、授業時間以外に教員と面談する
- [40] 部活動や同好会に参加する
- [41] 大学外でアルバイトや仕事をする
- [42] 読書をする（マンガ・雑誌を除く）
- [43] 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



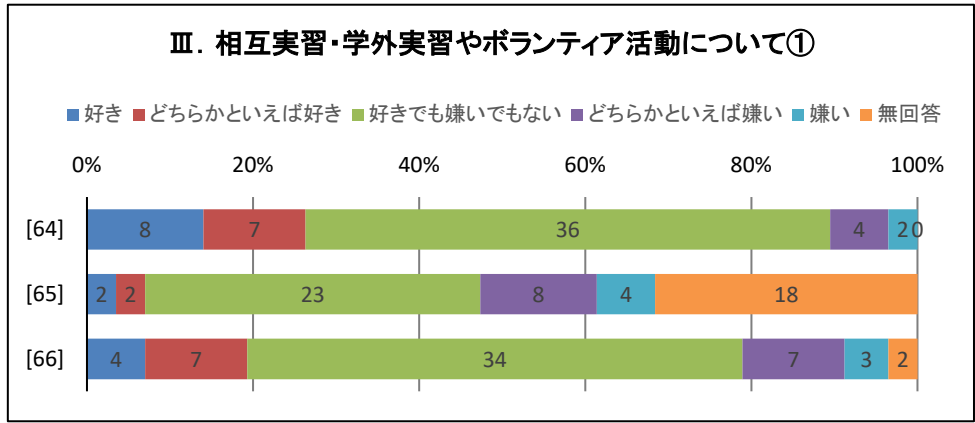
4) 入学時点と比べた能力や知識の変化

[44] 一般的な教養	[54] 国民が直面する問題を理解する能力
[45] 分析力や問題解決能力	[55] 文章表現の能力
[46] 専門分野や学科の知識	[56] 外国語の運用能力
[47] 批判的に考える能力	[57] コミュニケーションの能力
[48] 異文化の人々に関する知識	[58] プレゼンテーションの能力
[49] リーダーシップの能力	[59] 数理的な能力
[50] 人間関係を構築する能力	[60] コンピュータの操作能力
[51] 他の人と協力して物事を遂行する能力	[61] 時間を効果的に利用する能力
[52] 異文化の人々と協力する能力	[62] グローバル（世界的）な問題の理解
[53] 地域社会が直面する問題を理解する能力	[63] 就職に向けての知識・技術力

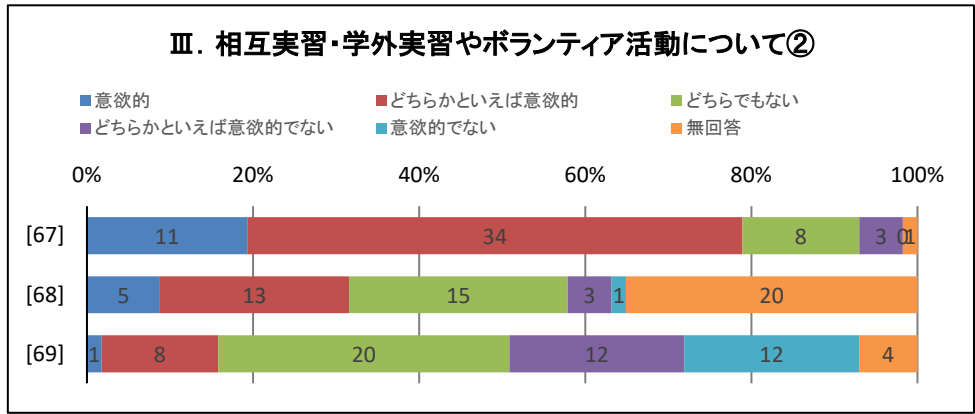


Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

- [64] 学内の実習が好きか
- [65] 学外（臨床・臨地実習・介護実習等）での実習が好きか
- [66] ボランティア活動が好きか



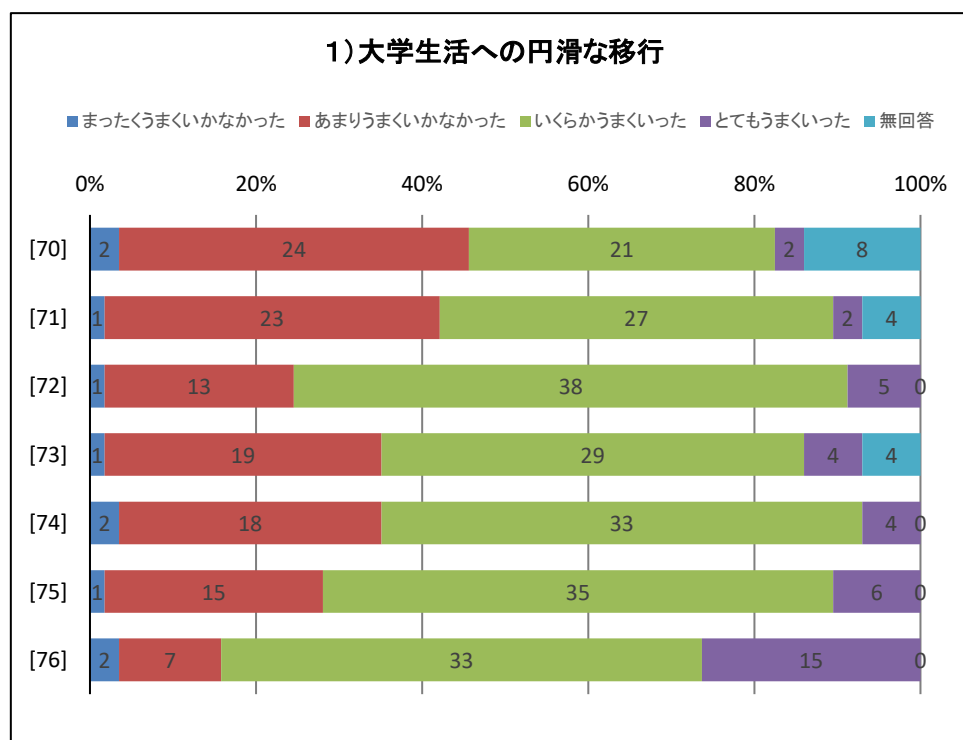
- [67] 学内での実習に意欲的に取り組んでいるか
- [68] 学外での実習（臨床・臨地実習・介護実習等）に意欲的に取り組んでいるか
- [69] ボランティア活動に意欲的に取り組んでいるか



V. 大学生活に対する考えや満足度について

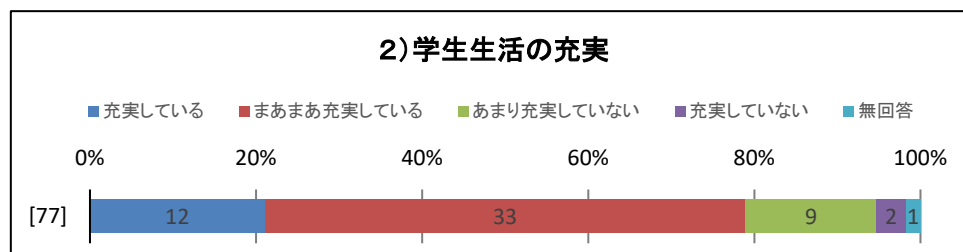
1) 大学生活への円滑な移行

- [70] 大学の学生向けサービスを上手に利用する
- [71] 大学教員の学問的な期待を理解する
- [72] 効果的に学習する技能を修得する
- [73] 大学が求める水準に応じて学習する
- [74] 時間を効果的に使う
- [75] 大学教員と顔見知りになる
- [76] 他の学生との友情を深める



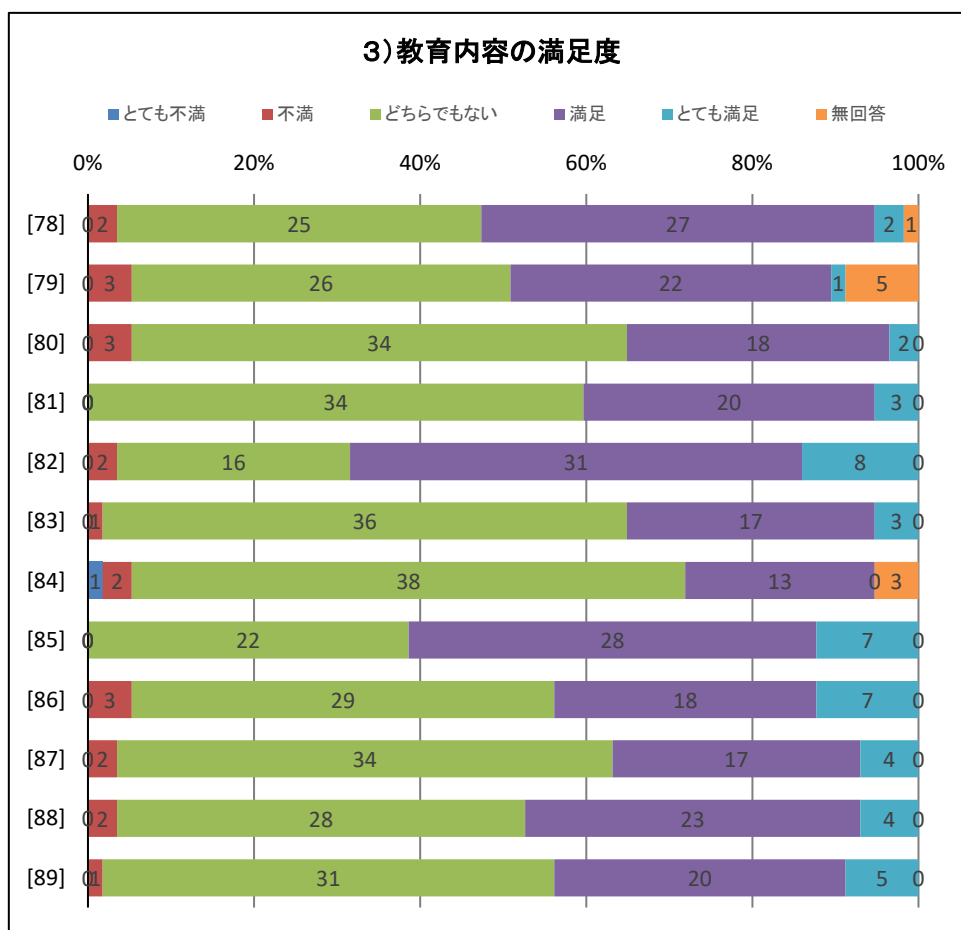
2) 学生生活の充実

- [77] 学生生活の充実している



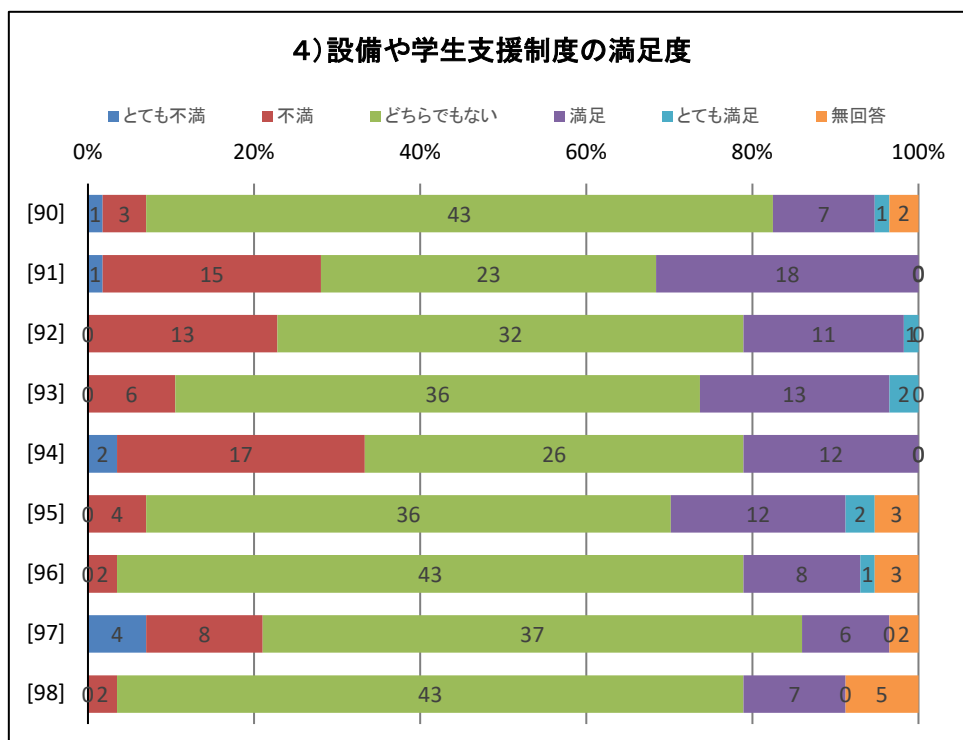
3) 教育内容の満足度

- [78] 専門教育あるいは所属学科の授業
- [79] 所属学科の学内実習や学外実習（臨床・臨地実習・介護実習等）
- [80] 授業の全体的な質
- [81] 日常生活と授業内容との関連
- [82] 将来の仕事と授業内容との結びつき
- [83] 教員と話をする機会
- [84] 個別の学習指導や学習支援（履修相談など）
- [85] 他の学生と話をする機会
- [86] 大学のなかでの学生同士の一体感
- [87] 多様な考え方を認め合う雰囲気
- [88] 大学での経験全般について
- [89] 1つの授業を履修する学生数



4) 設備や学生支援制度の満足度

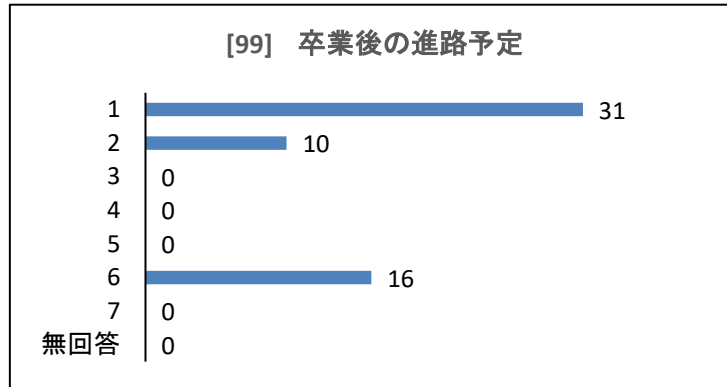
- [90] 図書館の設備（蔵書やレファレンスサービス：図書館員による情報提供・資料検索他）
- [91] 実習室の設備や器具
- [92] コンピュータの施設や設備
- [93] コンピュータの訓練や援助
- [94] インターネットの使いやすさ
- [95] 奨学金など学費援助の制度
- [96] 健康・保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談：歯科を含む）
- [97] レクリエーション施設（体育館の設備など）
- [98] キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)



VI. 卒業後の進路について

[99] 卒業後の進路予定

1	就職する	2	専攻科に進学する	3	留学する	4	他大学に(編)入学する	5	専門学校に進学する
6	まだわからない	7	その他						



[100] 将来の見通しと現在の状態

以下の2つの文章を読んで、あなたのいまの状態にもっとも近い番号を選んでください。

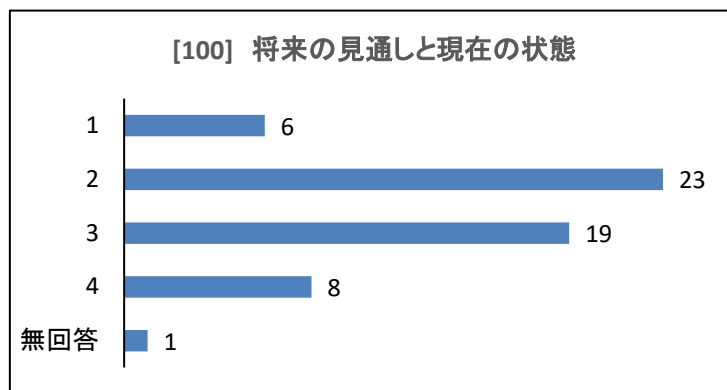
①あなたは、将来の見通し（将来こういう風でありたい）を持っていますか。

②その見通しのなかでもっとも重要なものを1つ思い浮かべてください。

あなたは、その見通しの実現に向かって、自分が何をすべきなのかわかっていますか。

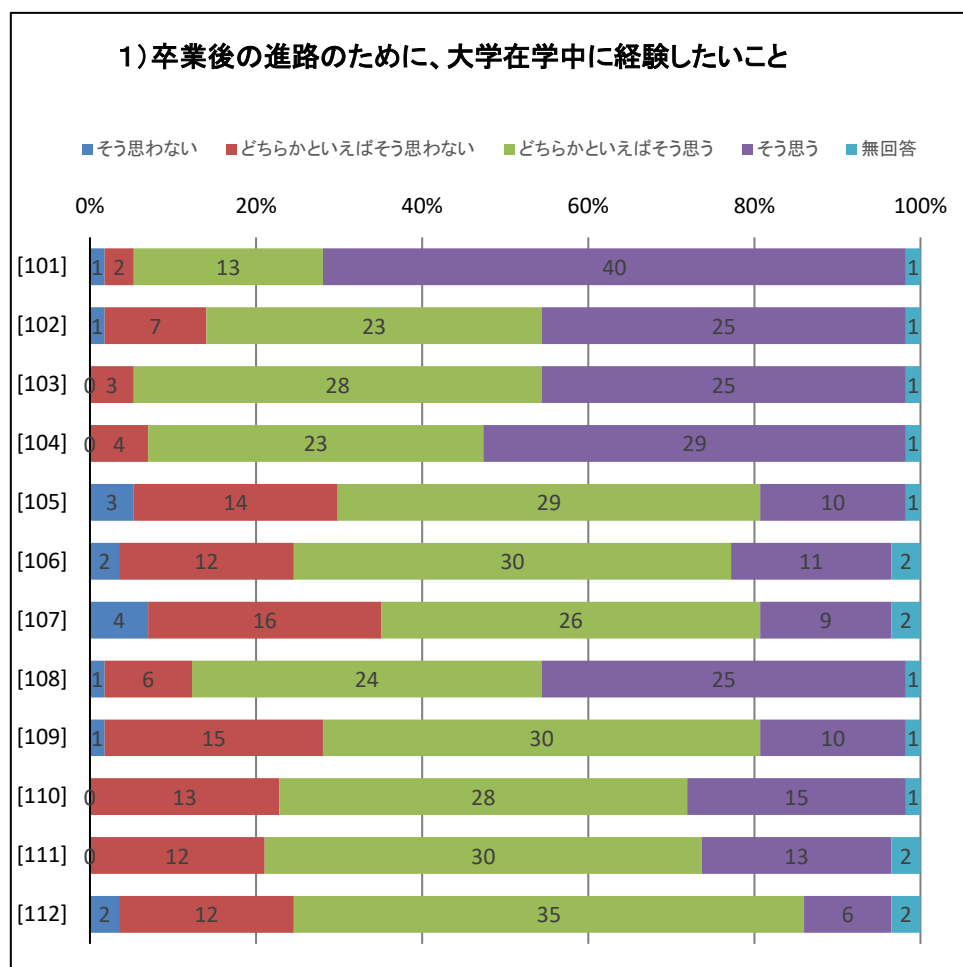
また、それを実行していますか。

1	①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわかっているし、実行もしている
2	①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわかっているが、実行は出来ていない
3	①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわからない
4	①将来の見通しを持っていない



1) 卒業後の進路のために、大学在学中に経験したいこと

- [101] 専門分野の知識・技術をしっかり身につけ、国家試験に合格出来る教育を受ける
- [102] 専門分野だけでなく、幅広い知識を身につけ視野を広げる
- [103] 職業意識の形成につながる教育を受ける
- [104] 学外実習施設での体験実習等を踏まえた上で、専門知識を学ぶ
- [105] 教員が設定した特定の課題に対して、チームで取り組むプロジェクト型の授業を受ける
- [106] 自分で課題を見つけ、自分で解決していくような訓練を受ける
- [107] ディベート（討論）やプレゼンテーションの訓練を受ける
- [108] 実践的で専門性のある資格を取得するためのプログラムを受ける
- [109] レポートや論文指導により、文書作成能力を高める
- [110] 卒業後の進路について、教職員に対して個別に相談する
- [111] 卒業後の進路について、本学の卒業生や先輩と話をする
- [112] 本学の教職員以外の人と話をする



以上

福岡医療短期大学 学生 IR 調査 2020 年 結果

[歯科衛生学科 3 年次生 76/77 名]

2020 年 11 月 16 日実施

学生の皆さんへ

本調査は、学生の皆さんに日頃の大学生生活を思い出して自己申告してもらい、教育の成果を調査(測定)することを目的として実施します。

在学中の皆さんから大学生活や教学などに関する情報を収集・分析することは、IR(インスティテューショナル・リサーチ, institutional research)と呼ばれ、学生の視点を重視することで、確実に教育成果を身につけてもらうための大切な活動の一つです。

調査結果から得られた教育内容の特徴を分析することで、教育の質を客観的に保証するとともに、さらなる教育改善の方策を見出します。

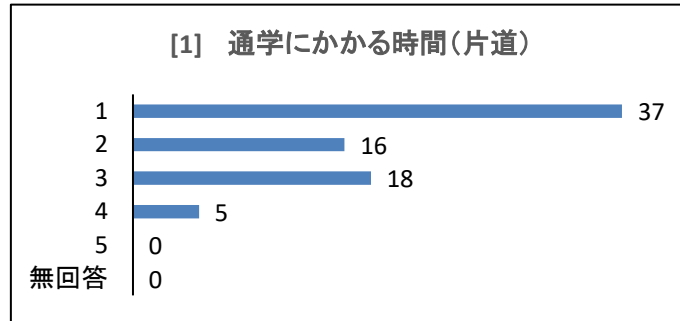
回答してもらった内容は、すべて統計的に処理しますので、皆さんの回答が他の人に知られることはありません。回答は、特にことわりや指示のない限り、もっともよくあてはまるものを1つだけ選んでください。また、回答できない箇所は空白にしてください。

※本調査の「全般的な学習状況」、「授業時間外の学習状況」、「教育の質保証」の3つの教育観点に関する設問については、先進的な取組である『大学 IR コンソーシアム』の学生調査の取組を参考にして検討し、選定しています。

1. 現在の学生生活について

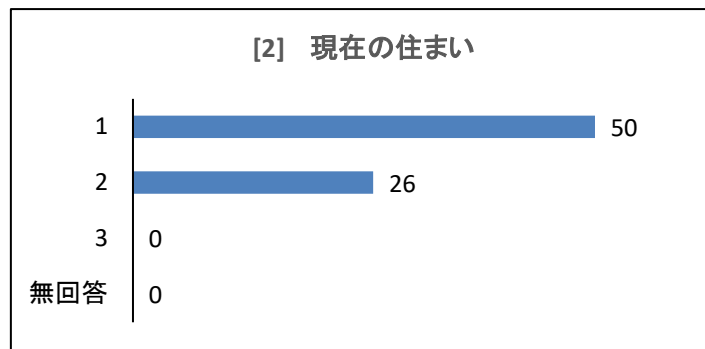
[1] 通学にかかる時間（片道）

1	30分未満	2	30分以上～ 1時間未満	3	1時間以上～ 1時間30分未満	4	1時間30分以上～ 2時間未満	5	2時間以上
---	-------	---	-----------------	---	--------------------	---	--------------------	---	-------



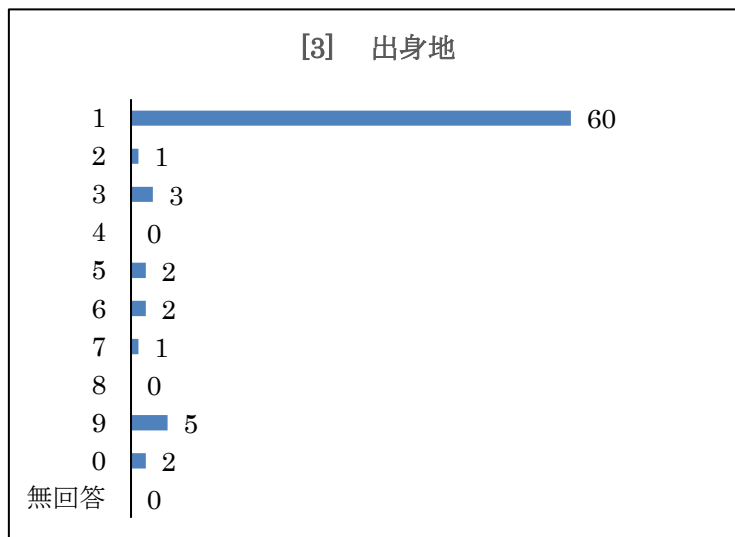
[2] 現在の住まい

1	家族 または 親戚と暮らしている	2	アパート・学生マンションでひとり暮らし	3	大学寮や合宿所
---	------------------	---	---------------------	---	---------



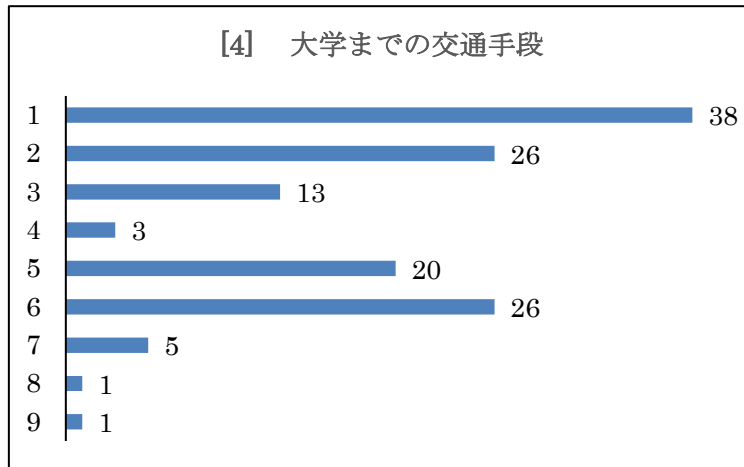
[3] 出身地

1	福岡県	2	佐賀県	3	長崎県	4	熊本県	5	宮崎県
6	鹿児島県	7	大分県	8	沖縄県	9	山口県	0	その他



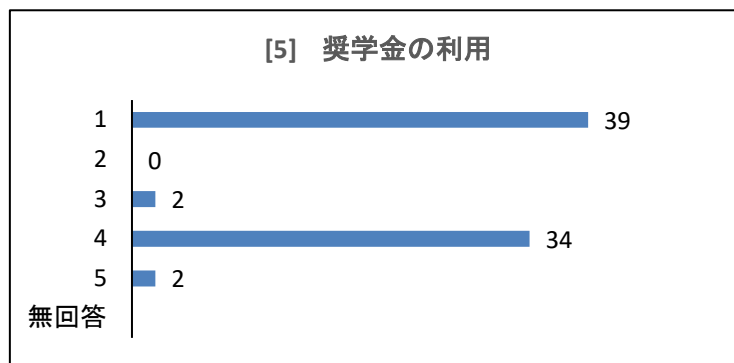
[4] 大学までの交通手段（当てはまるものすべてに○をつける）

1	徒歩	2	自転車	3	自動車	4	バイク	5	鉄道（JR・西鉄）
6	地下鉄	7	バス	8	送迎	9	その他		



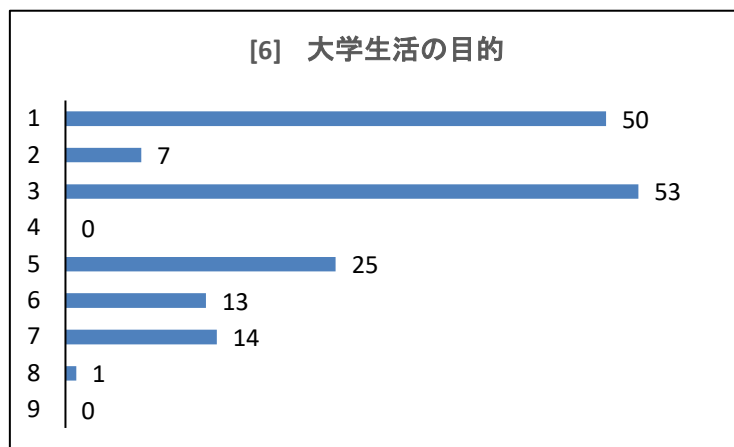
[5] 奨学金の利用

1	日本学生支援機構の奨学金	2	日本介護福祉士修学資金	3	以前受けていたが今は受けていない	4	受けていない	5	その他
---	--------------	---	-------------	---	------------------	---	--------	---	-----



[6] 大学生生活の目的（当てはまるすべてのものに○をつける）

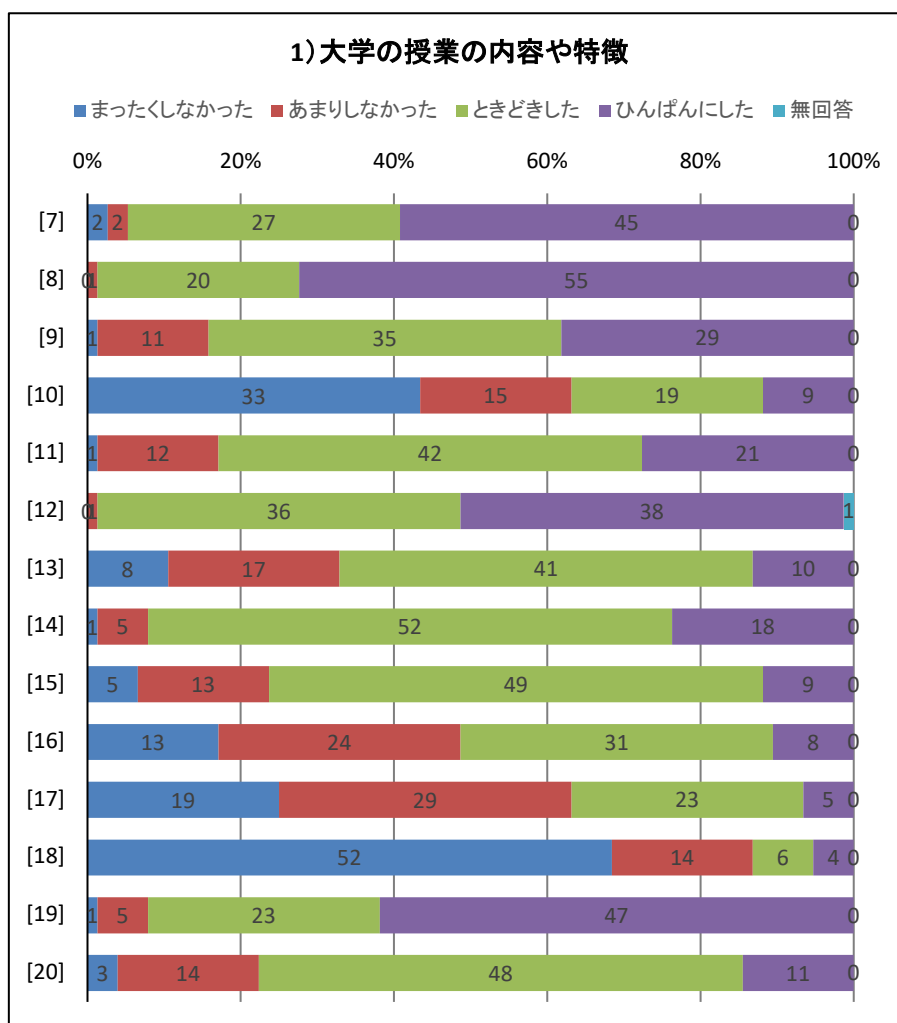
1	専門的な研究や知識を身につける	2	豊かな教養を身につける	3	学歴や資格を得る	4	クラブやサークルを楽しむ	5	希望する職業に就く
6	学生生活を楽しむ	7	友達とのかかわりを楽しむ	8	特に目的はない	9	その他		



Ⅱ. 大学の学習状況について

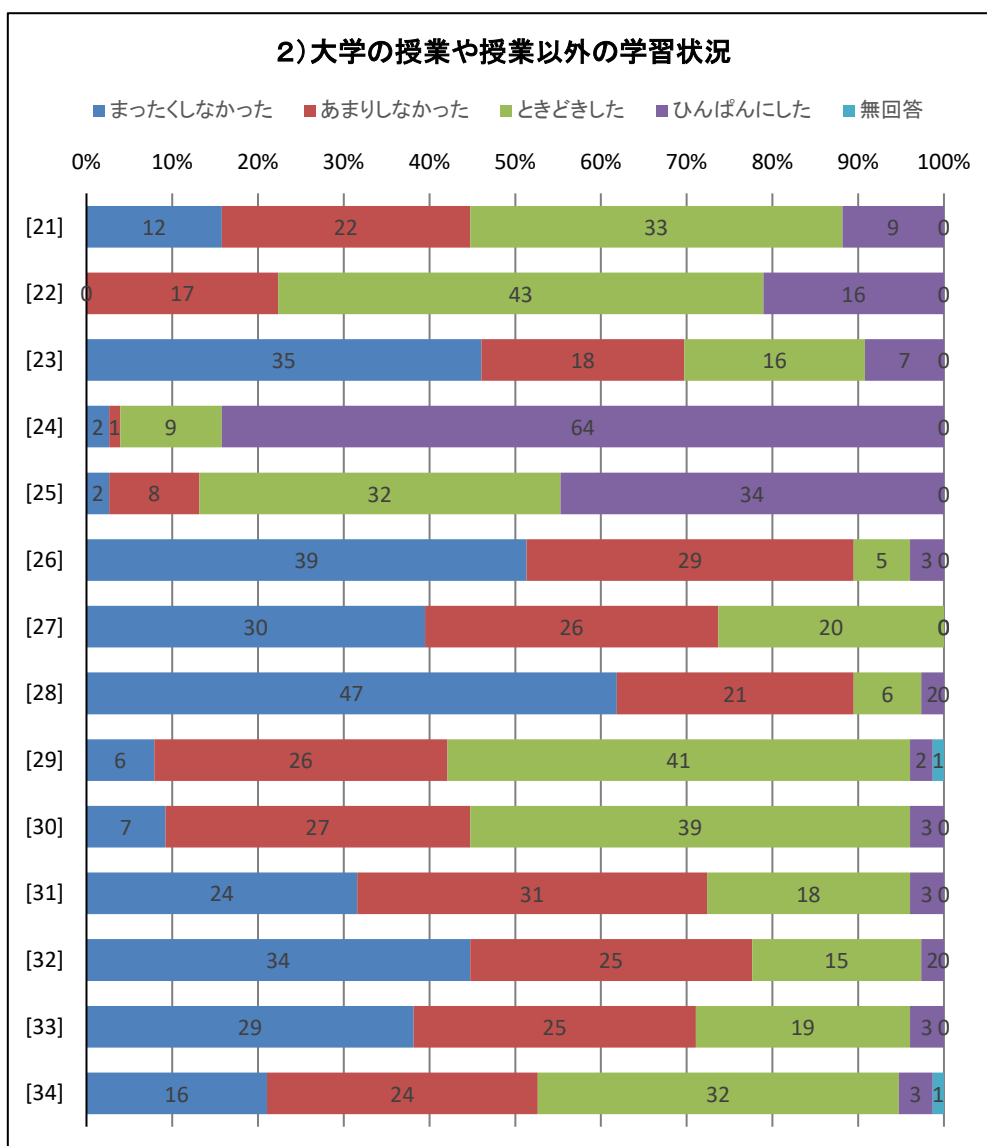
1) 大学の授業の内容や特徴

- [7] 所属学科の学内実習、学外実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ
- [8] 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ
- [9] 授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する
- [10] 授業の一環でボランティア活動をする
- [11] 学生自身が文献や資料を調べる
- [12] 定期的に小テストやレポートが課される
- [13] 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する
- [14] 学生が自分の考えや研究を発表する
- [15] 授業中に学生同士が論議をする
- [16] 授業で検討するテーマを学生が設定する
- [17] 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる
- [18] 取りたい授業を履修登録できなかった
- [19] 出席することが重視される
- [20] TA・SA（上級生や専攻科生）から補助・指導を受ける



2) 大学の授業や授業以外の学習状況

- [21] 授業課題のために図書館の資料を利用した
- [22] 授業課題のために Web 上の情報を利用した
- [23] インターネットやイントラネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした
- [24] 提出期限までに授業課題を完成した
- [25] 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした
- [26] 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた
- [27] 授業を欠席した
- [28] 授業に遅刻した
- [29] 授業をつまらなく感じた
- [30] 授業中に居眠りをした
- [31] 教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした（オフィスアワーも含める）
- [32] 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した
- [33] 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした（卒業後の進路や職業選択など）
- [34] 教員に親近感を感じた

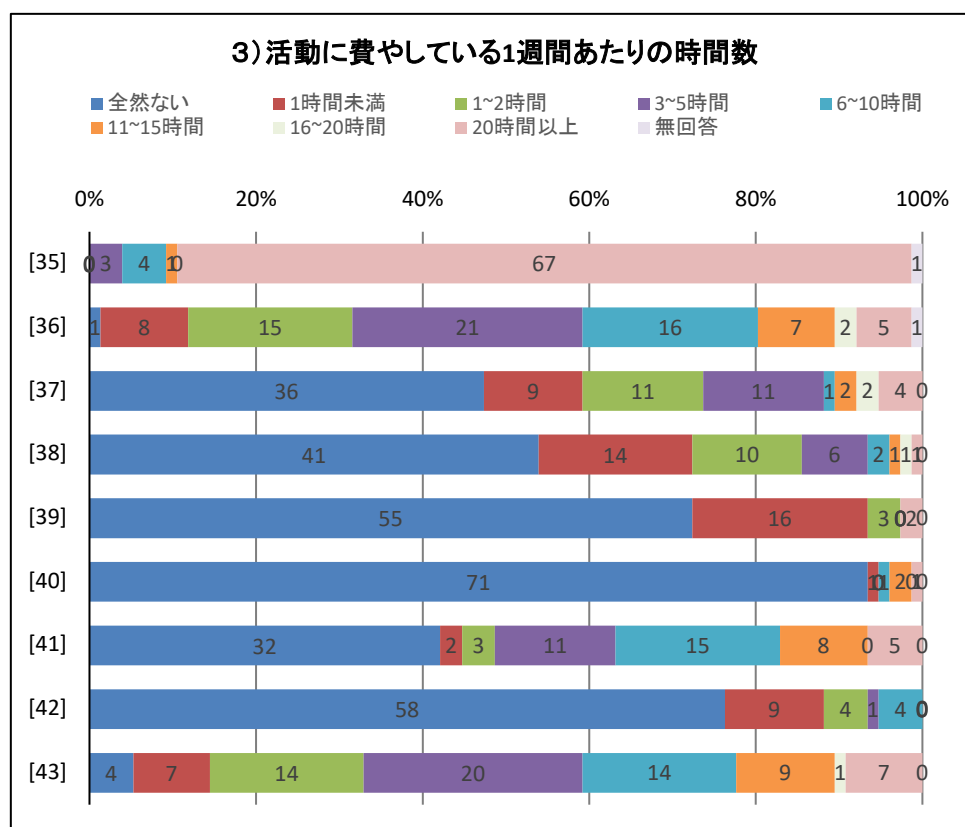


3) 活動に費やしている1週間あたりの時間数

※時間の目安・・・1日30分×7日=3.5時間 1日60分×7日=7時間

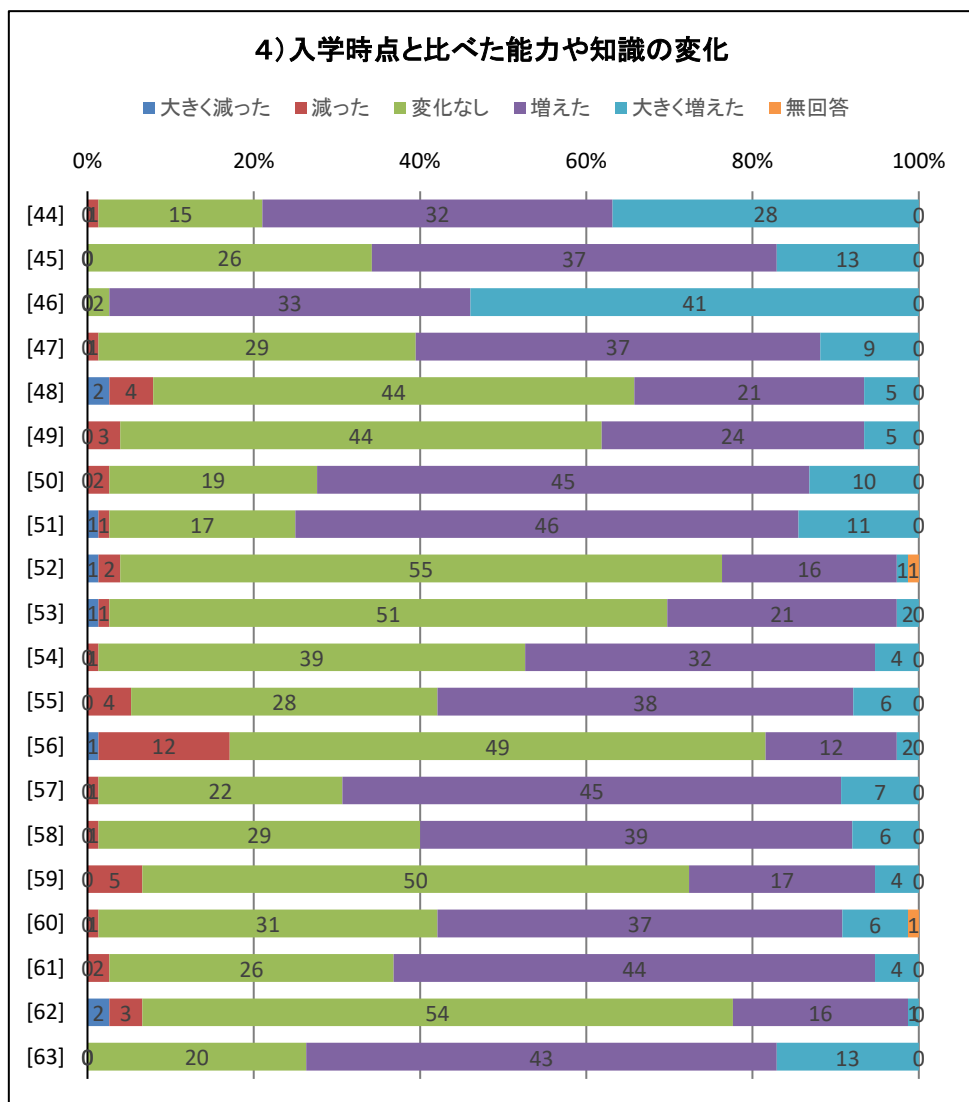
1日1.5時間×7日=10.5時間 1日2時間×7日=14時間

- [35] 講義や実習に出席する [参考] 90分×4コマ×5日間=30時間
- [36] 授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする [参考] 1日2時間×7日=14時間
- [37] アクティブ・ラーニング科目（学内の演習や学外での実習など）に関する授業外学修時間
- [38] 授業時間以外に、授業に関連しない勉強をする
- [39] オフィスアワーなど、授業時間以外に教員と面談する
- [40] 部活動や同好会に参加する
- [41] 大学外でアルバイトや仕事をする
- [42] 読書をする（マンガ・雑誌を除く）
- [43] 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



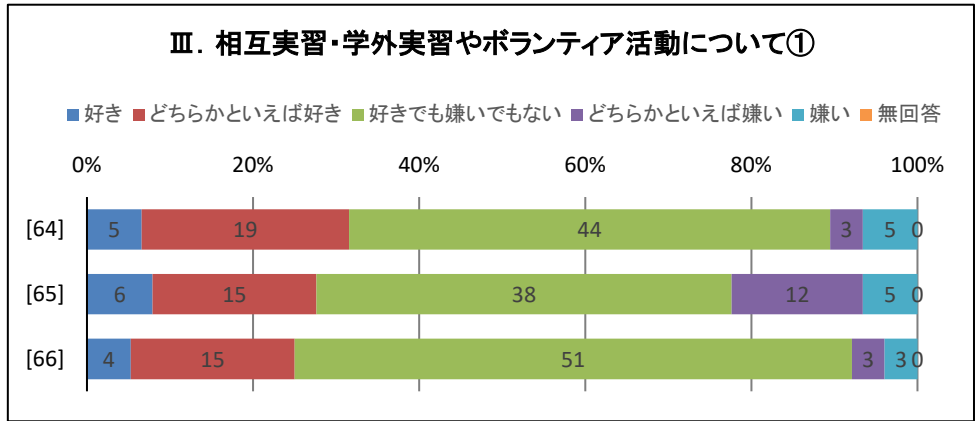
4) 入学時点と比べた能力や知識の変化

[44] 一般的な教養	[54] 国民が直面する問題を理解する能力
[45] 分析力や問題解決能力	[55] 文章表現の能力
[46] 専門分野や学科の知識	[56] 外国語の運用能力
[47] 批判的に考える能力	[57] コミュニケーションの能力
[48] 異文化の人々に関する知識	[58] プレゼンテーションの能力
[49] リーダーシップの能力	[59] 数理的な能力
[50] 人間関係を構築する能力	[60] コンピュータの操作能力
[51] 他の人と協力して物事を遂行する能力	[61] 時間を効果的に利用する能力
[52] 異文化の人々と協力する能力	[62] グローバル（世界的）な問題の理解
[53] 地域社会が直面する問題を理解する能力	[63] 就職に向けての知識・技術力

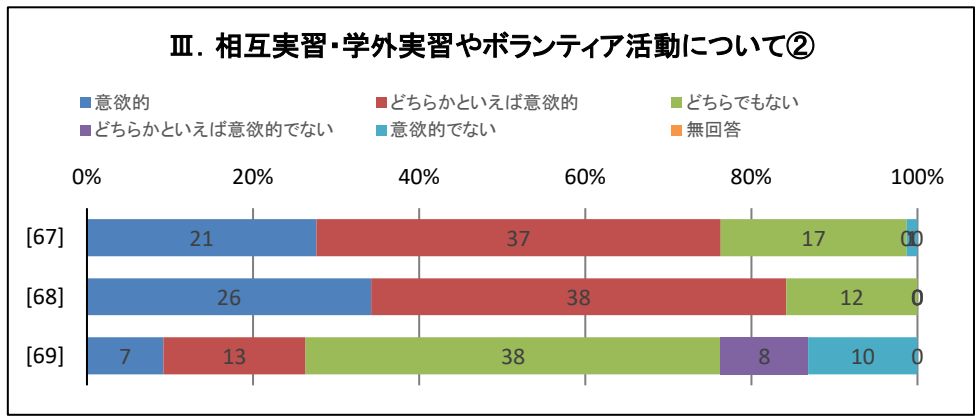


Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

- [64] 学内の実習が好きか
- [65] 学外（臨床・臨地実習・介護実習等）での実習が好きか
- [66] ボランティア活動が好きか



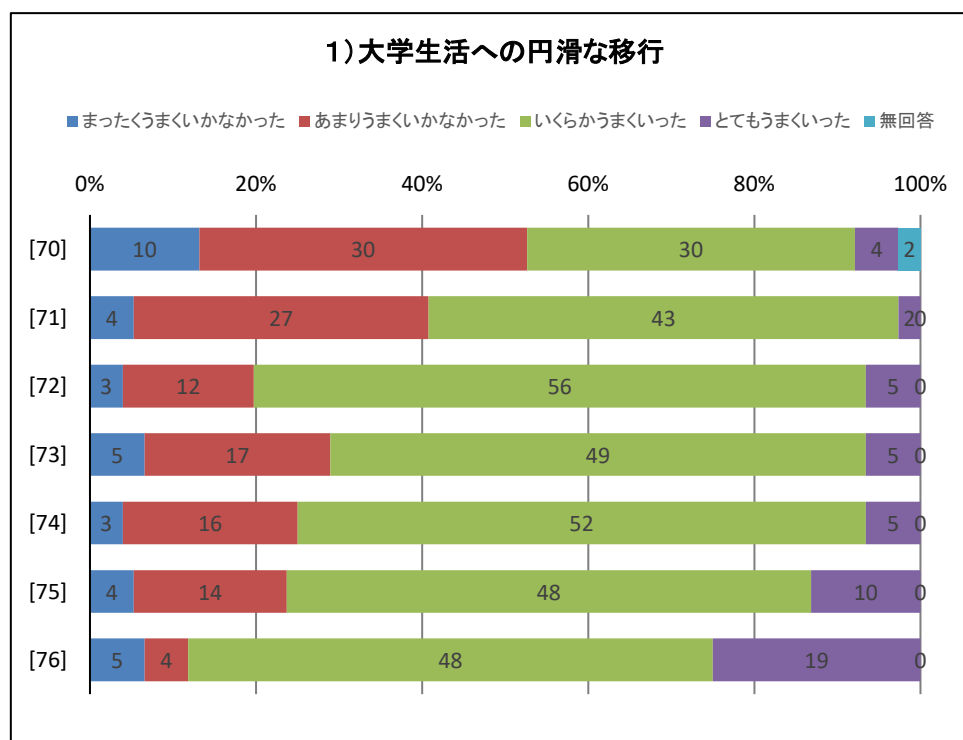
- [67] 学内での実習に意欲的に取り組んでいるか
- [68] 学外での実習（臨床・臨地実習・介護実習等）に意欲的に取り組んでいるか
- [69] ボランティア活動に意欲的に取り組んでいるか



V. 大学生活に対する考えや満足度について

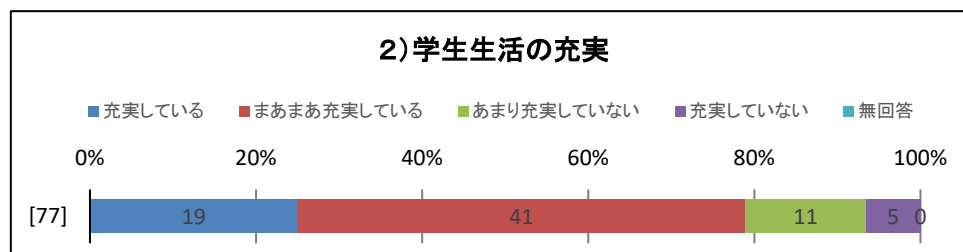
1) 大学生活への円滑な移行

- [70] 大学の学生向けサービスを上手に利用する
- [71] 大学教員の学問的な期待を理解する
- [72] 効果的に学習する技能を修得する
- [73] 大学が求める水準に応じて学習する
- [74] 時間を効果的に使う
- [75] 大学教員と顔見知りになる
- [76] 他の学生との友情を深める



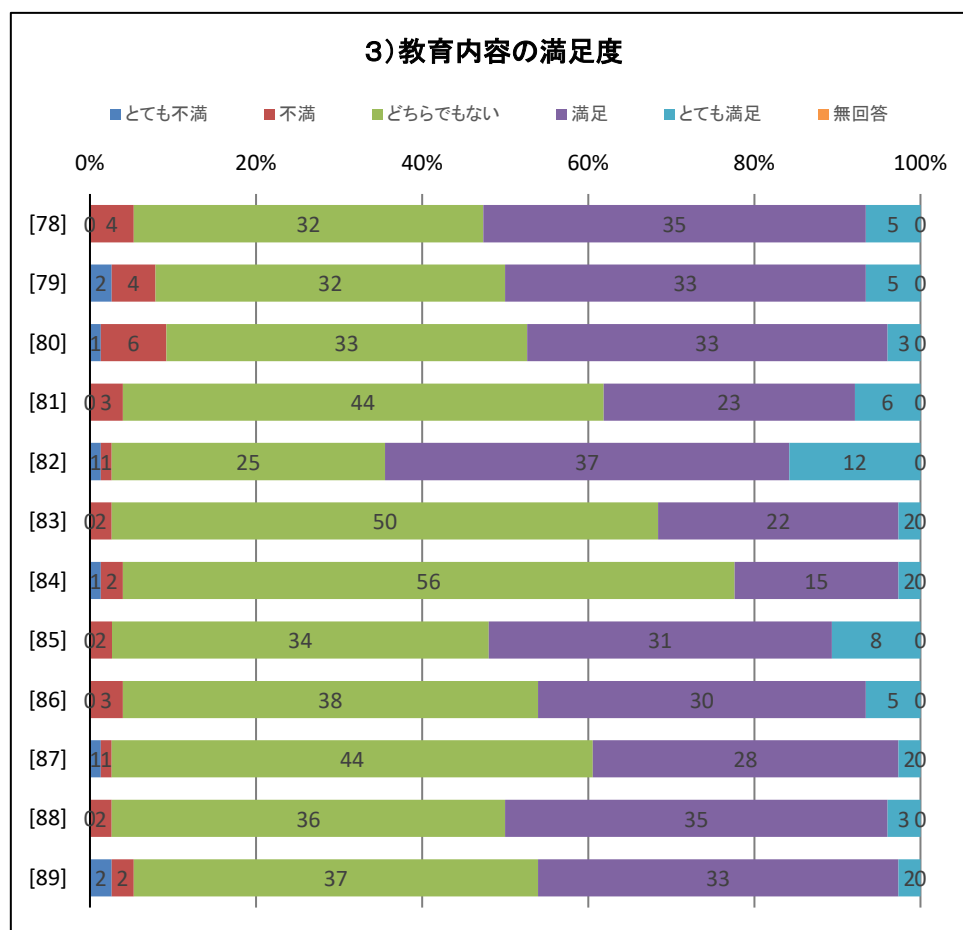
2) 学生生活の充実

- [77] 学生生活の充実している



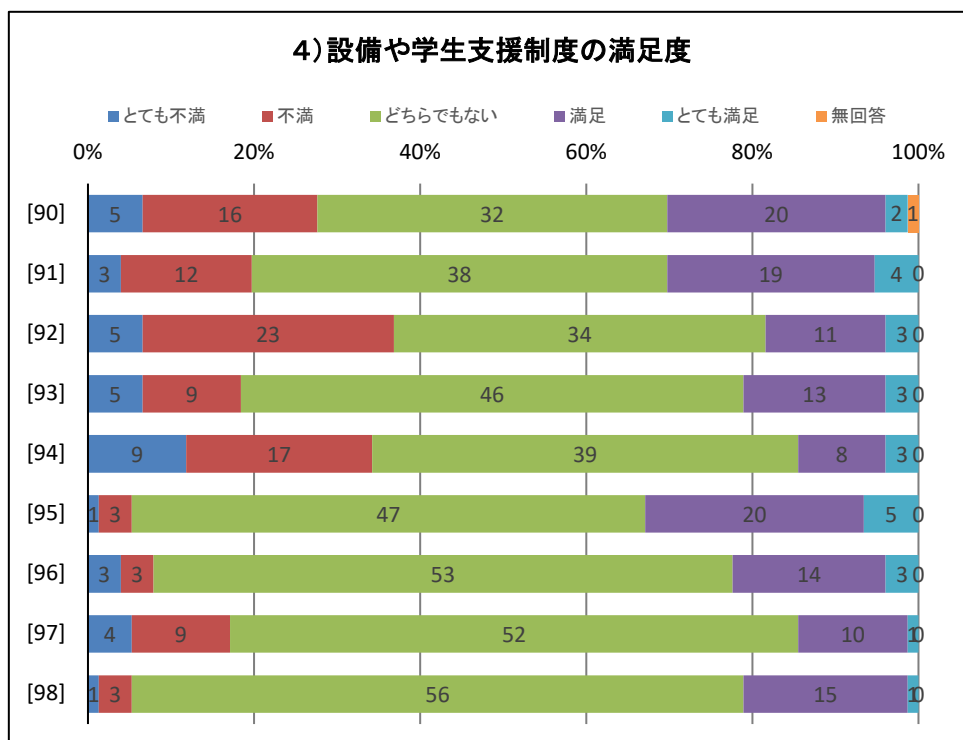
3) 教育内容の満足度

- [78] 専門教育あるいは所属学科の授業
- [79] 所属学科の学内実習や学外実習（臨床・臨地実習・介護実習等）
- [80] 授業の全体的な質
- [81] 日常生活と授業内容との関連
- [82] 将来の仕事と授業内容との結びつき
- [83] 教員と話をする機会
- [84] 個別の学習指導や学習支援（履修相談など）
- [85] 他の学生と話をする機会
- [86] 大学のなかでの学生同士の一体感
- [87] 多様な考え方を認め合う雰囲気
- [88] 大学での経験全般について
- [89] 1つの授業を履修する学生数



4) 設備や学生支援制度の満足度

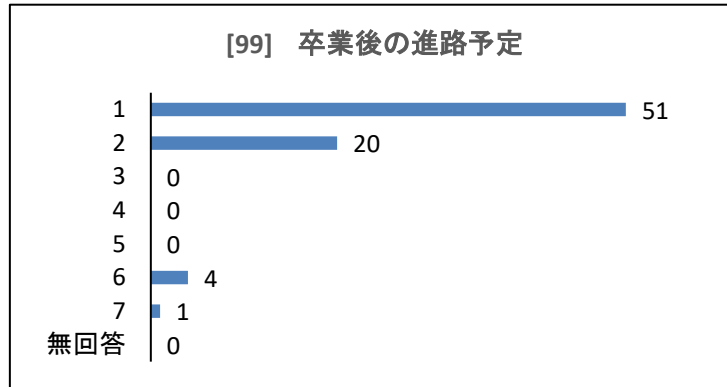
- [90] 図書館の設備（蔵書やレファレンスサービス：図書館員による情報提供・資料検索他）
- [91] 実習室の設備や器具
- [92] コンピュータの施設や設備
- [93] コンピュータの訓練や援助
- [94] インターネットの使いやすさ
- [95] 奨学金など学費援助の制度
- [96] 健康・保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談：歯科を含む）
- [97] レクリエーション施設（体育館の設備など）
- [98] キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)



VI. 卒業後の進路について

[99] 卒業後の進路予定

1	就職する	2	専攻科に進学する	3	留学する	4	他大学に(編)入学する	5	専門学校に進学する
6	まだわからない	7	その他						



[100] 将来の見通しと現在の状態

以下の2つの文章を読んで、あなたのいまの状態にもっとも近い番号を選んでください。

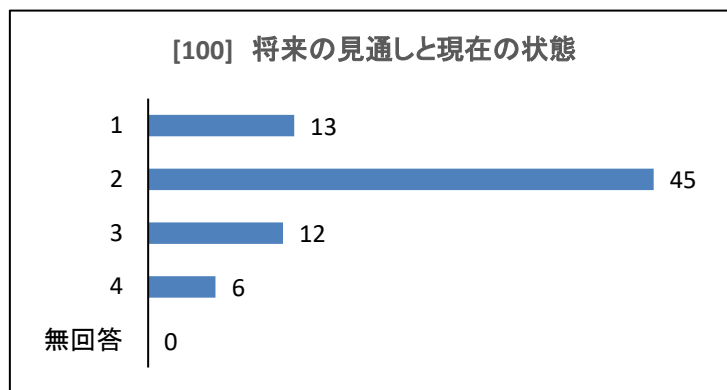
①あなたは、将来の見通し（将来こういう風でありたい）を持っていますか。

②その見通しのなかでもっとも重要なものを1つ思い浮かべてください。

あなたは、その見通しの実現に向かって、自分が何をすべきなのかわかっていますか。

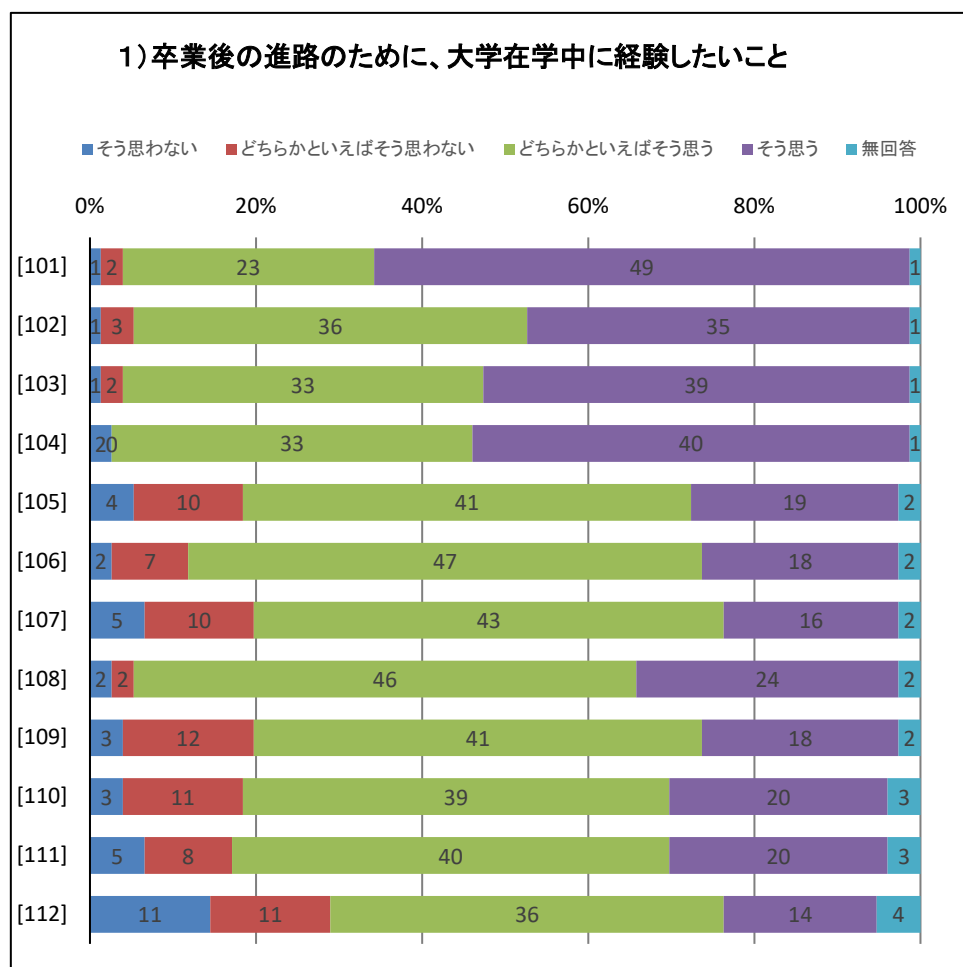
また、それを実行していますか。

1	①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわかっているし、実行もしている
2	①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわかっているが、実行は出来ていない
3	①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわからない
4	①将来の見通しを持っていない



1) 卒業後の進路のために、大学在学中に経験したいこと

- [101] 専門分野の知識・技術をしっかり身につけ、国家試験に合格出来る教育を受ける
- [102] 専門分野だけでなく、幅広い知識を身につけ視野を広げる
- [103] 職業意識の形成につながる教育を受ける
- [104] 学外実習施設での体験実習等を踏まえた上で、専門知識を学ぶ
- [105] 教員が設定した特定の課題に対して、チームで取り組むプロジェクト型の授業を受ける
- [106] 自分で課題を見つけ、自分で解決していくような訓練を受ける
- [107] ディベート（討論）やプレゼンテーションの訓練を受ける
- [108] 実践的で専門性のある資格を取得するためのプログラムを受ける
- [109] レポートや論文指導により、文書作成能力を高める
- [110] 卒業後の進路について、教職員に対して個別に相談する
- [111] 卒業後の進路について、本学の卒業生や先輩と話をする
- [112] 本学の教職員以外の人と話をする



以上

福岡医療短期大学 学生 IR 調査 2020 年 結果

[歯科衛生学科 専攻科 23/23 名]

2020 年 11 月 6 日実施

学生の皆さんへ

本調査は、学生の皆さんに日頃の大学生生活を思い出して自己申告してもらい、教育の成果を調査(測定)することを目的として実施します。

在学中の皆さんから大学生活や教学などに関する情報を収集・分析することは、IR(インスティテューショナル・リサーチ, institutional research)と呼ばれ、学生の視点を重視することで、確実に教育成果を身につけてもらうための大切な活動の一つです。

調査結果から得られた教育内容の特徴を分析することで、教育の質を客観的に保証するとともに、さらなる教育改善の方策を見出します。

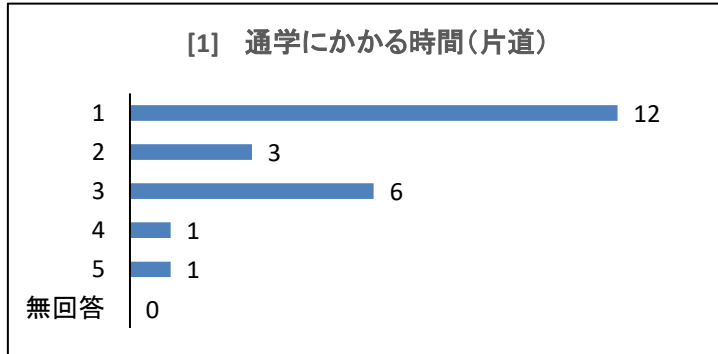
回答してもらった内容は、すべて統計的に処理しますので、皆さんの回答が他の人に知られることはありません。回答は、特にことわりや指示のない限り、もっともよくあてはまるものを1つだけ選んでください。また、回答できない箇所は空白にしてください。

※本調査の「全般的な学習状況」、「授業時間外の学習状況」、「教育の質保証」の3つの教育観点に関する設問については、先進的な取組である『大学 IR コンソーシアム』の学生調査の取組を参考にして検討し、選定しています。

1. 現在の学生生活について

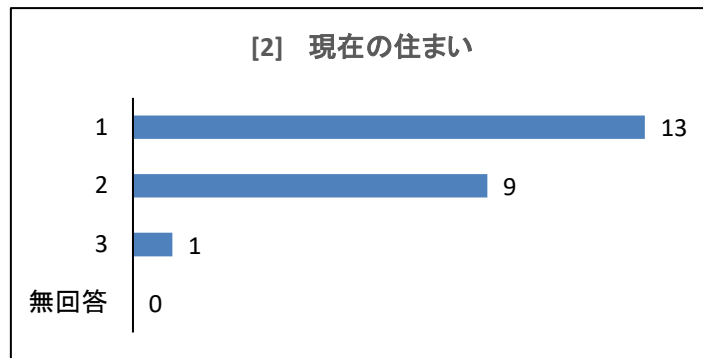
[1] 通学にかかる時間（片道）

1	30分未満	2	30分以上～ 1時間未満	3	1時間以上～ 1時間30分未満	4	1時間30分以上～ 2時間未満	5	2時間以上
---	-------	---	-----------------	---	--------------------	---	--------------------	---	-------



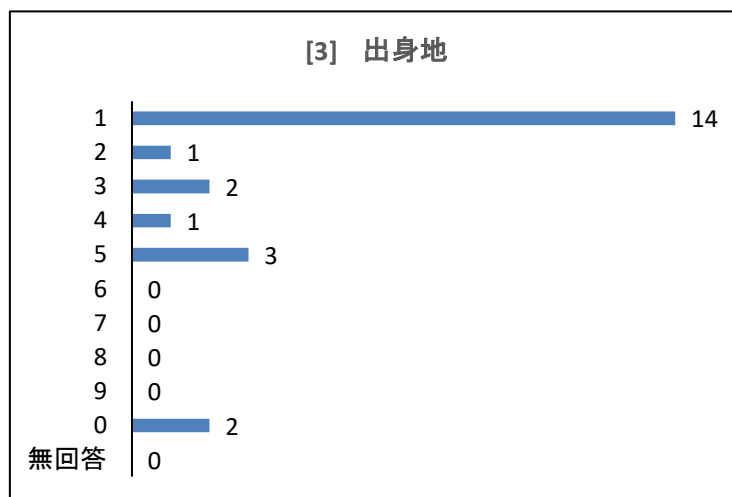
[2] 現在の住まい

1	家族 または 親戚と暮らしている	2	アパート・学生マンションでひとり暮らし	3	大学寮や合宿所
---	------------------	---	---------------------	---	---------



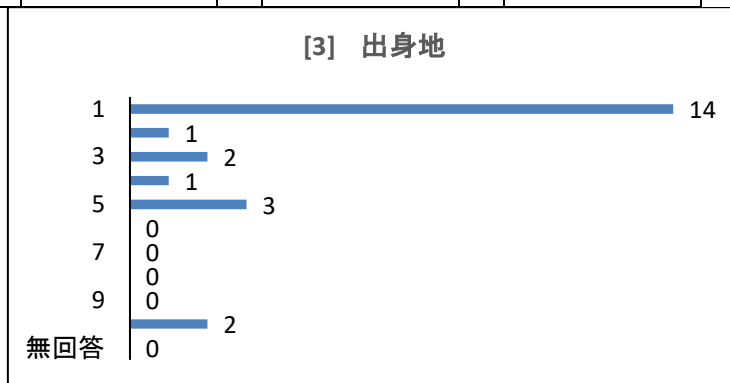
[3] 出身地

1	福岡県	2	佐賀県	3	長崎県	4	熊本県	5	宮崎県
6	鹿児島県	7	大分県	8	沖縄県	9	山口県	0	その他



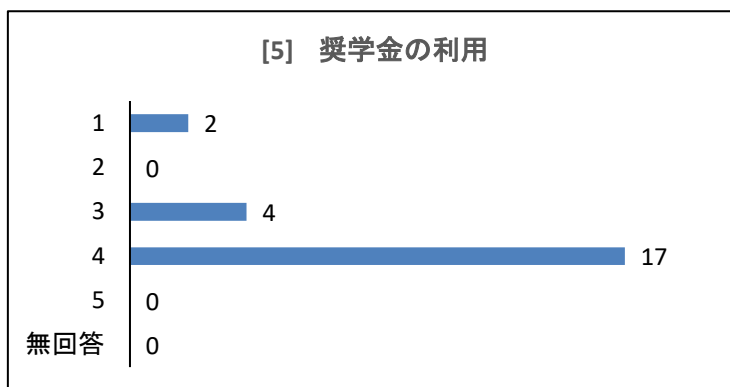
[4] 大学までの交通手段 (当てはまるものすべてに○をつける)

1	徒歩	2	自転車	3	自動車	4	バイク	5	鉄道 (JR・西鉄)
6	地下鉄	7	バス	8	送迎	9	その他		



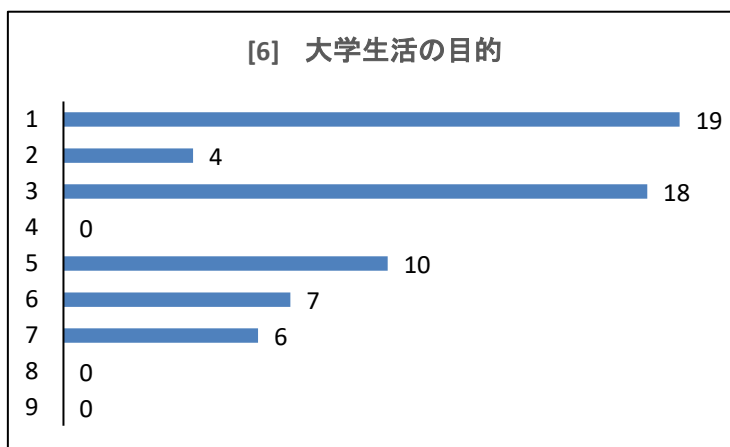
[5] 奨学金の利用

1	日本学生支援機構の奨学金	2	日本介護福祉士修学資金	3	以前受けていたが今は受けていない	4	受けていない	5	その他
---	--------------	---	-------------	---	------------------	---	--------	---	-----



[6] 大学生生活の目的 (当てはまるものすべてに○をつける)

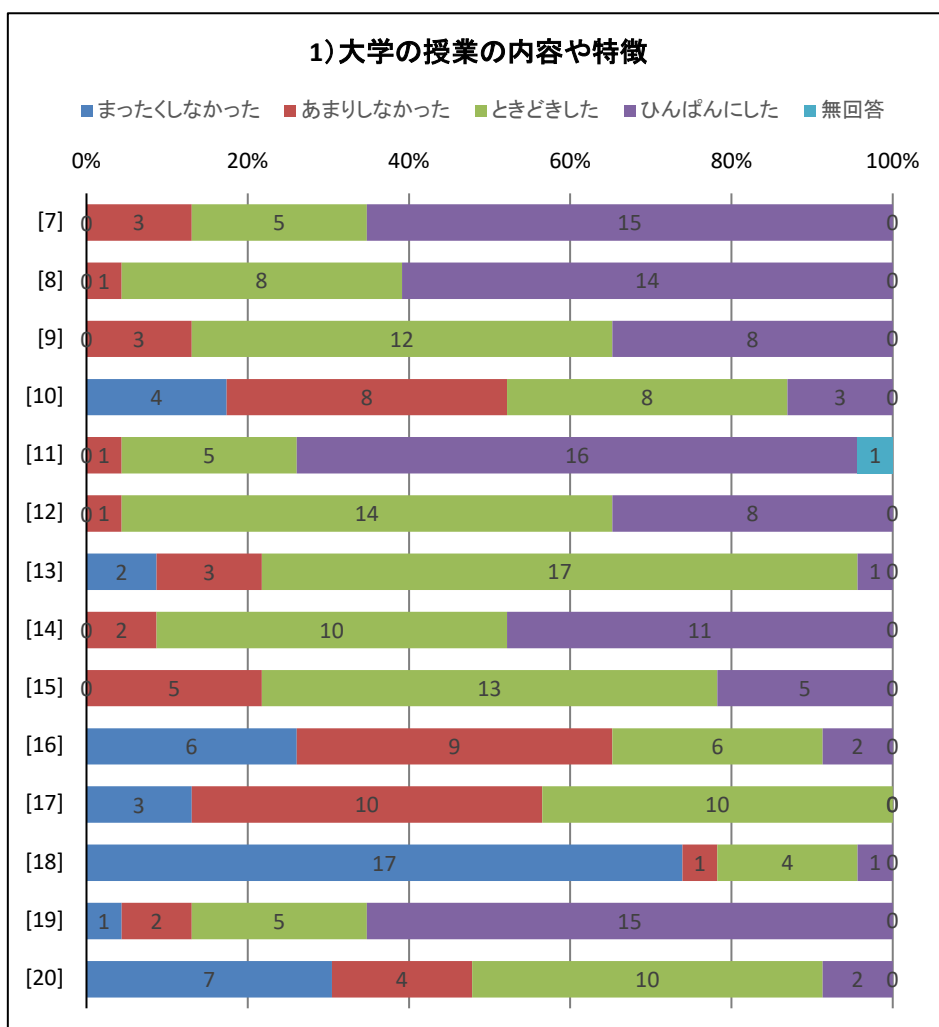
1	専門的な研究や知識を身につける	2	豊かな教養を身につける	3	学歴や資格を得る	4	クラブやサークルを楽しむ	5	希望する職業に就く
6	学生生活を楽しむ	7	友達とのかかわりを楽しむ	8	特に目的はない	9	その他		



Ⅱ. 大学の学習状況について

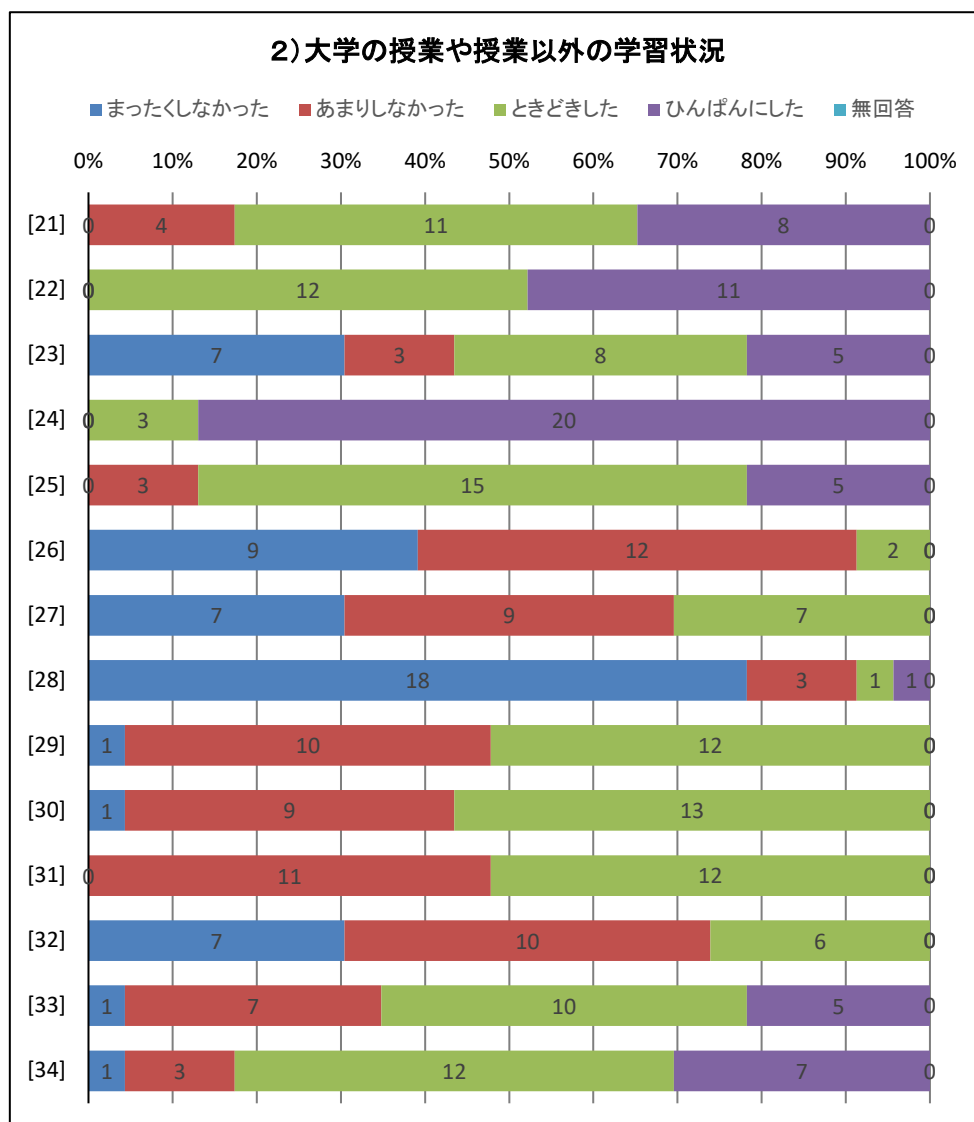
1) 大学の授業の内容や特徴

- [7] 所属学科の学内実習、学外実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ
- [8] 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ
- [9] 授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する
- [10] 授業の一環でボランティア活動をする
- [11] 学生自身が文献や資料を調べる
- [12] 定期的に小テストやレポートが課される
- [13] 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する
- [14] 学生が自分の考えや研究を発表する
- [15] 授業中に学生同士が論議をする
- [16] 授業で検討するテーマを学生が設定する
- [17] 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる
- [18] 取りたい授業を履修登録できなかった
- [19] 出席することが重視される
- [20] TA・SA（上級生や専攻科生）から補助・指導を受ける



2) 大学の授業や授業以外の学習状況

- [21] 授業課題のために図書館の資料を利用した
- [22] 授業課題のために Web 上の情報を利用した
- [23] インターネットやイントラネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした
- [24] 提出期限までに授業課題を完成した
- [25] 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした
- [26] 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた
- [27] 授業を欠席した
- [28] 授業に遅刻した
- [29] 授業をつまらなく感じた
- [30] 授業中に居眠りをした
- [31] 教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした（オフィスアワーも含める）
- [32] 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した
- [33] 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした（卒業後の進路や職業選択など）
- [34] 教員に親近感を感じた

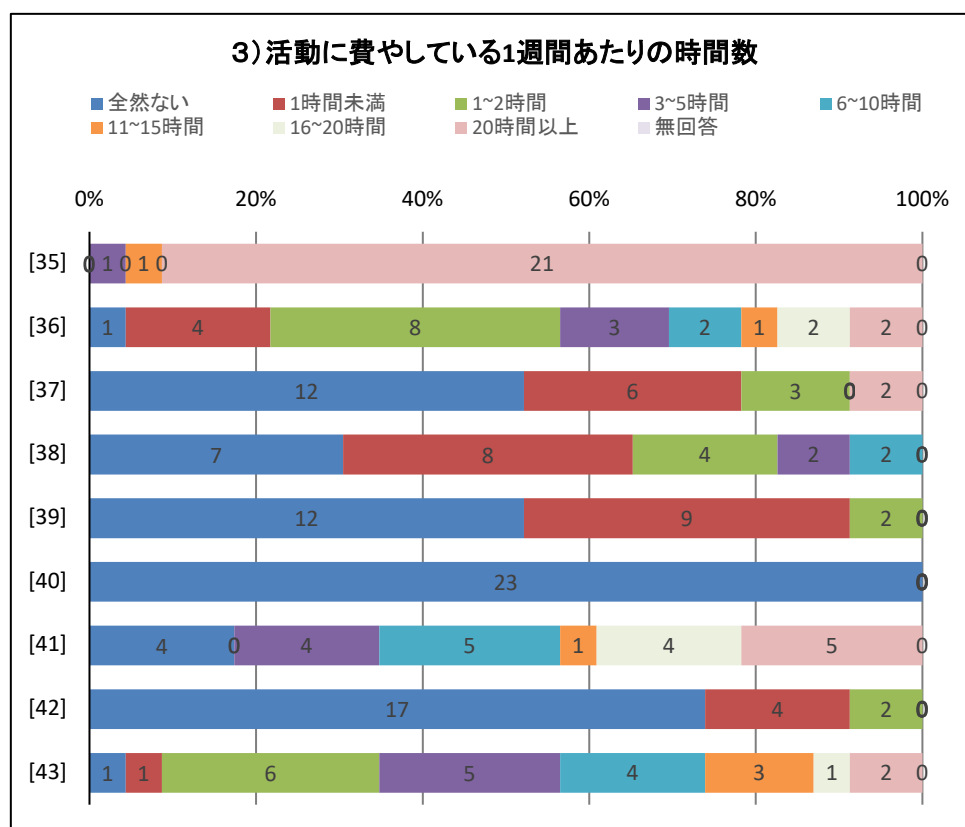


3) 活動に費やしている1週間あたりの時間数

※時間の目安・・・1日30分×7日=3.5時間 1日60分×7日=7時間

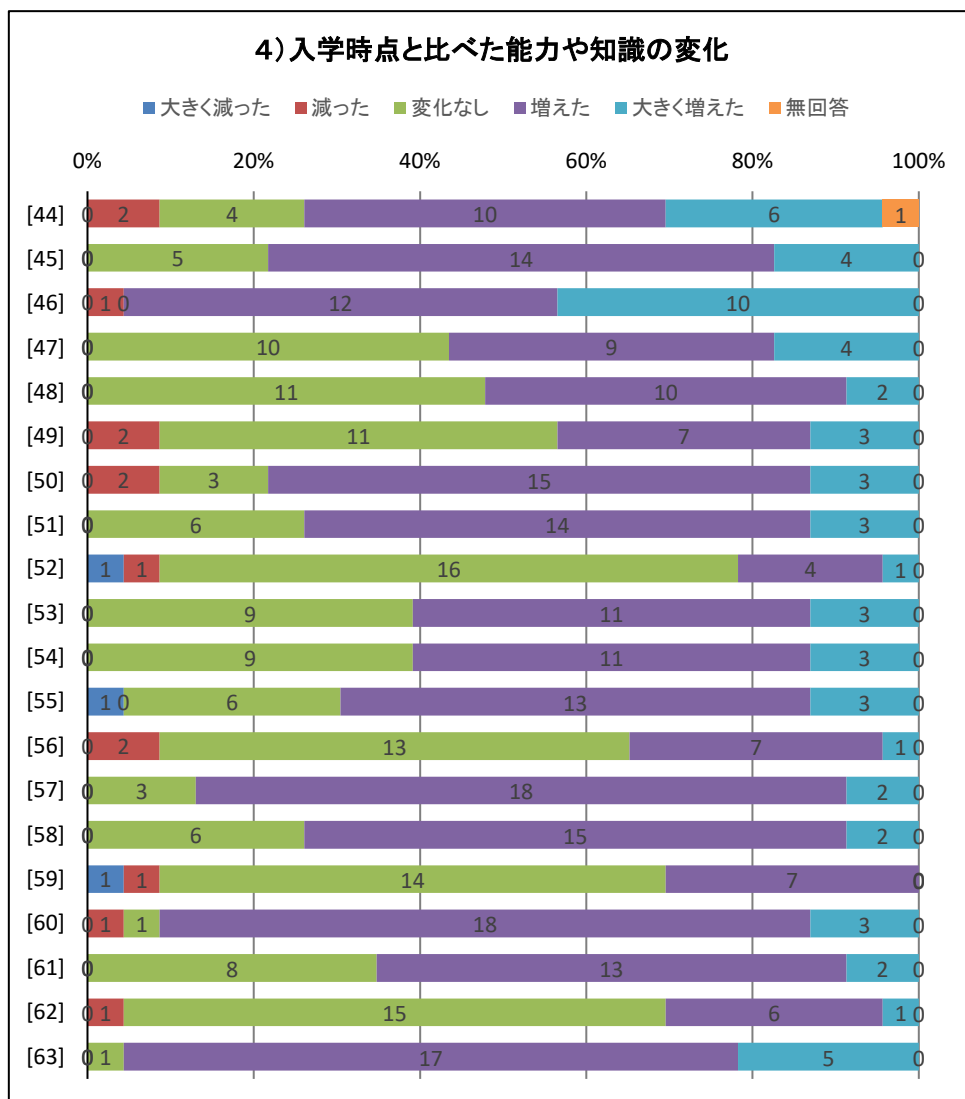
1日1.5時間×7日=10.5時間 1日2時間×7日=14時間

- [35] 講義や実習に出席する [参考] 90分×4コマ×5日間=30時間
- [36] 授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする [参考] 1日2時間×7日=14時間
- [37] アクティブ・ラーニング科目（学内の演習や学外での実習など）に関する授業外学修時間
- [38] 授業時間以外に、授業に関連しない勉強をする
- [39] オフィスアワーなど、授業時間以外に教員と面談する
- [40] 部活動や同好会に参加する
- [41] 大学外でアルバイトや仕事をする
- [42] 読書をする（マンガ・雑誌を除く）
- [43] 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



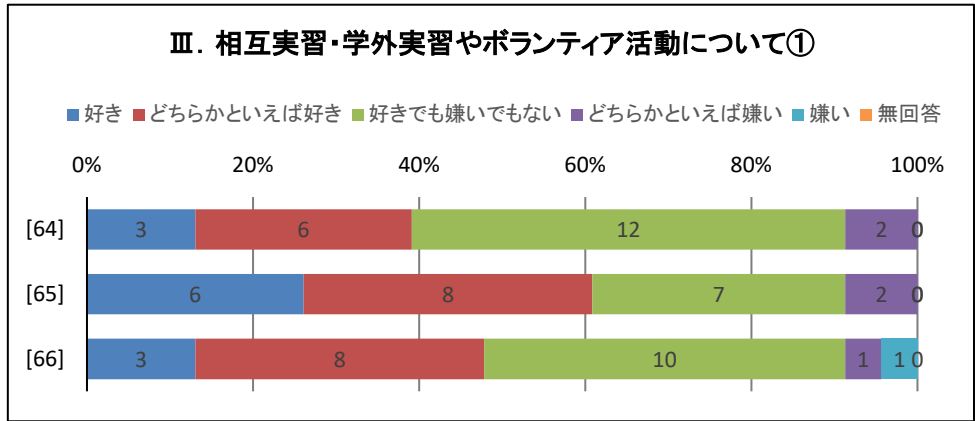
4) 入学時点と比べた能力や知識の変化

[44] 一般的な教養	[54] 国民が直面する問題を理解する能力
[45] 分析力や問題解決能力	[55] 文章表現の能力
[46] 専門分野や学科の知識	[56] 外国語の運用能力
[47] 批判的に考える能力	[57] コミュニケーションの能力
[48] 異文化の人々に関する知識	[58] プレゼンテーションの能力
[49] リーダーシップの能力	[59] 数理的な能力
[50] 人間関係を構築する能力	[60] コンピュータの操作能力
[51] 他の人と協力して物事を遂行する能力	[61] 時間を効果的に利用する能力
[52] 異文化の人々と協力する能力	[62] グローバル（世界的）な問題の理解
[53] 地域社会が直面する問題を理解する能力	[63] 就職に向けての知識・技術力

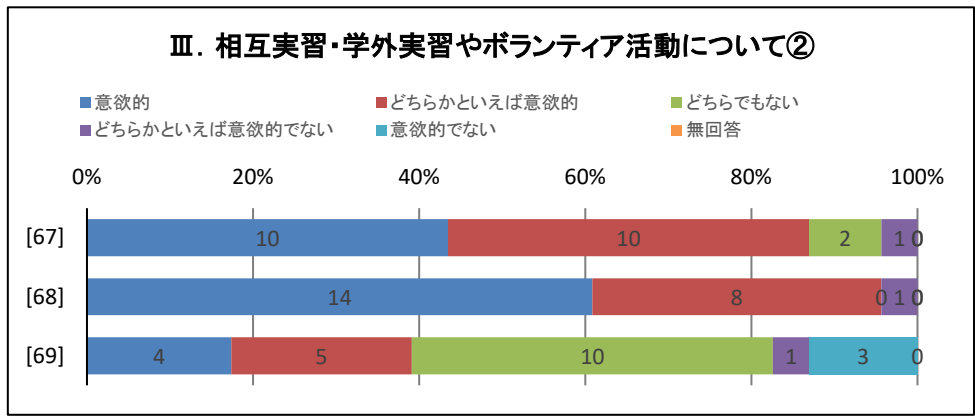


Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

- [64] 学内の実習が好きか
- [65] 学外（臨床・臨地実習・介護実習等）での実習が好きか
- [66] ボランティア活動が好きか



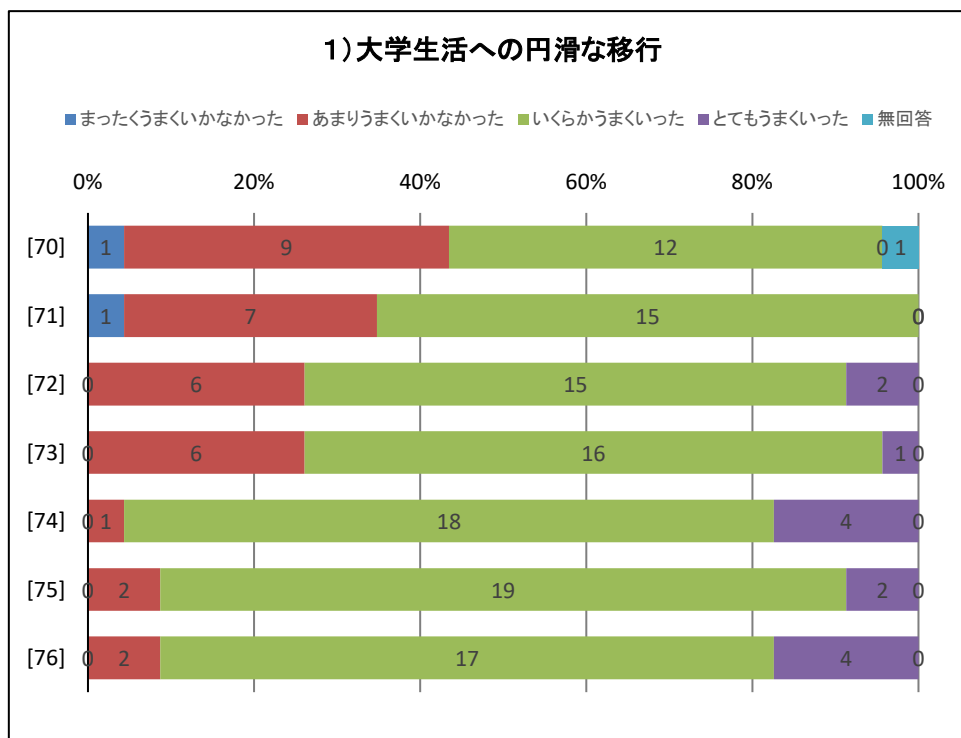
- [67] 学内での実習に意欲的に取り組んでいるか
- [68] 学外での実習（臨床・臨地実習・介護実習等）に意欲的に取り組んでいるか
- [69] ボランティア活動に意欲的に取り組んでいるか



V. 大学生活に対する考えや満足度について

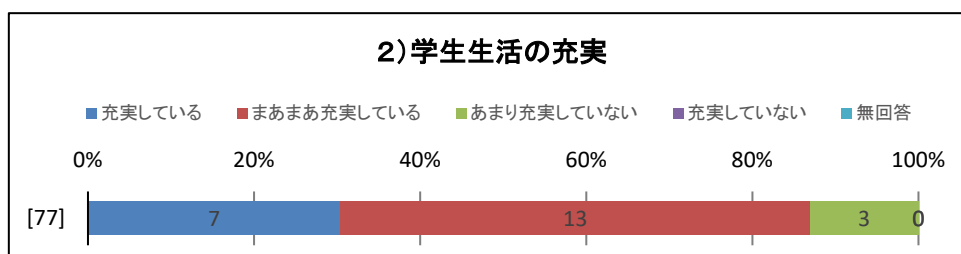
1) 大学生活への円滑な移行

- [70] 大学の学生向けサービスを上手に利用する
- [71] 大学教員の学問的な期待を理解する
- [72] 効果的に学習する技能を修得する
- [73] 大学が求める水準に応じて学習する
- [74] 時間を効果的に使う
- [75] 大学教員と顔見知りになる
- [76] 他の学生との友情を深める



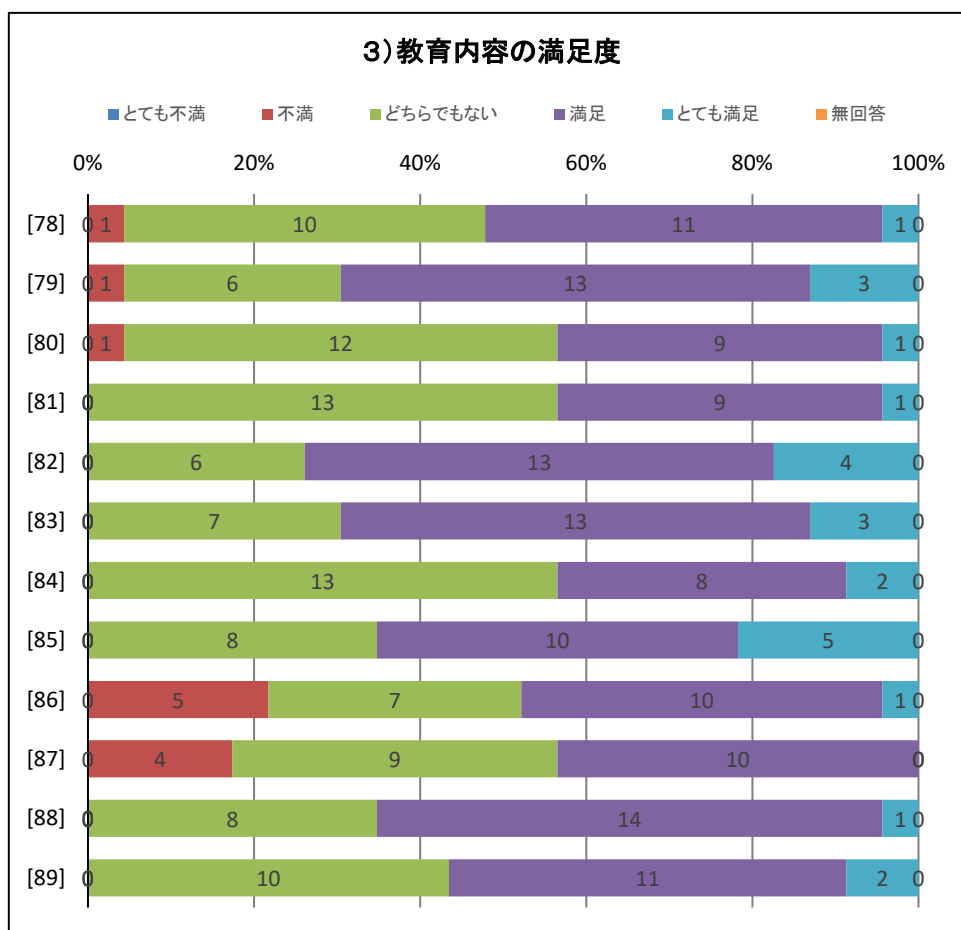
2) 学生生活の充実

- [77] 学生生活の充実している



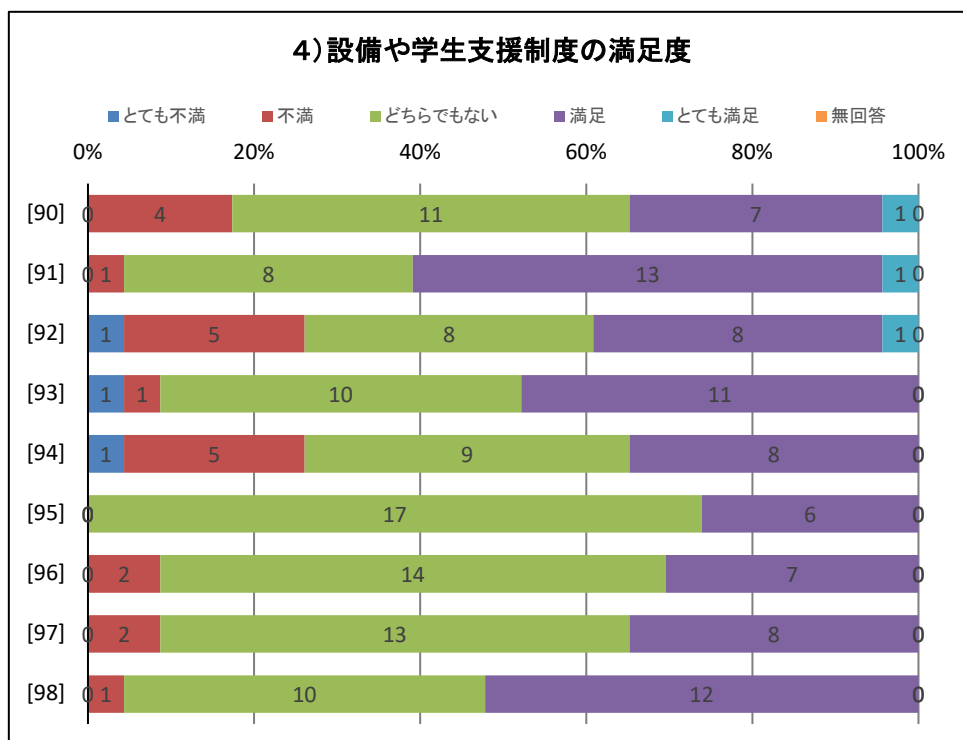
3) 教育内容の満足度

- [78] 専門教育あるいは所属学科の授業
- [79] 所属学科の学内実習や学外実習（臨床・臨地実習・介護実習等）
- [80] 授業の全体的な質
- [81] 日常生活と授業内容との関連
- [82] 将来の仕事と授業内容との結びつき
- [83] 教員と話をする機会
- [84] 個別の学習指導や学習支援（履修相談など）
- [85] 他の学生と話をする機会
- [86] 大学のなかでの学生同士の一体感
- [87] 多様な考え方を認め合う雰囲気
- [88] 大学での経験全般について
- [89] 1つの授業を履修する学生数



4) 設備や学生支援制度の満足度

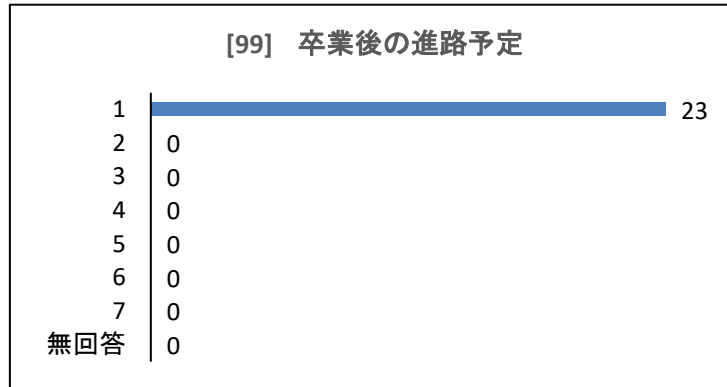
- [90] 図書館の設備（蔵書やレファレンスサービス：図書館員による情報提供・資料検索他）
- [91] 実習室の設備や器具
- [92] コンピュータの施設や設備
- [93] コンピュータの訓練や援助
- [94] インターネットの使いやすさ
- [95] 奨学金など学費援助の制度
- [96] 健康・保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談：歯科を含む）
- [97] レクリエーション施設（体育館の設備など）
- [98] キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)



VI. 卒業後の進路について

[99] 卒業後の進路予定

1	就職する	2	専攻科に進学する	3	留学する	4	他大学に(編)入学する	5	専門学校に進学する
6	まだわからない	7	その他						



[100] 将来の見通しと現在の状態

以下の2つの文章を読んで、あなたのいまの状態にもっとも近い番号を選んでください。

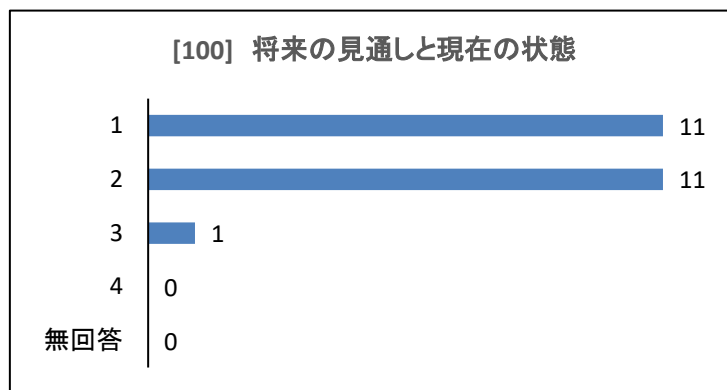
①あなたは、将来の見通し（将来こういう風でありたい）を持っていますか。

②その見通しのなかでもっとも重要なものを1つ思い浮かべてください。

あなたは、その見通しの実現に向かって、自分が何をすべきなのかわかっていますか。

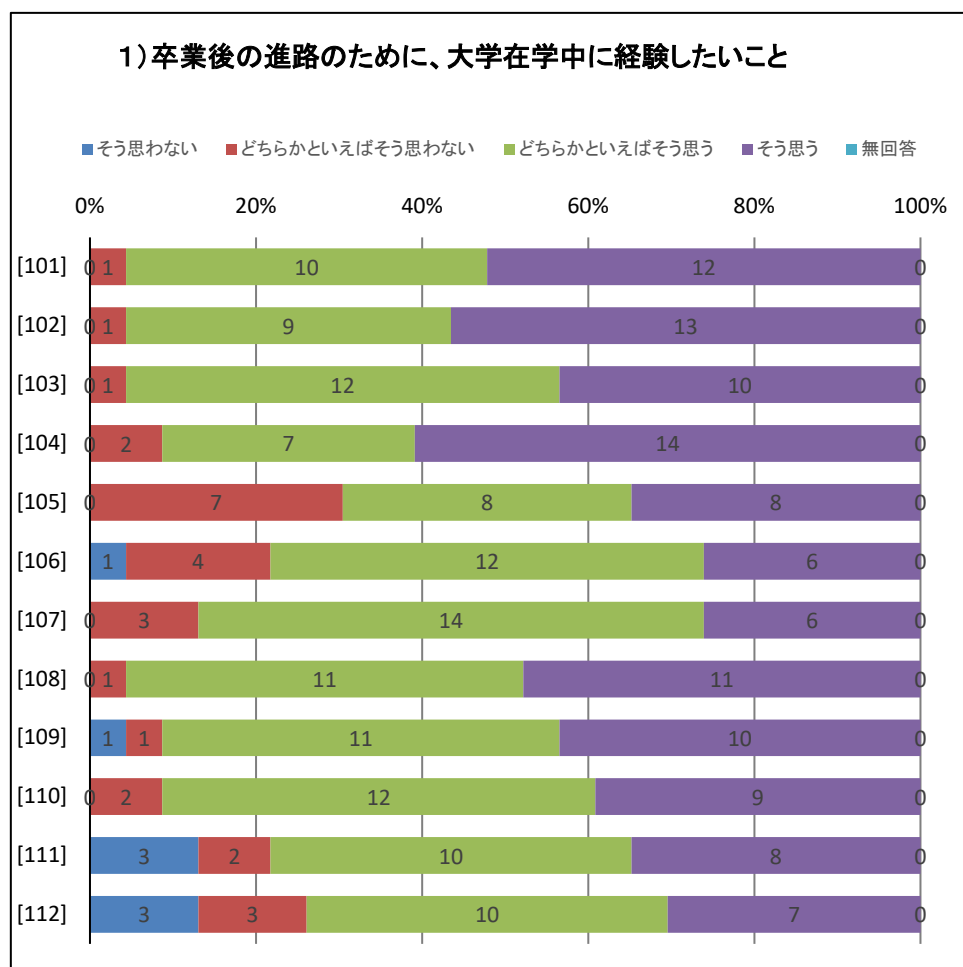
また、それを実行していますか。

1	①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわかっているし、実行もしている
2	①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわかっているが、実行は出来ていない
3	①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわからない
4	①将来の見通しを持っていない



1) 卒業後の進路のために、大学在学中に経験したいこと

- [101] 専門分野の知識・技術をしっかり身につけ、国家試験に合格出来る教育を受ける
- [102] 専門分野だけでなく、幅広い知識を身につけ視野を広げる
- [103] 職業意識の形成につながる教育を受ける
- [104] 学外実習施設での体験実習等を踏まえた上で、専門知識を学ぶ
- [105] 教員が設定した特定の課題に対して、チームで取り組むプロジェクト型の授業を受ける
- [106] 自分で課題を見つけ、自分で解決していくような訓練を受ける
- [107] ディベート（討論）やプレゼンテーションの訓練を受ける
- [108] 実践的で専門性のある資格を取得するためのプログラムを受ける
- [109] レポートや論文指導により、文書作成能力を高める
- [110] 卒業後の進路について、教職員に対して個別に相談する
- [111] 卒業後の進路について、本学の卒業生や先輩と話をする
- [112] 本学の教職員以外の人と話をする



以上

福岡医療短期大学 学生 IR 調査 2020 年 結果

[保健福祉学科 2 年次生 6/6 名]

2020 年 11 月 6 日実施

学生の皆さんへ

本調査は、学生の皆さんに日頃の大学生生活を思い出して自己申告してもらい、教育の成果を調査(測定)することを目的として実施します。

在学中の皆さんから大学生活や教学などに関する情報を収集・分析することは、IR(インスティテューショナル・リサーチ, institutional research)と呼ばれ、学生の視点を重視することで、確実に教育成果を身につけてもらうための大切な活動の一つです。

調査結果から得られた教育内容の特徴を分析することで、教育の質を客観的に保証するとともに、さらなる教育改善の方策を見出します。

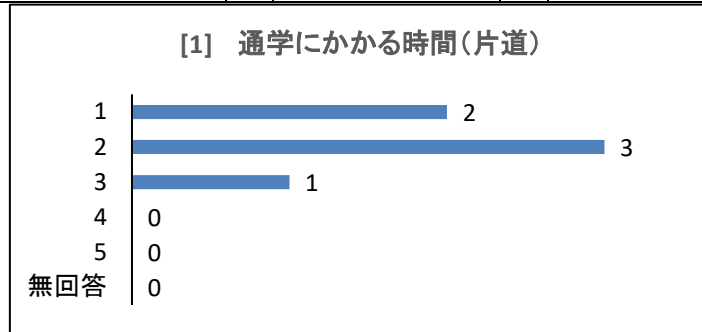
回答してもらった内容は、すべて統計的に処理しますので、皆さんの回答が他の人に知られることはありません。回答は、特にことわりや指示のない限り、もっともよくあてはまるものを1つだけ選んでください。また、回答できない箇所は空白にしてください。

※本調査の「全般的な学習状況」、「授業時間外の学習状況」、「教育の質保証」の3つの教育観点に関する設問については、先進的な取組である『大学 IR コンソーシアム』の学生調査の取組を参考にして検討し、選定しています。

1. 現在の学生生活について

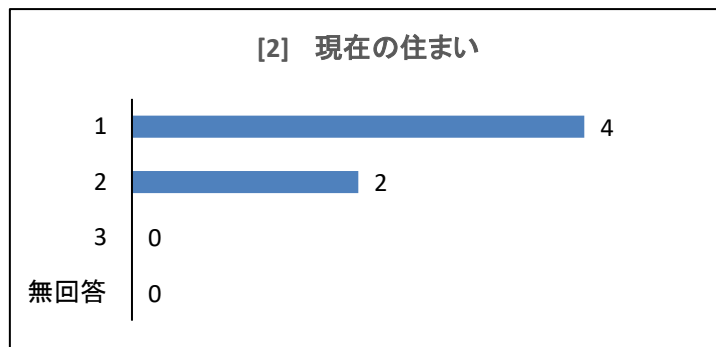
[1] 通学にかかる時間（片道）

1	30分未満	2	30分以上～ 1時間未満	3	1時間以上～ 1時間30分未満	4	1時間30分以上～ 2時間未満	5	2時間以上
---	-------	---	-----------------	---	--------------------	---	--------------------	---	-------



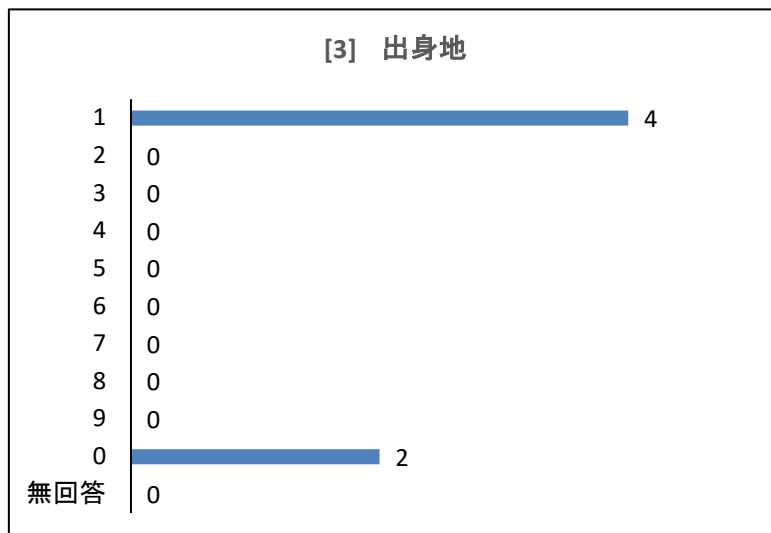
[2] 現在の住まい

1	家族 または 親戚と暮らしている	2	アパート・学生マンションでひとり暮らし	3	大学寮や合宿所
---	------------------	---	---------------------	---	---------



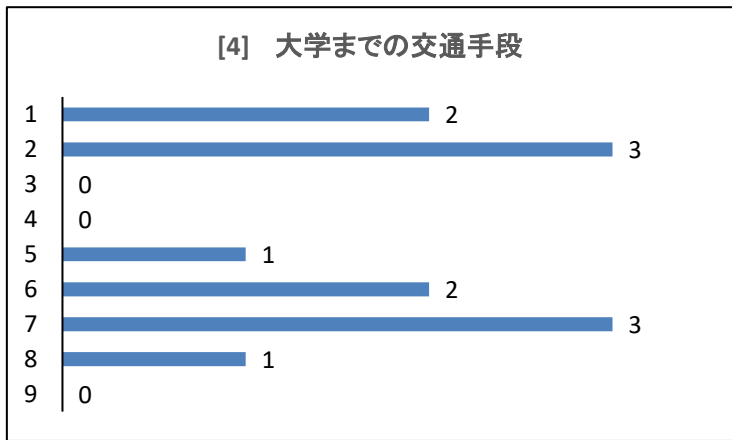
[3] 出身地

1	福岡県	2	佐賀県	3	長崎県	4	熊本県	5	宮崎県
6	鹿児島県	7	大分県	8	沖縄県	9	山口県	0	その他



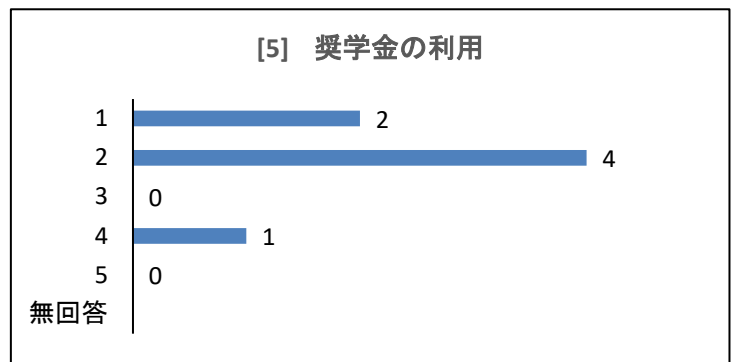
[4] 大学までの交通手段（当てはまるものすべてに○をつける）

1	徒歩	2	自転車	3	自動車	4	バイク	5	鉄道（JR・西鉄）
6	地下鉄	7	バス	8	送迎	9	その他		



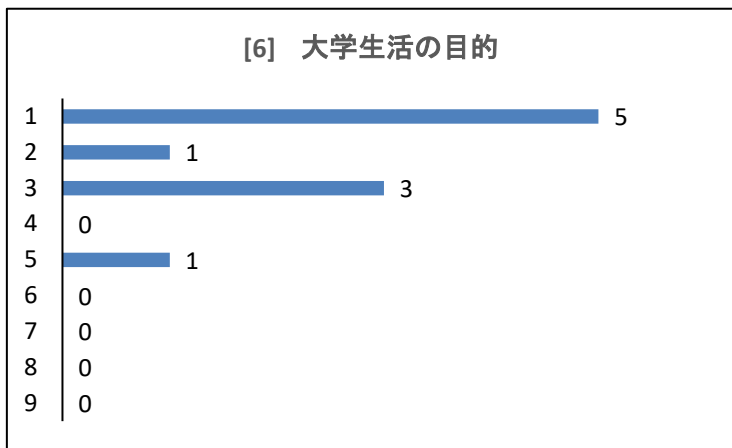
[5] 奨学金の利用

1	日本学生支援機構の奨学金	2	日本介護福祉士修学資金	3	以前受けていたが今は受けていない	4	受けていない	5	その他
---	--------------	---	-------------	---	------------------	---	--------	---	-----



[6] 大学生活の目的（当てはまるすべてのものに○をつける）

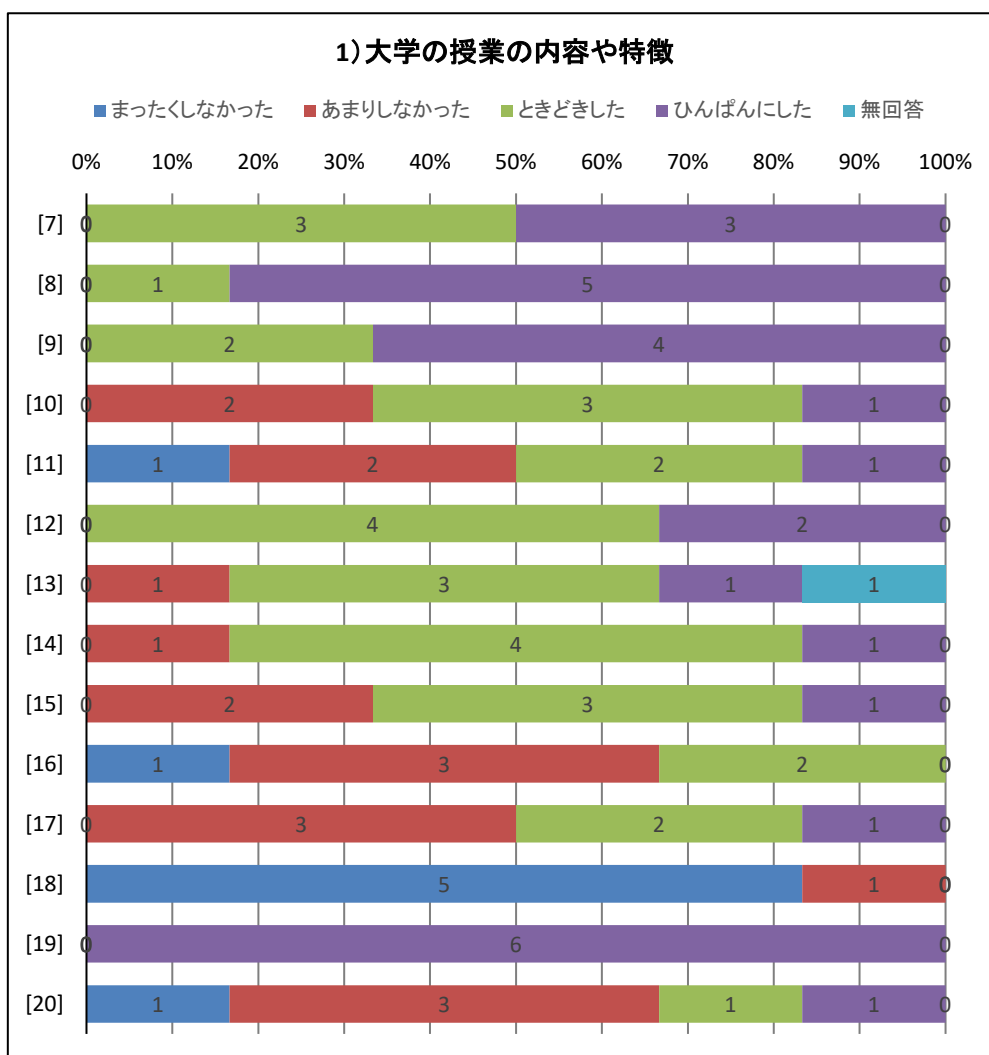
1	専門的な研究や知識を身につける	2	豊かな教養を身につける	3	学歴や資格を得る	4	クラブやサークルを楽しむ	5	希望する職業に就く
6	学生生活を楽しむ	7	友達とのかかわりを楽しむ	8	特に目的はない	9	その他		



Ⅱ. 大学の学習状況について

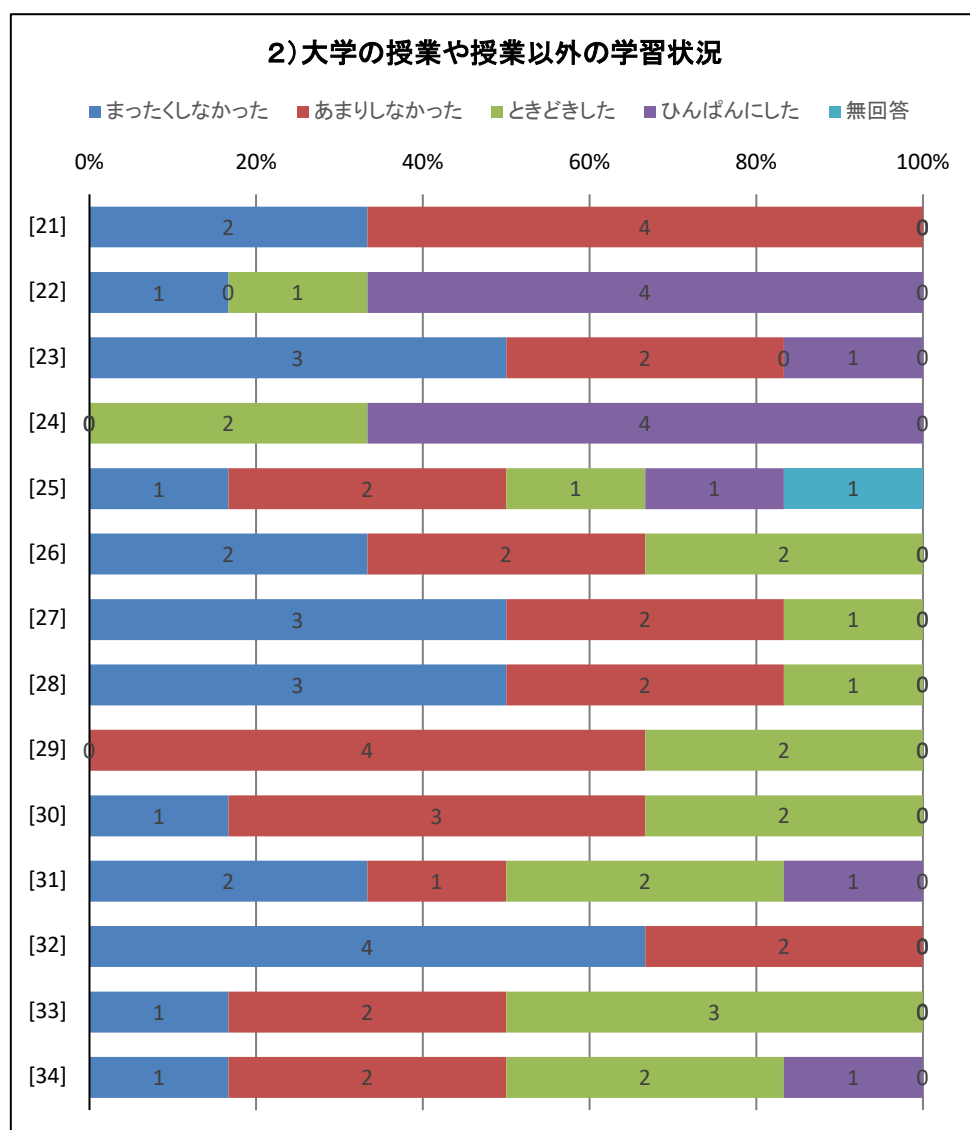
1) 大学の授業の内容や特徴

- [7] 所属学科の学内実習、学外実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ
- [8] 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ
- [9] 授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する
- [10] 授業の一環でボランティア活動をする
- [11] 学生自身が文献や資料を調べる
- [12] 定期的に小テストやレポートが課される
- [13] 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する
- [14] 学生が自分の考えや研究を発表する
- [15] 授業中に学生同士が論議をする
- [16] 授業で検討するテーマを学生が設定する
- [17] 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる
- [18] 取りたい授業を履修登録できなかった
- [19] 出席することが重視される
- [20] TA・SA（上級生や専攻科生）から補助・指導を受ける



2) 大学の授業や授業以外の学習状況

- [21] 授業課題のために図書館の資料を利用した
- [22] 授業課題のために Web 上の情報を利用した
- [23] インターネットやイントラネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした
- [24] 提出期限までに授業課題を完成した
- [25] 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした
- [26] 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた
- [27] 授業を欠席した
- [28] 授業に遅刻した
- [29] 授業をつまらなく感じた
- [30] 授業中に居眠りをした
- [31] 教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした（オフィスアワーも含める）
- [32] 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した
- [33] 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした（卒業後の進路や職業選択など）
- [34] 教員に親近感を感じた

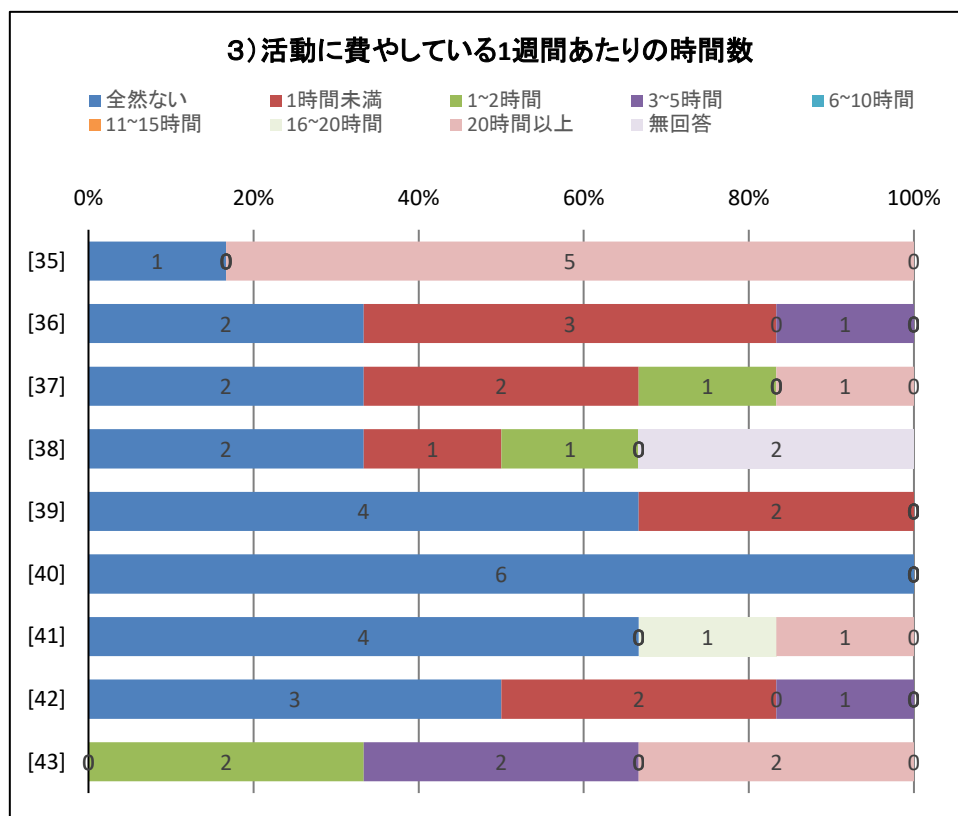


3) 活動に費やしている1週間あたりの時間数

※時間の目安・・・1日30分×7日=3.5時間 1日60分×7日=7時間

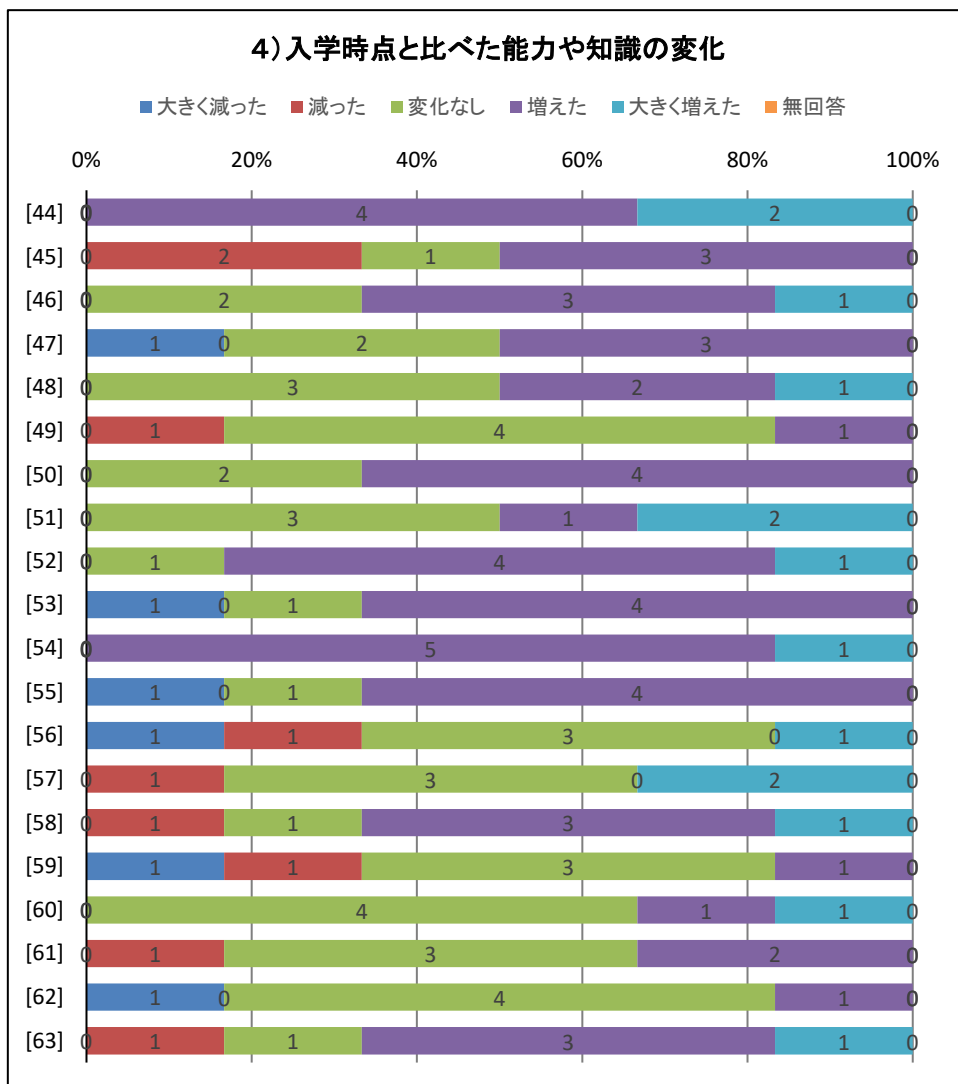
1日1.5時間×7日=10.5時間 1日2時間×7日=14時間

- [35] 講義や実習に出席する [参考] 90分×4コマ×5日間=30時間
- [36] 授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする [参考] 1日2時間×7日=14時間
- [37] アクティブ・ラーニング科目（学内の演習や学外での実習など）に関する授業外学修時間
- [38] 授業時間以外に、授業に関連しない勉強をする
- [39] オフィスアワーなど、授業時間以外に教員と面談する
- [40] 部活動や同好会に参加する
- [41] 大学外でアルバイトや仕事をする
- [42] 読書をする（マンガ・雑誌を除く）
- [43] 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



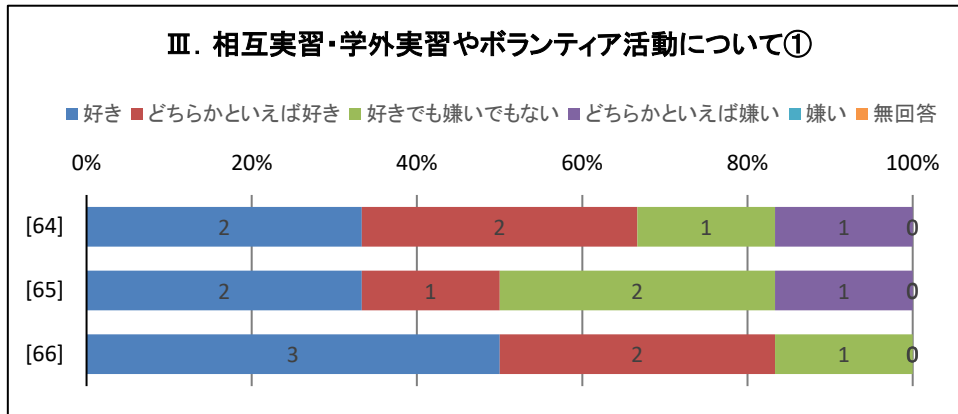
4) 入学時点と比べた能力や知識の変化

[44] 一般的な教養	[54] 国民が直面する問題を理解する能力
[45] 分析力や問題解決能力	[55] 文章表現の能力
[46] 専門分野や学科の知識	[56] 外国語の運用能力
[47] 批判的に考える能力	[57] コミュニケーションの能力
[48] 異文化の人々に関する知識	[58] プレゼンテーションの能力
[49] リーダーシップの能力	[59] 数理的な能力
[50] 人間関係を構築する能力	[60] コンピュータの操作能力
[51] 他の人と協力して物事を遂行する能力	[61] 時間を効果的に利用する能力
[52] 異文化の人々と協力する能力	[62] グローバル（世界的）な問題の理解
[53] 地域社会が直面する問題を理解する能力	[63] 就職に向けての知識・技術力

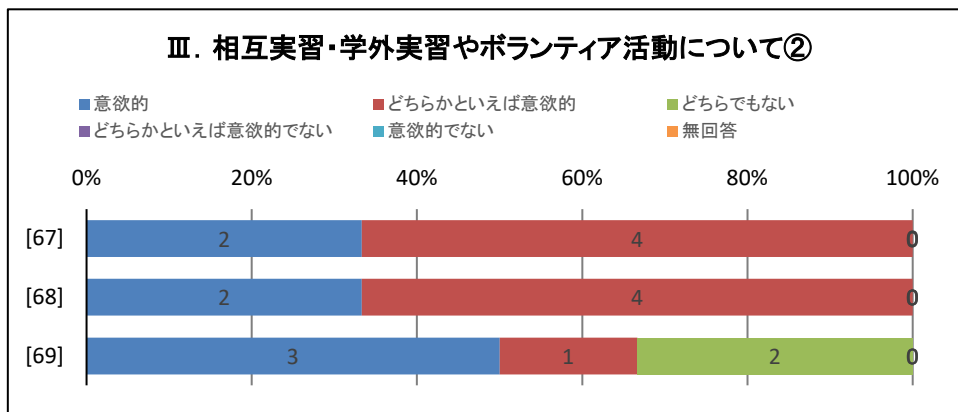


Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

- [64] 学内の実習が好きか
- [65] 学外（臨床・臨地実習・介護実習等）での実習が好きか
- [66] ボランティア活動が好きか



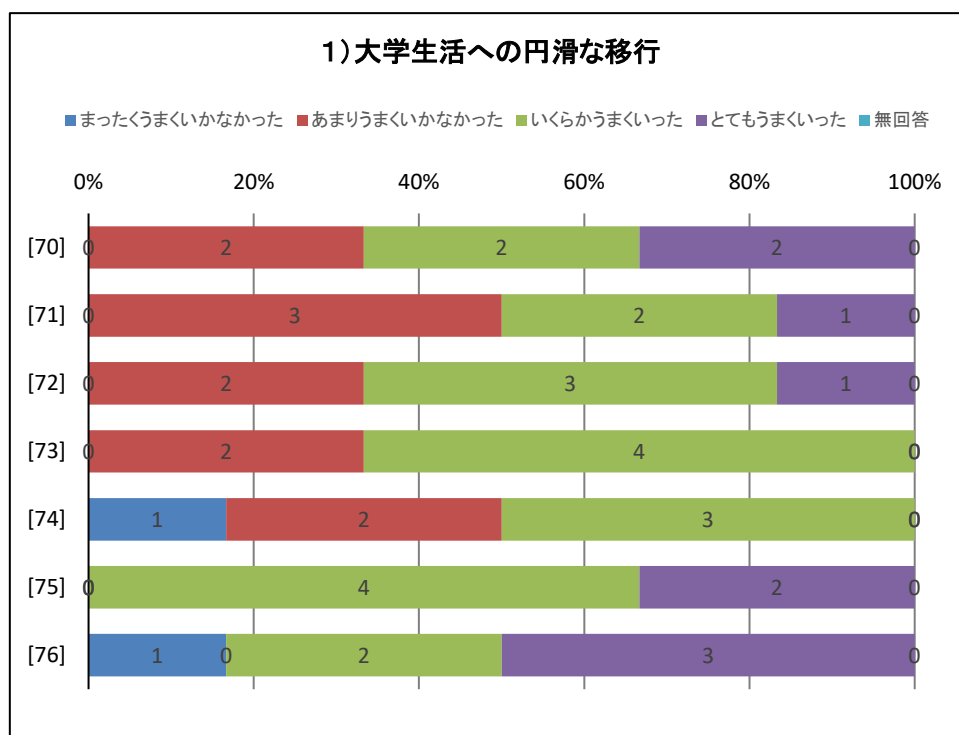
- [67] 学内での実習に意欲的に取り組んでいるか
- [68] 学外での実習（臨床・臨地実習・介護実習等）に意欲的に取り組んでいるか
- [69] ボランティア活動に意欲的に取り組んでいるか



V. 大学生活に対する考えや満足度について

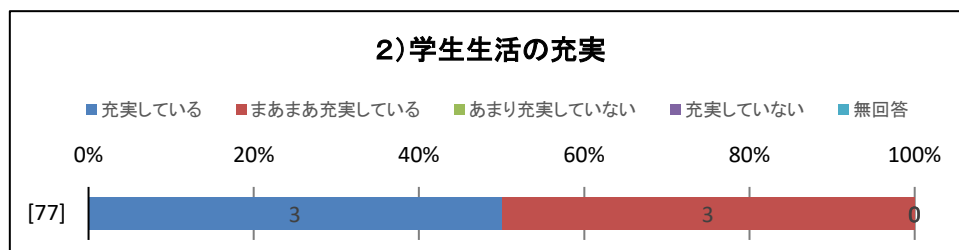
1) 大学生活への円滑な移行

- [70] 大学の学生向けサービスを上手に利用する
- [71] 大学教員の学問的な期待を理解する
- [72] 効果的に学習する技能を修得する
- [73] 大学が求める水準に応じて学習する
- [74] 時間を効果的に使う
- [75] 大学教員と顔見知りになる
- [76] 他の学生との友情を深める



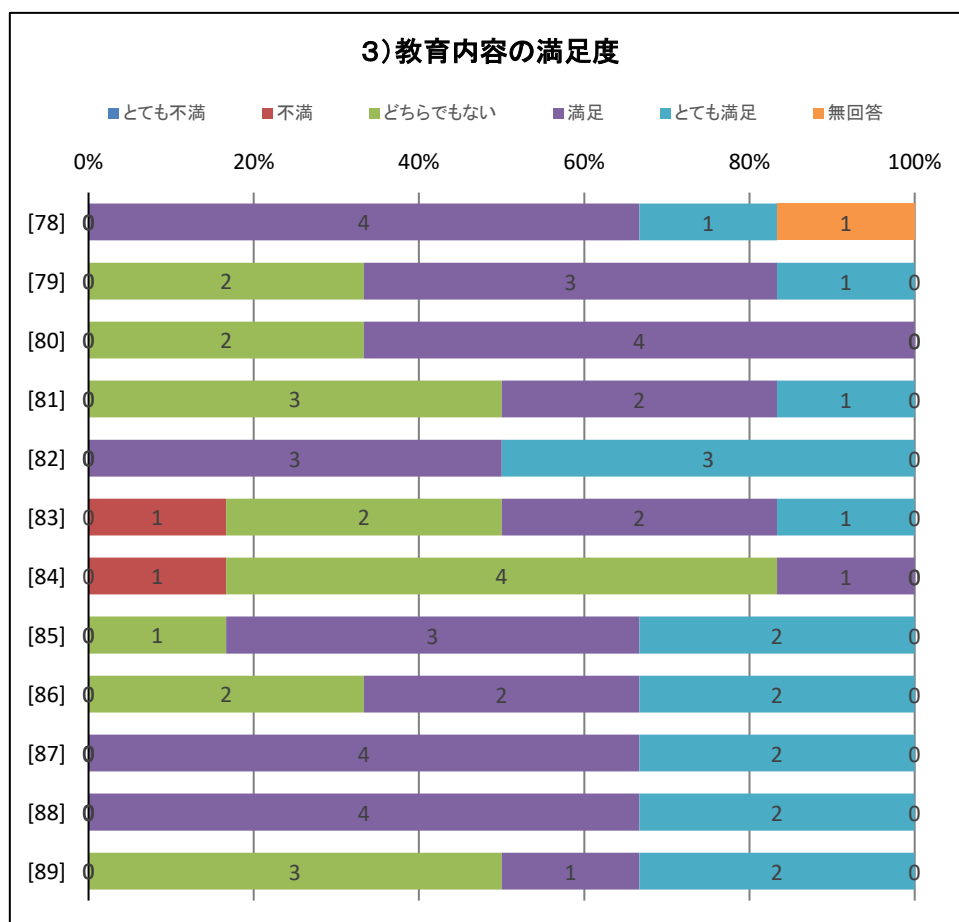
2) 学生生活の充実

- [77] 学生生活の充実している



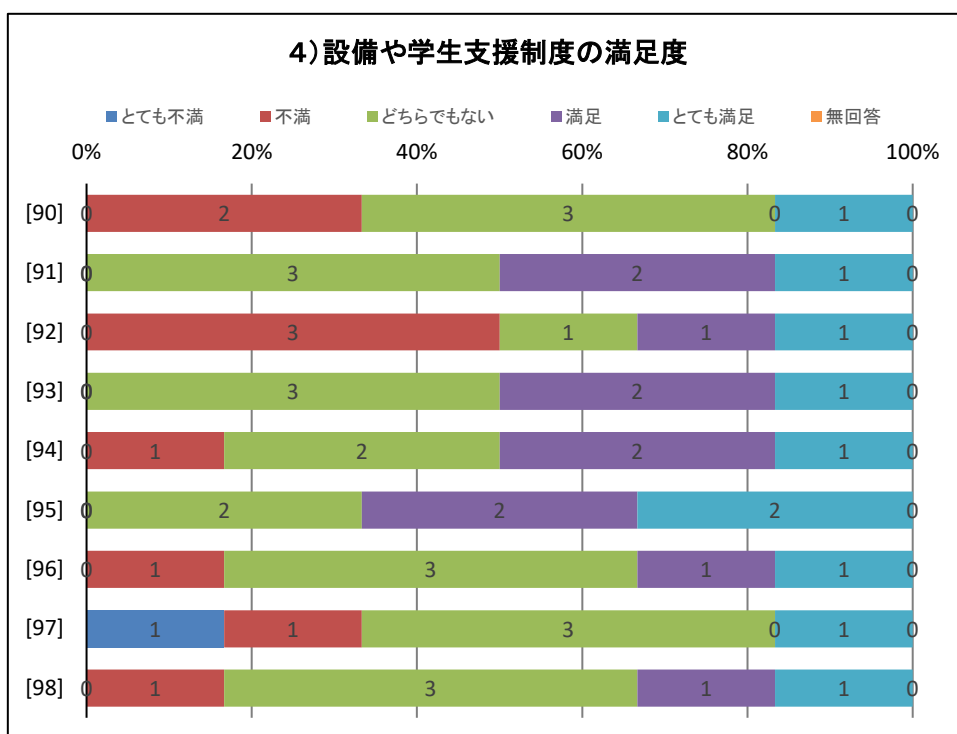
3) 教育内容の満足度

- [78] 専門教育あるいは所属学科の授業
- [79] 所属学科の学内実習や学外実習（臨床・臨地実習・介護実習等）
- [80] 授業の全体的な質
- [81] 日常生活と授業内容との関連
- [82] 将来の仕事と授業内容との結びつき
- [83] 教員と話をする機会
- [84] 個別の学習指導や学習支援（履修相談など）
- [85] 他の学生と話をする機会
- [86] 大学のなかでの学生同士の一体感
- [87] 多様な考え方を認め合う雰囲気
- [88] 大学での経験全般について
- [89] 1つの授業を履修する学生数



4) 設備や学生支援制度の満足度

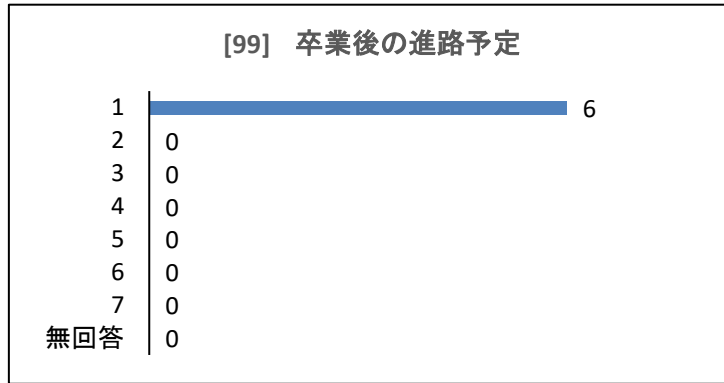
- [90] 図書館の設備（蔵書やレファレンスサービス：図書館員による情報提供・資料検索他）
- [91] 実習室の設備や器具
- [92] コンピュータの施設や設備
- [93] コンピュータの訓練や援助
- [94] インターネットの使いやすさ
- [95] 奨学金など学費援助の制度
- [96] 健康・保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談：歯科を含む）
- [97] レクリエーション施設（体育館の設備など）
- [98] キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)



VI. 卒業後の進路について

[99] 卒業後の進路予定

1	就職する	2	専攻科に進学する	3	留学する	4	他大学に(編)入学する	5	専門学校に進学する
6	まだわからない	7	その他						



[100] 将来の見通しと現在の状態

以下の2つの文章を読んで、あなたのいまの状態にもっとも近い番号を選んでください。

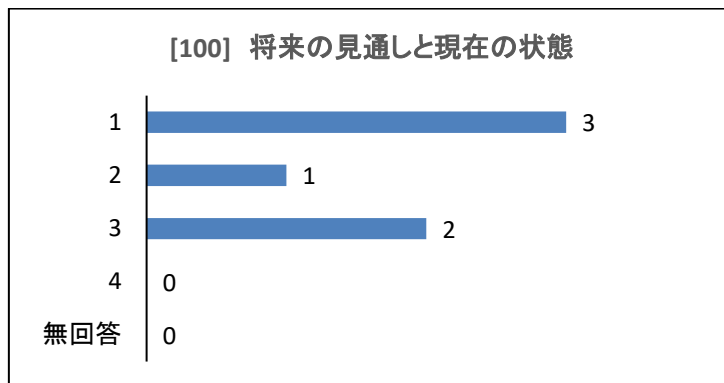
①あなたは、将来の見通し（将来こういう風でありたい）を持っていますか。

②その見通しのなかでもっとも重要なものを1つ思い浮かべてください。

あなたは、その見通しの実現に向かって、自分が何をすべきなのかわかっていますか。

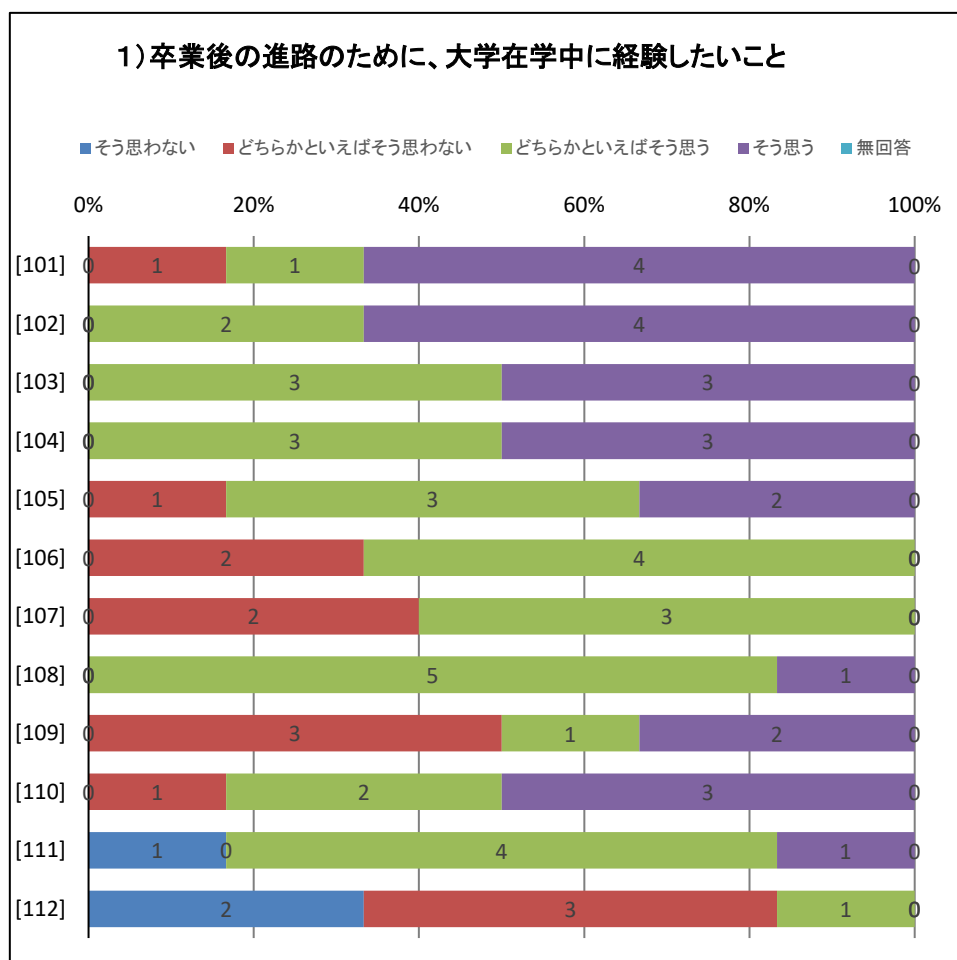
また、それを実行していますか。

1	①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわかっているし、実行もしている
2	①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわかっているが、実行は出来ない
3	①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわからない
4	①将来の見通しを持っていない



1) 卒業後の進路のために、大学在学中に経験したいこと

- [101] 専門分野の知識・技術をしっかり身につけ、国家試験に合格出来る教育を受ける
- [102] 専門分野だけでなく、幅広い知識を身につけ視野を広げる
- [103] 職業意識の形成につながる教育を受ける
- [104] 学外実習施設での体験実習等を踏まえた上で、専門知識を学ぶ
- [105] 教員が設定した特定の課題に対して、チームで取り組むプロジェクト型の授業を受ける
- [106] 自分で課題を見つけ、自分で解決していくような訓練を受ける
- [107] ディベート（討論）やプレゼンテーションの訓練を受ける
- [108] 実践的で専門性のある資格を取得するためのプログラムを受ける
- [109] レポートや論文指導により、文書作成能力を高める
- [110] 卒業後の進路について、教職員に対して個別に相談する
- [111] 卒業後の進路について、本学の卒業生や先輩と話をする
- [112] 本学の教職員以外の人と話をする



以上